

平成20年度

自己点検・評価報告書



2008年度

星美学園短期大学

平成20年度

自己点検・評価報告書



2008年度

星美学園短期大学

目 次

星美学園短期大学の特色等	1
領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	
【建学の精神、教育理念について】	6
【教育目的、教育目標について】	8
【定期的な点検等について】	11
【特記事項について】	12
領域 教育の内容	
【教育課程について】	13
【授業内容・教育方法について】	24
【教育改善への努力について】	25
【特記事項について】	27
領域 教育の実施体制	
【教員組織について】	29
【教育環境について】	32
【図書館・学習資源センター等について】	34
【特記事項について】	39
領域 教育目標の達成度と教育の効果	
【単位認定について】	40
【授業に対する学生の満足度について】	47
【退学、休学、留年等の状況について】	49
【資格取得の取組みについて】	52
【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】	53
【特記事項について】	56
領域 学生支援	
【入学に関する支援について】	59
【学習支援について】	64
【学生生活支援体制について】	67
【進路支援について】	73
【多様な学生に対する支援について】	76
【特記事項について】	78

領域	研究	
	【教員の研究活動全般について】	80
	【研究のための条件について】	81
	【特記事項について】	83
領域	社会的活動	
	【社会的活動への取組みについて】	84
	【学生の社会的活動について】	86
	【国際交流・協力への取組みについて】	87
	【特記事項について】	89
領域	管理運営	
	【法人組織の管理運営体制について】	91
	【教授会等の運営体制について】	97
	【事務組織について】	103
	【人事管理について】	106
	【特記事項について】	108
領域	財務	
	【財務運営について】	109
	【財務体質の健全性と教育研究経費について】	111
	【施設設備の管理について】	112
	【特記事項について】	114
領域	改革・改善	
	【自己点検・評価について】	115
	【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】	116
	【相互評価や外部評価について】	116
	【第三者評価(認証評価)について】	117
	【特記事項について】	118
将来計画の策定		119

星美学園短期大学の特色等

(1) 短期大学を設置する学校法人(以下「法人」という。)の沿革(概要)及び短期大学の沿革(概要)。

学校法人星美学園は、聖ヨハネ・ボスコと聖マリア・マザレロによってイタリア共和国において創立されたカトリック女子修道会「扶助者聖母会」(通称サレジアン・シスターズ)を設立母体とする。この女子修道会は、現在世界90余カ国で青少年の教育に献身している。本学も宗教法人カトリック扶助者聖母会を設立母体とする学校法人星美学園によって設置された短期大学で、昭和35(1960)年1月20日に文部省より設置認可を受け、同年4月1日に、東京都北区赤羽台4-2-14において家政科を持つ単科の短期大学として発足した。初代学長は、最初の宣教女レティツィア・ベリアッティ(1885~1963年)であった。その後、以下のような歩みのもとに今日に至っている。

昭和35年(1960年)	1月文部省より設置認可を受ける 4月家政科を持つ単科の短期大学として発足 初代学長は、宣教女レティツィア・ベリアッティ
昭和37年(1962年)	新校舎落成
昭和38年(1963年)	保育科を設置 第二代学長として平手シヅ就任
昭和42年(1967年)	国文科を設置
昭和44年(1969年)	各科の名称を家政学科、幼児教育学科、国文学科と改称
昭和61年(1986年)	星美総合計画によって校舎を移転新築 星美学園短期大学創設25周年を記念して図書館・大講義室を新築
平成元年(1989年)	第三代学長として牧田トミ就任
平成5年(1993年)	家政学科を生活文化学科と改称 学長代行として島崎通夫就任
平成6年(1994年)	第四代学長として島崎通夫就任
平成9年(1997年)	第五代学長として久山宗彦就任
平成12年(2000年)	国文学科と生活文化学科を統合し、人間文化学科を設置 人間文化学科に言語文化専攻(日本語日本文学コース、イタリア語イタリア文化コース)、人間生活学専攻(生活環境コース、生活造形コース、情報文化コース)をおく
平成13年(2001年)	第六代学長として武石聡子就任
平成14年(2002年)	人間文化学科言語文化専攻、人間生活学専攻を統合する
平成15年(2003年)	専攻科幼児教育専攻を設置。保育士資格取得の認可を得る
平成16年(2004年)	日伊総合研究所設立(4ページ(7)その他3参照)
平成17年(2005年)	幼児教育学科を幼児保育学科に改称 専攻科幼児教育専攻を専攻科幼児保育専攻に改称
平成19年(2007年)	第七代学長として阿部健一就任
平成21年(2009年)	専攻科イタリア語イタリア文化専攻を設置(4ページ(7)その他2参照)

(2) 短期大学の所在地、位置 (市・区・町・村の全体図)、周囲の状況 (産業、人口等)等。

所在地

〒115-8524

東京都北区赤羽台4丁目
2番14号

位置 (市・区・町・村の
全体図)、周囲の状況 (産
業、人口等)等

東京都北区は、東京都
区部の北東に位置し、武
蔵野台地の縁辺部から東
京低地へと連続した地勢
を有した、東西約3km、
南北約9km、人口31万6
千人余りの比較的小規模
な区である。産業として

は「ものづくり」の技術を持つ中小企業を中心である。団地も多く、繁華な商店街がある。

赤羽台は、駅前商店街から少し離れた北の閑静な高台 (赤羽台) に位置し、荒川を隔てて埼玉県川口市を望む。教育環境としては恵まれている。

交通機関としては、赤羽というターミナル駅 (JR 宇都宮線、高崎線、京浜東北線、埼京線 (りんかい線直通)、湘南新宿ライン、地下鉄南北線・埼玉高速鉄道など) に近く、都心および近隣の県 (埼玉、千葉、栃木、神奈川など) から通学が可能となっている。入学者総数の中では、隣接した埼玉県からの入学者が高い比率を保持している。



(3) 法人理事長、学長の氏名、連絡先及びその略歴、ALOの氏名、連絡先及びその略歴。なお、連絡先としては、TEL、FAX、E-Mail等を記載してください。

	法人理事長	学 長	A L O
氏 名	鈴木 裕子	阿部 健一	草野 隆
TEL	03-3906-7448	03-3906-0056	03-3906-0056
連絡先 FAX	03-3906-0096	03-5993-1600	03-5993-1600
E-Mail	suzukihm@seibi.ac.jp	k_abe@seibi.ac.jp	kusano@seibi.ac.jp
略 歴	ローマ教皇庁立アクシリウム大学教育学部サレジオ霊性コース修了 清泉女子大学文学部卒業 学校法人星美学園理事長	早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程単位取得満期退学 文学修士 大泉保育福祉専門学校校長 星美学園短期大学学長	上智大学大学院国文学専攻博士課程後期中途退学 文学修士 星美学園短期大学人間文化学科学科長

(4)平成15年度から21年度までの学科・専攻(通信による教育を行う学科(以下「通信教育学科」という)、専攻科を含み、以下「学科等」という)ごとの入学定員、入学者数、入学定員充足率(%)、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(%)を次ページの表を例に作成して下さい。廃止、募集停止等の学科等を含む、該当する期間内に設置されたすべての学科等について作成して下さい。なお、在籍者数は毎年度5月1日時点とします。

平成15年度～21年度の設置学科、入学定員等

学科等の名称		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
人間文化学科	入学定員	100	100	80	80	80	80	80	
	入学者数	62	68	61	59	60	41	36	
	入学定員充足率(%)	62	68	76	74	75	51	45	
	収容定員	200	200	160	160	160	160	160	
	在籍者数	128	125	128	118	118	106	74	
	収容定員充足率(%)	64	63	80	74	74	66	47	
幼児保育学科 (平成16年度まで 幼児教育学科)	入学定員	50	50	70	70	70	70	70	
	入学者数	72	72	83	81	72	57	52	
	入学定員充足率(%)	144	144	119	116	103	81	74	
	収容定員	100	100	140	140	140	140	140	
	在籍者数	136	140	149	163	147	122	110	
	充足率(%)	136	140	106	116	105	87	79	
専攻科 イタリア語イタ リア文化専攻 (平成21年度より 新設)	入学定員							10	
	入学者数							4	
	入学定員充足率(%)							40	
	収容定員							10	
	在籍者数							4	
	充足率(%)							40	
専攻科 幼児保育専攻 (平成16年度まで 幼児教育専攻)	入学定員			35	35	35	50	50	
	入学者数			44	35	34	49	34	
	入学定員充足率(%)			126	100	97	98	68	
	収容定員			35	35	35	50	50	
	在籍者数			44	35	34	49	35	
	充足率(%)			125	100	97	98	70	

人間文化学科は、平成22年度中に入学定員の削減を予定している。

(5)平成18年度～20年度に入学した学生の出身地別人数及び割合(10程度の区分)を下表を例に毎年度5月1日時点で作成して下さい。なお、短期大学の実態に沿って地域を区分して下さい。

出身地別学生数(平成18年度～20年度)

地 域	18年度		19年度		20年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
東京都	50	36	42	32	35	36
埼玉県	58	41	63	48	43	44
千葉県	8	6	8	6	4	4
神奈川県	3	2	2	2	2	2
その他道府県	9	6	10	8	11	11
外国の学校・検定等	12	9	5	4	3	3
合 計	140	100	130	100	98	100

(6) 法人が設置する他の教育機関の所在地、入学定員、収容定員とそれぞれの在籍者数を下表を例に平成21年5月1日時点で作成して下さい。

法人が設置する他の教育機関の現状		(平成21年度5月1日現在)		
教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
星美学園高等学校	東京都北区赤羽台4丁目2番14号	150名	450名	295名
星美学園中学校	東京都北区赤羽台4丁目2番14号	150名	450名	333名
星美学園小学校	東京都北区赤羽台4丁目2番14号	120名	720名	756名
星美学園幼稚園	東京都北区赤羽台4丁目2番14号	80名	240名	264名

(7) その他

評価員が誤解しないように事前に知ってもらいたい事項や事情があれば、記述して下さい。

1 現在の学科構成について

〔本科〕

人間文化学科 (入学定員80名) 日本語日本文学、イタリア語イタリア文化、生活造形、情報文化、医療福祉管理、総合
(以上、履修区分として6つの分野を設定している)

幼児保育学科 (入学定員70名)

〔専攻科〕

イタリア語イタリア文化専攻 (入学定員10名)

幼児保育専攻 (入学定員50名)

2 専攻科イタリア語イタリア文化専攻について

平成21年度より専攻科イタリア語イタリア文化専攻を設置することが、平成20年10月25日の理事会により承認された。この専攻科は、人間文化学科でイタリア語イタリア文化カリキュラムを履修した卒業生および一般学生に対して、イタリア語の上級を修得し、あわせてイタリア文化に対する理解を深めることを目的としたものである。入学定員として10名、17科目を開講し、40単位中30単位の修得によって修了とする。

この専攻科は、大学・短期大学として他に例を見ないイタリア語およびイタリア文化の研究拠点として、既設の日伊総合研究所と共に本学の社会的貢献度を高め、本学の教育の充実度を高めて行く構想の一環である。将来的には、この専攻科の単位が学位授与機構の認証を得ることなどが構想されている。(なお、この専攻科はまだ修了者を出していない。本報告書では平成21年5月1日現在の状況を記述する)

3 日伊総合研究所について

平成16年に開設された日伊総合研究所は、学校法人星美学園の創立者の精神的遺産である建学の精神に基づき、教育および研究の有機的な関係のもとに、日本およびイタリアに関する学術を総合した研究および各専門の分野の研究を行い、学園における学術研究の発展に寄与することを目的とする。(日伊総合研究所規程 第2条) 学内において研究発表会並びに公開講演会を毎年夏季・春季に開催するほか、年次研究所報「Bollettino Istituto di Ricerca Italo-giapponese」を発刊している。

4 星美ホームについて

赤羽台の本学園敷地西側に、社会福祉法人扶助者聖母会の運営する星美ホームがある。都内有数の規模の児童養護施設で、入所定員 150名あまり（2歳児から18歳まで）、建物面積は6,672平方メートルである。この施設は、学校法人星美学園とは法人が異なるが、設立母体は同一の修道会である。本学専攻科幼児保育専攻の学生は、この星美ホームで施設見学および実習を行っている。

日伊総合研究所報「Bollettino Istituto di Ricerca Italo-giapponese」については、領域を参照
日伊総合研究所規程については、参考資料54諸委員会規程を参照

領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

1 建学の精神

本学園の設立母体である扶助者聖母会の創立者聖ヨハネ・ボスコ（通称ドン・ボスコ）が実践した「予防教育法による全人間教育」を行うことが、本学の建学の精神である。「予防教育法による全人間教育」とは、道理と信仰と愛情に基づき、家庭的環境の中で、青少年の全人間的な育成をめざす教育である。（学校法人星美学園寄附行為第3条（目的）、学校法人星美学園就業規則前文）

道理とは、命令や強制ではなく道理に基づいた語りかけと学生の納得に基づく教育を行うことである。

信仰とは、時代や周囲の影響によって流される価値観ではなく、カトリック的な価値観、特にキリスト教的な愛について気づかせ、生きる指針となるよう導くことである。

愛情とは、教職員は、学生一人ひとりを、善なる心を持つ存在として大切にすることである（ドン・ボスコは、「愛情から信頼が生まれ、信頼から教育が生まれる」と述べている）。愛情の一つの表われは、教師が父、母、姉、兄のように学生とともに居るという「アシステンツァ（共にいる）」という教育方法である（本学では、「アシステンテ制」として実施されている。アシステンテについて詳しくは本報告書 P.12 参照）。

2 教育理念

本学では、建学の精神に基づいて育成すべき人間像を「明敏、清純、温和」と定めている（学則第1条（目的））。

明敏とは、善と悪を正しく識別できる聡明さである。

清純とは、言葉や行いがいつも誠実である、心の清らかな人である。

温和とは、謙虚で優しく心の温かな人である。

このような人間像を、カトリックの精神と価値観に基づいて育成することが、本学の教育理念である。

3 建学の精神・教育理念が生まれた事情・背景

19世紀半ばのイタリアの町トリノに産業革命の波が押し寄せ、青少年たちが、工場や工事現場の労働力として、多数動員されたが、その労働環境は劣悪で、生活は過酷なものであった。その結果、非行や犯罪に走り、再犯を重ねる若者も多かった。

カトリック司祭であったドン・ボスコは、非行や犯罪に走らないで済むような生活環境を作るという社会福祉的な活動と同時に、青少年が、「よきキリスト者、誠実な社会人」として育つことを願って「心の教育」を行なっていった。「心の教育」とは、「自律的に善を選び悪を避ける心を育てる教育」である。それを、「悪を予め避ける心を育てる教育」

という意味で、ドン・ボスコは「予防教育法」と呼んだ。

ドン・ボスコ自身の活動の対象は、男子に限られていたが、女子においても男子と同様な問題が起こっていた。そのため、ドン・ボスコは、女子青少年のために働く女子修道会を創立した。名前を「扶助者聖母会（通称サレジアン・シスターズ）」と言い、初代総長は、聖マリア・マザレロである。本学は、サレジアン・シスターズによって設立され、したがって、建学の精神・教育理念は、全くドン・ボスコを受け継ぐものである。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」 P. 2、3 参照

参考資料2 ガエタノ・コンプリ著・編『若者を育てるドン・ボスコのことば』

（ドン・ボスコ社刊）2009年4月

（2）現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

1 学生に対して

新入学当初の学外研修およびガイダンスにおいて、創立者や本学設置の歴史などについて講話を行っている。学外研修は、富士山麓への一泊旅行として行われているが、富士山は創立者ゆかりの地である。

毎年2回、本学の理念等について学長講話が行われる。

次のような授業科目を設置している。総合教養科目の授業科目「ドン・ボスコ研究」は、本学創立者で「若者の友」と呼ばれているドン・ボスコの思想と事跡を学生に周知することによって、本学の教育理念の浸透をめざすものである。専攻科幼児保育専攻の「幼児教育研究f（予防教育法と幼児）」も、この内容をより深めたものである。

本学の設立母体のあるイタリアへの研修旅行が行われる。自由参加により、イタリアの諸都市をめぐる旅で、主に創立者のゆかりの地や設立した学校、幼稚園などを見学する。

2 教職員に対して

全学園の新規採用の教職員に対して、初任者研修が行われる。この中で、理事長講話、ビデオ等を通じて建学の精神・教育理念が紹介されている。

本学独自の研修として、新人教員に対して、学長によって建学の精神に関する研修が行われている。

短期大学の教職員研修として、毎年ドン・ボスコの祝日に近い1月の末に、サレジオ会の司祭を講師に招き、全職員参加の研修会を行っている。平成18年度までは継続性のない単発的な講話で終わっていたが、平成19年度からは継続性をめざし、同じ講師による講話と分科会を設定した。

全学園職員研修が、毎年11月に行われ、その中で建学の精神および教育内容について浸透が図られる。

年度末に行われる教員連絡会においても、非常勤講師を含む教職員の参加の下に学長によって建学の精神の確認が行われている。

創立者の生誕地への研修旅行が企画されている。各種の記念の年、または5年程度の間隔を置いて、創立者の生誕地への巡礼研修旅行が学校法人によって企画され、各校種が

ら数名ずつ職員が参加する。平成19年8月には、本学からも4名の教職員が、本学創立者ドン・ボスコとマリア・マザレロゆかりの地、およびサレジアン・シスターズの本部などを訪ね、本学の建学の精神・教育理念について研修を行った。この研修は、不定期ではあるが、今後も継続される予定である。

教職員に対しては、定例の教授会冒頭において、創立者について学園長または学長から講話が行われるなど、繰り返し理念の浸透を図っている。

教授会の冒頭などにおいて、ドン・ボスコの学校たるべき本学の追求すべき姿について考える機会を持っている。平成19年度には、図書「教育者へのドン・ボスコのことば」を教職員全員が再読・精査した。平成20年度は、ローマ本部から示される姉妹校の年間目標について、理解を深めた。

3 学生・教職員の協働企画として

「教育プロジェクト」が企画されている。これは、学生・教職員に、教育理念に基づいた年間教育テーマを設定して理解と達成を共有する企画である。1年を通じて、本学の教育理念に基づいた教育目標を立て、それを簡明な標語などの形で掲げ、年度末に発表会等を行ってその浸透・達成を確認するものである。

近年の企画としては、たとえば、決められたテーマについての「短い手紙」を作成してポストに投稿し、すぐれた作品に対して、職員によって準備されたユニークな賞が与えられるというものが行われた。表彰式は、年度末の「感謝の祈り」の集いにおいて行っている。この企画は、平成17年度から継続して行われている。

4 刊行物

大学報「La Voce」を通しての学生、教職員に対する浸透も図られている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P. 3

2 「星美学園短期大学2010大学案内・入学ガイド」P. 2

参考資料1 教育プロジェクトファイル

3 大学報「La Voce」

【教育目的、教育目標について】

(1) 多くの短期大学が複数の学科・専攻(専攻科を含む。以下「学科等」という。)を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います。(例えば、学科・専攻の設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等)。ここではそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

〔本科〕

1 人間文化学科

本学の創立者ドン・ボスコは、若者に対して、予防教育法による全人間教育を行うと共に、社会人として必要な教養教育と経済的自立に必要な職業教育を行った。本学科では、ドン・ボスコが実践した教育理念にしたがって、人間性、教養、職業的な技能を兼ね備えた社会

人を養成することを目標としている。具体的には、平成20年度から、以下の「5つの柱」を実現した学生を育てることを教育目標として掲げた。

また、平成21年度より、この目標を一文に統合して、「こころと教養と技術によって、より幸福な世界を」という理念を標榜している。

他者を思いやる心とそれを支える知性を持つ

日本とイタリア・ヨーロッパの文化・芸術について豊かな知識を持つ

自立のために必要な基礎的な技術を持つ

社会に貢献するための専門的スキルを持つ

情報を発信する創造力を持つ

人間文化学科は6つの分野(履修プラン)を持ち、各分野の学生に対しては、それぞれ、この「5つの柱」に添って立てられた到達目標に添って履修計画を立てるよう指導している。なお、この到達目標の詳細は、「学生要覧・講義要項2009」P.66に詳述している。

2 幼児保育学科

建学の精神・教育理念に基づき、以下の目標を立てている。

1 豊かな人間性を持った保育者を育てる。

- ・善いこと悪いことを子どもに考えさせることができる保育者
- ・子どもにも、保護者にも、いつも善意の心でかかわることのできる保育者
- ・子どもにも、保護者にも、いつも穏やかな心で接することのできる保育者

2 現場に必要な基本的な知識・技術を有する保育者を育てると共に、特に以下の力を持った保育者を育てる。

- ・絵本や童話によって子どものこころを育てることのできる保育者
- ・音楽、造形、身体活動等を通して自己表現する楽しさを子どもに与えることのできる保育者
- ・言葉によるコミュニケーション能力を育てることのできる保育者

〔専攻科〕

1 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

専攻科においては、本科の中級程度のイタリア語課程に対し、上級の習得を目標としている。あわせて、イタリア文化関係、ビジネス関係などの授業科目の履修によって本科イタリア語イタリア文化コースの目標とするところをさらに深め、実社会において活躍する際に必要十分な素養を涵養する。卒業後は、イタリア留学、イタリア関連企業への就職などをめざしている。

2 専攻科幼児保育専攻

専攻科の教育目標は次の通りである。

- 1 建学の精神・教育理念に基づき、さらなる人間形成をめざす。
- 2 保育士資格の取得をめざす。
- 3 本科で身につけた基本的な知識・技術をもとに、さらに実践的な応用力を身に付ける。

- 添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.65～66、119、161、165
2 「星美学園短期大学2010大学案内・入学ガイド」P.10、12、17
4 寄附行為 第3条
参考資料4 就業規則 前文

(2)それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどのような方法で学生や教職員に周知しているかを記述して下さい。

(学生への周知)

[本科]

1 人間文化学科

人間文化学科では、大学案内に前記の「5つの柱」を掲げ、「学生要覧」の学科のページに「5つの柱」および各履修分野の教育目標をあげて、カリキュラム・履修プランとあわせた形で詳細に説明している。年度初めのガイダンスでは、履修学科目の選択方法の浸透と合わせる形で教育目標の徹底を図っている。

2 幼児保育学科

「大学案内」および「学生要覧」に明記するほか、年度初めのガイダンスで詳細な説明を行っている。その後行われる学外研修においては、具体的な話題を含めて新鮮なかたちで問題提起を心がけ、討論、感想の記述などを行って、本学科の具体的な目的・目標について実感できるようにしている。

[専攻科]

1 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

入学時のガイダンスで、履修学科目の選択方法の浸透と合わせる形で教育目標の徹底を図っている。

2 専攻科幼児保育専攻

前期末に実施する専攻科進学希望者に対する面接の中で、教育目的・目標を改めて自覚させるようにしている。

(教職員への周知)

平成19年度より、新学期前の3月に「教員連絡会」が開催され、各種問題・情報の共有を図ると共に、学科長が教育理念、教育目標を説明し、講師からも意見を聞く機会としている。職員に対しては、教授会および上記「教員連絡会」等に参加する事務長が、定例の朝礼等を通じて周知を図っている。

【定期的な点検等について】

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

1 建学の精神の解釈の見直し

本学の設立母体のサレジアン・シスターズは6年ごとにローマにおいて総会を行なう。それに合わせて日本管区においても、創立者ドン・ボスコの精神を「日本の今」にどう生かすかという議論がなされる。その内容は、本学からの会議参加者を通じて教授会等において報告される。ただし、その報告をもとにして、本学において、建学の精神を捉え直し、周知するシステムは未構築であり、検討課題となっている。

2 教育理念の解釈の見直し

解釈の見直しについては、定期的には行われていない。教職員全員が共通認識を持つことはもとより必要で、そのためにも定期的な確認作業が必要と認識している。具体的には、上記の設立母体の総会が行なわれる6年ごとに、会議出席者を中心にしたグループを作り、そこで教育理念についての見直し案を作り、それをもとにして議論を深めることを検討したい。

3 教育目標の点検

各学科の教育目標の点検については、これまで各学科会等において適宜行なわれてきた。

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

建学の精神・教育理念の解釈の見直しについては、(1) で述べたように、現在は、教授会が能動的に関与しているとは必ずしも言いがたい。今後は、新たに設けたワーキング・グループにおいて素案を作り、教授会でさらに案を練った上で、学園の所属長会議・理事会に諮るシステムを検討していきたい。

教育目標の点検については、各学科会で実施されており、点検後の学生への周知は、「学生要覧」・履修ガイダンスによっている。したがって、現在のところ、点検に教授会が関与する形にはなっていない。今後は、学科会で検討した後、さらに学科長を含むカリキュラム検討委員会において、その内容、表現等に不整合がないかチェックし、最終的に教授会で協議、決定するシステムを作っていくたい。

【特記事項について】

(1) この< 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

アシステンツァ (assistenza)

イタリア語で、assistere (ラテン語の ad-sistere = 共に居る) という動詞に由来した「共に居ること」を表す名詞。本学の創立者ドン・ボスコの、教育法における基本的要素である。

ドン・ボスコが要求したアシステンツァは、学生との相互信頼を前提とした教育活動そのものを指している。このアシステンツァが成り立つためには、教育者の側に愛情があるだけでは不足で、個々の学生が、教員から愛されていることを実感することが重要であると指摘されている。

アシステンテ (assistente)

アシステンテは、同じく動詞 assistere に由来するもので、assistere を行う者、つまり、「共に居る人」という意味の名詞である。

本学では、個々の学生の相談相手となって指導を行う専任教員をアシステンテと呼んでいる。アシステンテは、通常1・2年次をあわせて10～20名前後の学生を担当し、健康問題であれ家庭の経済問題であれ、何か問題となることが学生に降りかかったとき、まず相談に乗る。そのための最初の窓口となるのがアシステンテである。

なお、幼児保育学科2年次は「ゼミ担当」がアシステンツァを行う。

本学には「クラスアドバイザー」もあるが、これは、学内行事や学外研修などにあたって、クラスのメンバーに対して各種の通達を行ったり、学期はじめに種々の学生の委員を選定するさいの助言を行ったりする係である。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

領域 教育の内容

【教育課程について】

(1) 学科等の現在の教育課程を、下の表を例に作成して下さい。なお学科等に複数の履修コースを設定し、学生に別の教育課程表として提示している場合はコースごとに記載して下さい。

総合教養科目（両学科共通）

(平成21年度5月1日現在)

科 目 種	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度 履修人員 (クラス)	備考
		講 義	演 習	実 習	必 修	選 択	自 由	専 任	兼 担	兼 任		
総 合 教 養 科 目	キリスト教学				2						99(2)	
	人間学・女性論				2						124(2)	
	聖書学特講					2					17	
	倫理学					2					26	
	ドン・ボスコ研究					2					28	
	心理学					2					60	
	日本語日本事情 a					2					-	閉講
	日本語日本事情					2					2	
	日本国憲法					2					87	
	社会福祉論					2					78(2)	
	児童福祉論					2					81	
	高齢者福祉論					2					17	
	生命・人間					2					40	
	ボランティア活動論・実習					2					8	今年度閉講
	日本の生活と文化					2					-	閉講
	生物学					2					12	
	ライフサイエンス(生理衛生・解剖学を含む)					2					53	
	健康と衛生					2					35	
	情報処理					2					57(3)	
	基礎英語					2					61(3)	
	基礎英語					2					37	
	イタリア語入門					2					53(2)	
	日本語日本事情 b(言語)					2					1	
健康科学				2						104(2)		
体育実技					1					75(2)		

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.48～64

科目種	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度履修人員 (クラス)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
専門 教育 科目	人間関係論(イタリア的西欧と日本)					2					17	隔年開講
	人間とマスコミ					2					27	今年度閉講
	食生活とエコロジー					2					27	
	食文化演習					2					26	隔年開講
	ユニバーサル家庭料理					2					24	
	書道 a					1					36	日文
	書道 b					1					19	日文
	言語表現 a				1						45	
	言語表現 b				1						40	
	言語表現 c					1					9	
	総合キャリア演習				2						41	
	総合キャリア演習					1					60	
	PC作文入門					1					41(3)	
	編集実務 a					1					44	隔年開講
	編集実務 b					1					-	隔年開講
	日本文化研究					2					32	
	日本語教授法					2					-	閉講
	日本語日本文学研究 1					2					12	日文
	日本語日本文学研究 2					2					10	日文
	日本語日本文学研究 3					2					10	日文
	日本語日本文学研究 4					2					-	日文
	日本語日本文学研究 5					2					16	日文
	日本語日本文学研究 6					2					15	日文・ 今年度閉講
	日本語日本文学研究 7					2					13	日文・ 今年度閉講
	日本文学史・演習					2					-	日文・ 隔年開講
	日本文学史・演習					2					11	日文・ 隔年開講
	日本文学演習					2					11	日文
	日本文学演習					1					10	日文
	イタリア語文法 a					2					8	イタ文
	イタリア語文法 b					2					8	イタ文
	イタリア語 a					2					8	イタ文
	イタリア語 b					2					8	イタ文
	イタリア語 a					2					5	イタ文
	イタリア語 b					2					5	イタ文
	イタリア総合演習					2					-	イタ文・ 新科目
	原書イタリア語(読む)					2					7	イタ文
	イタリアの文学					2					-	新科目
	イタリアの美術					2					-	新科目
	イタリアの建築					2					-	新科目
	イタリアの料理					2					-	新科目
イタリア服飾演習					2					-	新科目	
イタリア史(地理を含む)					2					12	イタ文	
イタリアの教育					2					-	新科目	

基礎描写				2					20	造形
造形学演習 a				2					8	造形
造形学演習 b				2					9	造形
造形学演習 c				2					5	造形
造形学演習 d				2					7	造形
造形学演習 e				2					4	
造形学演習 - 1				2					19(4)	造形
造形学演習 - 2				2					21(4)	造形
造形思考				1					21(2)	造形
映像論				2					25	
色彩論				2					16	情造
視覚デザイン				2					28	情報
DTP演習				2					20	造情
コンピュータグラフィックス				2					12	造情
情報処理論				2					57	情医
情報発信プロジェクト演習				1					43(3)	情医
Webデザイン論				4					11	情報
データベース論				2					33	情報
プログラミング理論・演習				2					8	情報
マルチメディア論・演習				2					12	情報
情報学演習				2					11	情報
情報学演習				2					19	情報
組織と経営				2					-	隔年開講
インターネット英語				1					9	
医療といのちのモラル				2					21	医療
人間のからだと薬				2					21	医療
病院実務の実際				1					12	医療
医療管理・医療秘書学				2					48	医療
医療事務総論(演習を含む)				2					40	医療
医療事務演習				1					19	医療
介護保険制度論				2					14	医療
介護保険実務				2					20	医療
医療情報学				2					20	医療
統計学演習(医事統計を含む)				2					24	医療
健康栄養学				2					25	医療
福祉住環境論				2					16	医療
社会病理学				2					14	医療
病院医療演習				2					19	医療
研究法演習				2					62(9)	
卒業研究				2					62(9)	
イタリア語学研修				4					10	

現在(平成20年度入学生まで)人間文化学科には6つの履修分野が設定されているが、教育課程表は上記の一種のみである。ただし各分野で履修する授業科目を定めているので、「備考欄」にそれを記した。

略語は以下の通り。日文……日本語日本文学、イタ文……イタリア語イタリア文化、造形……生活造形、情報……情報文化、医療……医療福祉管理。情医……情報文化および医療福祉管理、造情……生活造形および情報文化。なお、総合には、必ず履修する授業科目の設定がない。

研究法演習は、各分野の担当教員が別々に時限を設定して行う小人数のゼミナール形式で実施している。このほかに他学科の単位を6単位まで、および公開講座の授業科目を計5単位まで卒業単位に含めることができる。また、総合教養科目の単位を10単位まで専門教育科目の単位数に含めることができる。

東京都私立短期大学協会コンソーシアムの単位互換事業において取得した単位から、4単位まで卒業単位に含めることができる(教授会の認定が必要となる)。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.65～117、P.151～163

科目種	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度履修人員 (クラス)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
専門教育科目	保育原理					2					57	
	教育心理学					2					58	
	発達心理学					2					56	
	幼児と人間関係					2					58(2)	
	児童文化					2					36	
	子どもの遊び					2					49	
	児童文学					2					29	
	国語表現					2					56	
	家族援助論					2					55	
	幼児と環境					2					46(2)	
	子どもと衣生活					2					46	
	子どもと住生活					2					35	
	ソルフェージュ					2					57(2)	
	幼児の表現 1					2					59(2)	
	音楽技術			()		2					57(4)	
	救急処置					2					84(2)	
	基礎デザイン					2					57(2)	
	教育情報学					1					55(2)	
	教育学概論					2					57	
	幼児教育課程総論					1					55	
	幼児教育指導法					1					57	
	保育者論					2					62	
	幼児教育学					2					61	
	モンテッソーリ教育概論					2					55	
	総合演習					2					63	
	乳児保育					2					50	
	社会福祉援助技術					2					40	
	障害児保育					1					41	
	教育相談基礎論					2					62	
	精神保健					2					52	
	幼児と言葉					2					63(2)	
	名作の朗読					2					49	
	家族関係論										-	
	子どもと食生活					2					49	
	器楽合奏					2					-	
	声楽					2					24	
	音楽技術			()		2					60(5)	
	幼児の表現 2					2					63(2)	
	造形表現学					2					63(2)	
	幼児の健康					2					63(2)	
幼児体育					2					63(2)		
小児保健					4					50		
小児保健実習					1					38		
小児栄養					2					68(2)		
子どもとメディア					2					24		
卒業研究ゼミナール					2					63(9)		
卒業研究					2					69(9)		
教育実習(事前事後の指導を含む)					5					58		
幼児教育キャリア演習					2							
幼児教育キャリア演習					2							

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.119～150、P.165～176

専攻科イタリア語イタリア文化専攻教育課程（平成21年度新設）

（平成21年度5月1日現在）

科目種	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度履修人員 (クラス)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
	イタリア語講読				4							
	実践イタリア語会話					4						
	実用イタリア語検定試験対策					4						
	ビジネス対策イタリア語					4						
	イタリア語中級					1						
	イタリア語上級					1						
	イタリア語上級					1						
	EUと現代イタリア					2						
	イタリアの都市文化（祝祭）					2						
	ファッション・ビジネス					2						
	ルネサンスとイタリア文化					2						
	イタリアの音楽					2						
	イタリア文化講座					1						
	日伊比較文化研究					2						
	日本文学研究					2						
	イタリア社会文化総合演習				4							

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.151～163

専攻科幼児保育専攻教育課程

（平成21年度5月1日現在）

科目種	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度履修人員 (クラス)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
	幼児教育研究 a (人格論)				4						49	
	幼児教育研究 b (臨床心理学)					4					20	
	幼児教育研究 c (乳幼児のあそびと健康教育)					4					13	
	幼児教育研究 d (こどもと音楽)					4					-	
	幼児教育研究 e (造形)					4					7	
	幼児教育研究 f (予防教育法と幼児)					4					5	
	幼児教育研究 g (ファンタジー文学研究)					4					25	
	幼児教育研究 h (キリスト教保育)					4					4	
	幼児教育研究 i (音楽技術)					4					28(2)	
	幼児教育研究 j (幼児造形教育)					2					41	
	幼児教育研究 k (アジアの幼児教育)					2					9	
	音楽療法					2					11	
	造形表現学					2					-	
	保育原理					2					49	
	保育内容総論					1					49	
	養護原理					2					49	
	養護内容					1					48	
	ベビーシッター論					2					48	
	保育実習					5					47	
	保育実習		()			2					26	
	保育実習		()			2					21	
	幼児教育総合研究ゼミナール					2						
	幼児教育総合研究					2						

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.165～176

(2) 教養教育の取組み、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員の配置等について特に強調したいことがあれば記述して下さい。

1 総合教養

教養教育については、総合教養科目として設定している。特に必修科目として両学科とも1年次に「キリスト教学」、2年次に「人間学・女性論」を設置して建学の精神の具現、教育目標の達成を担う科目としている。この科目については、それぞれの学科の特性に合わせるために、クラス別に授業を設定している。また、「聖書学特講」、「倫理学」、「ドン・ボスコ研究」および「生命・人間」という授業科目を設置し、キリスト教に基づいた人間教育の基盤としている。「社会福祉論」、「児童福祉論」、「高齢者福祉論」、「ボランティア活動論・実習」といった授業科目群の設定も、本学の力点が置かれているところである。

また、本学は外国語科目としてイタリア語を選択することができるのが特色であり、人間文化学科の専門科目として開講された複数のイタリア文化関連科目の履修も他学科に開かれている。本学のゆかりの地でもあり、長くヨーロッパ文化の中樞を担ってきたイタリアの、言語および文化について学ぶことができるのは、本学の特色である。

2 人間文化学科

人間文化学科は、幅広い教養を養うべく多様な授業科目を設定する一方で、各分野についての理解を深めることによって、教養を獲得する手段を自分のものとするというコンセプトを持ち、少数の基礎的な授業科目を必修とする一方で、各分野の専門性の高い授業科目を選択科目として設定している。また、授業科目「卒業研究」「研究法演習」が、問題発見・解決能力を養う場となっている。

限られた教員のリソースを極力活用しつつ、授業科目選択の幅を拡げるために、公開講座の受講や他学科の授業科目の履修を促している。またコンソーシアムによる他学の学科目の履修単位も卒業単位と認める態勢をとっている。これらは、本学科のめざす生きた教養について、その幅（水平）と深さ（垂直）の統合をめざしたものである。

従来より情報処理士、医療事務士などの資格取得が可能になるように授業科目を設定してきたが、より社会性が高く、企業において即戦力となり得る学生の養成のために、近時は「総合キャリア演習」を1年次の必修とし、2年次についても、社会人学生などを除いたほぼ全学生が授業科目（ ）を履修するかたちにした。同科目は、基礎教養の補習（数学、漢字、一般教養、ビジネスマナーなど）に加えて、適性検査による自己省察、企業人の講演、インターンシップなどを加えた総合的な内容となっている。

3 幼児保育学科

幼児保育学科は、保育者養成の長い伝統を基礎に幼児教育の高い理念に立ち、豊かな専門的知識と技術が取得できる環境を整えている。カリキュラムは教育、保育、心理、児童文化、家族関係、福祉、子ども文化、音楽、美術、健康、情報の11の分野で構成され、授業科目の内容、目的、性格が解りやすくなっている。特筆すべきは、星美学園幼稚園で行われる多くの事前実習や指導案・実習日誌作成サポートと添削である。保育士資格取得のためには本科1年次より計画を立て、保育士に関わる科目を履修する。

平成21年度より、「幼児保育キャリア演習」、「」がスタートする。自校教育、仲間作り、企業のワークショップに参加して、もてなしの心を学び教育実習や研究発表の表現に役立てる。また、他学年と協力し学校行事や催しを協同で作りに上げることにより芽生える連帯感に加えリーダーシップ養成に役立っている。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

上級イタリア語を中心に、教養およびビジネスにわたる授業科目を設定している。専任教員による輪講形式の授業科目「イタリア社会文化総合演習」や、日本文化に関する授業科目も設置して、本学科の教育目標に基づき幅広い教養の獲得をめざしている。また、公開講座や本科の授業科目の履修も可能としている。

5 専攻科幼児保育専攻

本科で学んだ知識を深め、教育技術・技能をレベルアップした幅広い保育士養成をめざした幼児教育の専門領域カリキュラムが用意されている。「幼児教育研究 a (人格論)」「幼児教育研究 f (予防教育法と幼児)」、「幼児教育研究 h (キリスト教保育)」は、本学の教育理念に基づいた授業科目である。「幼児教育研究 k (アジアの幼児教育)」では、タイの姉妹校を訪れ、広い視野を身につけることを目指す。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」

(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。また教育課程に関係なく免許・資格等を取得する機会を設けている場合は、その免許・資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。

(当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格)

1 人間文化学科

教育課程を履修することによって取得できる資格は次の通りである。

ウェブデザイン実務士 (称号認定)	(全国大学実務教育協会)
上級情報処理士 (称号認定)	(全国大学実務教育協会)
情報処理士 (称号認定)	(全国大学実務教育協会)
社会福祉主事任用	

教育課程の履修後、協会の認定試験を受験して取得できる資格は次の通りである。

医療管理秘書士	(日本病院管理教育協会)
医療秘書士	(日本病院管理教育協会)
医療事務士1級・2級	(日本病院管理教育協会)
介護保険事務管理士	(日本病院管理教育協会)
医事管理士	(日本病院管理教育協会)
病歴記録管理士	(日本病院管理教育協会)

認定試験は学内で実施している。

「医療管理秘書士」は、認定試験のための受験対策講座を実施している。

情報文化は「ウェブデザイン実務士」「上級情報処理士」「情報処理士」の資格申請を義務付けている。

医療福祉管理は「医療管理秘書士」「医療秘書士」「医療事務士1級・2級」「介護保険事務管理士」のほかに「医事管理士」「病歴記録管理士」の認定試験を受験することをすすめている。

2 幼児保育学科

教育課程を履修することにより取得できる資格は次の通りである。

幼稚園教諭2種免許状
社会福祉主事任用

教育課程の履修後、協会の認定試験を受験して取得できる資格は次の通りである。

ピアヘルパー	(日本教育カウンセラー協会)
医療管理秘書士	(日本病院管理教育協会)
医療秘書士	(日本病院管理教育協会)
医療事務士1級・2級	(日本病院管理教育協会)
介護保険事務管理士	(日本病院管理教育協会)

認定試験は学内で実施している。

「医療管理秘書士」と「ピアヘルパー」は、認定試験のための受験対策講座を実施している。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

実用イタリア語検定の取得を支援している。

4 専攻科幼児保育専攻

本科での保育士養成教育課程の履修に加え、専攻科の教育課程を履修することによって取得できる資格は次の通りである。

保育士資格
認定ベビーシッター (全国ベビーシッター協会)

認定試験は学内で実施している。

(教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格)

人間文化学科では、漢字能力検定(財団法人日本漢字能力検定協会)について、新たな級に合格することにより、授業科目「総合キャリア演習(2年次)」の「ポイント」を獲得できる仕組みを作り、その取得を奨励している(平成20年度から)。そのための準備として、1年次の必修授業科目「言語表現b」では、語彙・ことわざなどの教育内容と並行して、同検定2~3級を念頭に置いたプログラムを組み込んでいる。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.78、81

(4) 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等でどのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等について記述して下さい。

「学生要覧」(星美学園短期大学「学生要覧・講義要項」。以下「学生要覧」)に、開講科目の一覧を、工夫された形式によって掲載している。

「学生要覧」に掲載するシラバスについては、逐次改良を加えていて、「進め方」「評価方法」など掲載項目も増やしている。現在B5サイズの「学生要覧」の版面の半ページ

分がシラバスのスペースであり、これ以上の項目の増加のためには「学生要覧」の形態の変更が必要となることから、慎重な検討が行われている。

1 総合教養科目

「学生要覧」には、必修科目と選択科目を明確にして記載している。時間割においては、選択科目を重点的に配する時間を週に2～3カ所に設定し、履修が容易になるようにしている。選択科目は、いわゆる Semester として前・後期に分けており、学生は2年間の在学期間の中にはどの科目も履修できるように配置を工夫している。

2 人間文化学科

人間文化学科では、その年度に開講する授業科目および隔年開講科目で次年度開講予定の授業科目について、そのすべてを一覧として掲載するようにしている。記号等を利用して、学科必修科目以外に各履修分野ごとに必ず履修しておくべき科目や、学科としての推奨科目を、学生が迷わず履修できるよう明示している。

履修ガイダンスでは学科全体について履修方法を説明した後、分野ごと少人数のグループに分かれ、教員が履修プランや時間割を見ながら、具体的に何曜日にはどの科目を履修する方がいいかという説明を行っている。多くの場合、個人指導という形になり、特に指導が必要ではない学生についても、必ず担当教員が履修の状態について確認するようにしている。教員あたりの学生数が少ないことから、こうした対応が可能になっている。

時間割の配置については、困難な作業となっている。各分野の専門科目が多いため、専門科目を複数、同じ時間内に開講している一方で、資格科目は、その専門科目とできるだけ重ねないように配慮するなど工夫を重ねている。取得者の多い資格については、どの科目を何年次で履修すべきか一目でわかる表も配布している。

人間文化学科は履修形態が多様であることから、年度初めの履修ガイダンスにおいては、どの分野の教員も事前に相当の時間を費やして準備し、資料の配布、説明を行い、学生の履修漏れ・単位不足を極力防ぐ努力を行っている。

3 幼児保育学科

「学生要覧」に、卒業や資格取得に必要な単位等の情報を、工夫した一覧表のかたちで載せている。また、すべての科目のシラバスも掲載し、学生たちにどのような内容かわかるような工夫をしている。

教員免許や保育士資格の取得に必要な科目数が多いことから、必然的に選択の範囲は限定されていて、履修に当たっての選択の困難は少ない。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

本科と同様である。なお、本科の授業科目の履修も可能としているので、本科授業科目と専攻科授業科目の時限の重なりについて配慮している。

5 専攻科幼児保育専攻

入学する学生は、すでに本科において基礎的な学習や教育実習を行っているため、学生に資格取得の目的意識が高い。そこで、本科よりは選択できる授業科目を幅広く設定している。しかし、保育関係科目に選択が集中し、他の科目を選択するものは少ないのが現状である。原因として、年に6週間の保育実習期間の存在があり、それが一見関係の薄い授

業科目に対する履修意欲を削いでいると考えられる。

しかし中には、文学や芸術あるいは本学の特色であるアジアの幼児教育・タイ研修を選択する学生もいる。本科同様に履修に当たっての選択の難しさは少ないと考える。

なお、時間割においては、例えば 限と 限のみで他は全く授業がないというようなことがないように配慮している。

添付資料1「学生要覧・講義要項2009」P.31、67～75、120～127、152～153、166～167
参考資料27 学習や科目選択のための印刷物・履修届など書類一式

(5) 卒業要件単位数及びその他の卒業要件(必修単位の修得、学生納付金の納付等)を示して下さい。また学生にはどのような方法で卒業要件を周知させているかを記述してください。

1 人間文化学科の卒業単位数

区分	科目区分		卒業要件
総合教養科目	必修科目(キリスト教学・人間学女性論・健康科学)	6単位	14単位
	選択科目 A群より計6単位以上(必修科目を除いて2単位) B・C群より計4単位以上 D・E群より各2単位以上(必修科目を除くとD群の2単位)	8単位以上	
専門教育科目	学科必修科目 (言語表現a b・総合キャリア演習・研究法演習・卒業研究)	8単位	56単位
	選択科目	48単位	
計			70単位

2 幼児保育学科の卒業単位数

区分	科目区分		卒業要件
総合教養科目	必修科目(キリスト教学・人間学女性論・健康科学)	6単位	14単位
	選択科目(22科目)		
専門教育科目	学科必修科目(総合演習・卒業研究ゼミナール・卒業研究)	6単位	56単位
	選択科目	50単位	
計			70単位

3 専攻科 イタリア語イタリア文化専攻の修了単位数

区分	科目区分		修了要件
専門教育科目	必修科目(イタリア語講読・イタリア社会文化総合演習)	4単位	計30単位
	選択科目	26単位	
計			

3 専攻科 幼児保育専攻の修了単位数

区分	科目区分		修了要件
専門教育科目	必修科目	4単位	計30単位
	選択科目	26単位	
計			

卒業要件については、「学生要覧」および年度はじめの「履修登録についてのガイドス」において周知を図っている。特に2年次生については、1年次の取得単位の確認、卒業までの履修計画を十分にチェックするよう、必要に応じて個別指導のかたちで指導して

いる。

上記の卒業に必要な単位数は、学則第6章に規定されている。学費の納入がないと定期試験の受験資格を失うことになっているため、学費未納者は必要単位の未修得によって卒業できないことになる（履修の手引き「学期末試験」条）。なお、納入金の納付を怠り、督促しても納入しない場合は、学則17条3号により除籍する。

近時、学費の納入について問題が生ずる例が増加しているため、ガイダンスにおいてはこのことの周知を図っている。ただし、学生自身が学費の納入遅れについて把握していることは少なく、そのため問題の発覚が遅れることがある。アシステンテをはじめ教職員が留意すべき点となっている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.6、P.37

(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状を記述して下さい。なおこの項はできれば学科等の責任者(学科長、学科主任等。以下「学科長等」という。)が記述して下さい。

1 人間文化学科

人間文化学科において、次年度の教育課程については、5月～7月の学科会で審議している。秋以降には、中長期的な観点から学科の将来像を討議する機会を持つようにしている。平成20年度は、6月から7月に集中して、就職の際に要求される基礎能力について検討し、たとえば文章作成能力、情報処理関係の能力の養成について、どのような態勢をとることが望ましいか検討する議題を設けた。この討議には、FD活動の一環という意味もある。

現在、少子化等による入学者数の減少に直面し、履修分野・授業科目の整理・再編成が進行している。拙速を避けて総合的な見地から本学科のユニークさを失わないような改革が常に模索されている。

2 幼児保育学科

幼児保育学科において、次年度教育課程については、学科長が学科会で意見を集める形で審議し、改定されている。

本学科は、平成21年度入試よりピアノの実技試験を廃止した。それにともない、未経験者の入学を前提にした音楽教育カリキュラムの見直しを行った。

また、これまで評価されていなかった学園祭や学校行事での活動、研修旅行の研修内容、テアトロ・SEIBI(57ページ参照)でのリハーサル、本公演、サポートなど評価されなかったものに「幼児保育総合キャリア演習Ⅰ・Ⅱ」の単位を与え評価することにした。

また、教職課程を履修しない学生に対し、人間文化学科と協調し、教職以外の資格や興味ある領域を学ぶよう指導することにより進路の幅を広げている。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程である。学生の履修状況をみて改善を図っていききたい。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科においても幼児保育学科と連動するかたちで、審議改定を行っている。たとえば、

現在2年次に課している卒業研究は、平成21年度入学生より、専攻科での課題とする方針を立てた。先行して、学園祭での研究発表(展示)を行っている。年度末の保育実習報告も冊子として残すだけでなく、報告会での質疑応答、アンケート分析などを加え、学生が閲覧できる報告書としている。

5 カリキュラム検討委員会

主に学科をまたぐカリキュラムの検討や、資格関係授業科目、リメディアル教育に関する授業科目、および総合教養科目の見直しについて広く検討するために、平成20年度よりカリキュラム検討委員会が設置された。両学科から2名の教員と副学長が所属する。

【授業内容・教育方法について】

(1) シラバスあるいは講義要項を作成する際に配慮していること等を記述して下さい。シラバスあるいは講義要項が作成されていない場合はその事由等を記述して下さい。

シラバスは、すべての授業科目について作成し、「学生要覧・講義要項」として配布している。ページ増を避けるために、B5用紙の1頁に2科目、つまり1科目あたりB6の版面に密度高く記載する形式である。人間文化学科については、授業科目編成が複雑であるので、通し番号をつけて授業科目一覧と対応させている。また、他学科学生も履修できる科目と、それが認められていない授業科目がわかるように、印をつけて明示している。

平成20年度からは、テキストと参考資料の区別、授業の進め方や評価方法など、項目数を増やした。また学生が履修する判断材料をはっきり掲載できるように、記入例をあらかじめ作成、教員に配布し、周知を図った。今後の課題としては、成績評価の方法について、さらに明確にしてより詳細に明示することであり、検討が始まっている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.52など

(2) 学生の履修態度、学業への意欲等について、学科長等はどのように把握し受け止めているか記述して下さい。

1 人間文化学科

人間文化学科においては、従来より学生の出席率、受講態度について問題とされることは少なかった。授業科目により私語などが目立つ場合もあるが、専任教員の担当する授業科目においては概して問題が少ないようである。平成19年度より、授業科目「総合キャリア演習()」を開講してほぼ全員に履修させ、学業の意味とキャリア(各種スキルのみならず、人間力を含む総合的な教養と位置づけている)の形成の必要性について強調している。その効果もあり、それ以前と比較して学生のモチベーションは高くなったと評価している。

2 幼児保育学科

以前より、各授業科目担当教員から履修態度、学業意欲について報告を受けているが、その中で一部学生の受講態度に問題があることが指摘され、その都度、該当学生やクラスに注意や是正を促してきた経過があった。平成19年度に、複数の教員から受講態度の悪い

学生の存在について指摘を受けることがあった折には、改めて問題提起をし、両学科長名で、常勤・非常勤教員宛に「学生の受講態度向上に向けての取り組みのお願い」を配布、教員が同じ基準・態度を持って学生に対応することにした。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程である。履修に対する意欲は高いと見ている。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科生は、2年間の本科課程を履修してきており、学習意欲や目的意識は高く問題は少ない。

専攻科生を幼児保育学科の最高学年と位置づけ、1年次の研修旅行アシスタントとして参加させる等、自らの体験や問題を基に新入生をサポートできるキー・パーソンとして養成することが討議され進行している。

参考資料5 学生の受講態度向上に向けての取り組みのお願い

【教育改善への努力について】

(1) 学生による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。

平成14年度からほぼすべての授業科目において学生による授業評価を行っており、平成17年度からはマークシートリーダーおよび集計ソフトウェアを導入して省力化を図った。平成19年度からは、マークシートによる評価とは別に、自由記述用紙を配布するようにしている。

評価用紙2種の配布は担当教員が最後の授業に行い、一旦教務課に提出する。マークシートは職員が集計し、次の学期が始まる前に結果を担当教員にプリントアウトして配布する。自由記述用紙は提出と同時に担当教員に手交し、教員が即時に参照して授業改善に役立てるようにしている。

総合的な集計結果と分析は、前記プリントアウトに含まれるが、別に年度ごとに発行される「自己点検・評価報告書」に収録し、講評を付している。

平成20年度より、学生のアンケート・自由記述に対して教員が説明等をする冊子を作成して公開することが始まった。

参考資料6 「星美学園短期大学2007年度自己点検評価報告書」

(2) 短期大学全体の授業改善(FD活動及びSD活動等)への組織的な取り組み状況について記述して下さい。また学長等は授業改善の現状について、どのように受け止めているかを記述して下さい。

FDについては、将来計画・自己点検委員会が企画し、教務課と連携して実行している。学生による授業評価の他、授業公開期間を設けて、教員が相互に授業を見学できる機会としている。平成20年度からは、公開授業(研究授業)が始まり、定められた授業について

その時限に授業中ではない教員が参観し、また講評の機会を持って、授業のノウハウを共有する機会としている。

S Dについては、現時点でやや取り組みが遅れているが、それまでの総括が平成18年度の年次報告書に掲載され、その後、定期的な会議が持たれるなど、組織的な取り組みが開始されている。

授業改善・FDの経費については、将来計画・自己点検委員会が年度ごとに企画し、自己点検関係の予算と共に申請する態勢である。

学長としては、次のように考えている。現在の授業改善の取り組みは、学生による授業評価と授業公開が主であるが、前者については、それによる改善の検証が必要である。すなわち、学生の授業評価に基づいて、どのように授業を改善したか、それによって実際に学生の授業評価の結果が変化したかという検証である。そのためには前年度との比較データが必要となろう。授業公開あるいは公開授業（研究授業）については、そのような検証を行った授業、あるいは学生から特に高い評価を得ている授業を中心に行うことを提案したい。

参考資料6 「星美学園短期大学自己点検評価報告書」（2006～2008年度）

（3）担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通について、学科長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

人間文化学科の専門科目については、その過半数（55%）が専任教員の担当であることもあって、意思の疎通の問題は少ない。一部分担して担当する形式（輪講に近い形式）の授業科目については、平成20年度よりFDの一環として授業研究の対象とし、教員の認識の一致をめざしている。キャンパス・校舎が一箇所であることもあって、兼任教員との接触も密であり、特にイタリア語、イタリア文化関係科目においては、頻繁に打ち合わせが行われている。

幼児保育学科は、専門科目を11の領域に分け、専任教員の担当者が領域の教育内容と目標を設定し、兼任教員との意思疎通を図りつつ教育目標の実現を図っている。

各学科長は毎月の学科会・臨時学科会を中心に、意思の疎通や協力体制を維持している。また、近時は学内LANを利用したメールの交換が頻繁で、公式な形で学科専任教員に通知が必要な際に利用されることも多い。そのためのメーリングリストも各種用意されている。

また、さらなる共通理解と協力体制の構築を目して、兼任教員と専任教員が参加する形で、平成19年度末より教員連絡会が設けられている。

【特記事項について】

(1) この< 教育の内容 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、他の教育機関との単位互換制度、習熟度別授業、情報・メディア教育、国際理解教育、海外研修制度、インターンシップ、女子教育の伝統継承と発展への取組み等、学科等において努力していることがあれば記述して下さい。

1 他学科、他大学との単位互換制度

東京都短期大学協会コンソーシアムの単位互換事業に参加している。

2 習熟度別教育

英語科目について、平成20年度から実施している。過去にも習熟度別クラス編成が行われていたが、かえって学習意欲低下の原因となるということで廃止していた。しかし、最近の学生の学力差があまりにも激しいために、現在再び試行を行っている。

3 情報・メディア教育

人間文化学科にこの分野を専門とする専任教員がいて、学会活動も活発に行っている。そのリーダーシップによって、本学では早い時期に学内LANが整備され、また各教室においてプロジェクターによるPC画面・DVD等の提示が可能となっている。

4 国際理解教育

本学の本部がイタリア、ローマにあることから、イタリア文化についての授業科目を多数設け、イタリアを窓口とした西欧社会の理解を心がけている。また、両学科ともアジア地域（中国、台湾、韓国およびベトナム、カンボジア、スリランカなど）からの留学生をしばしば迎えているが、生身の学生と接することが異文化理解に大きな貢献となっている。

学園祭での売り上げの一部をサレジアン・シスターズを通じて、他国の教育事業（例えば、2007年・2008年には東ティモール）へ寄付してきた。本年度からは短期大学が希望する地域に援助することになっている。この事業を通じて、対象国・地域の現状についての理解を深めている。

5 海外研修制度

海外研修は、人間文化学科ではイタリア語イタリア文化を学ぶ学生が夏期休暇中にイタリア語学研修を一ヶ月程度実施している（4単位）。

幼児保育学科では、専攻科で「幼児教育研究k（アジアの幼児教育）」として、タイに赴き、国立系・私立系の大学教育学部附属幼稚園、および、タイ・サレジアン・シスターズ経営の幼稚園での研修を行い、国際理解をめざしているが、これは自国理解にも貢献している。

2月に、一般学生向けに1週間程度のイタリア研修が企画される。この研修は、観光コースを巡るものでなく、本学ゆかりの地を訪ねるオリジナルなもので、本学の教育理念を理解する事業となっている。

6 インターンシップ

医療福祉管理の分野における病院ボランティアおよび病院実習（病院医療演習）が、インターンシップに相当している。現在は近隣の3つの総合病院に受け入れを願っている。人間文化学科では、授業科目「総合キャリア演習」の一環として、平成20年度より学内インターンシップを始めた。数日～1週間程度、単純事務やPC入力、物品管理のような業務の手伝いにあたり、それを単位の一部として認める制度である。現在は図書館、キャリアセンターと協力して図書等の管理業務や一般事務の経験をさせている。

7 学生の自校理解と貢献

本学のサークル活動の特長ともいえるものに、ボランティア活動がある。AGM（A Gesù con Maria）、マリア救援隊は、長い歴史を持ち、児童養護施設星美ホームでの活動、フィリピンからの児童への教育費援助などが行われてきた。

平成19年度から、入試広報センターの呼びかけに応じて Seibi Student Staff（通称：トレッセ、SSS）が組織された。登録メンバーは、大学行事・講演会・キャンパス見学会・オープンキャンパスなど、対外的な催事に際して活動し、本学に対する理解を深めている。

本学公開講座「幼稚園グッズをつくっちゃおう」（東京都北区と提携）では、専攻科学生（幼稚園教諭二種免許状を取得、および「保育実習」の単位取得者）が、参加者の同伴する乳幼児を、母親の講座受講中に援助するボランティアを行っている。近隣の大型病院（東京北社会保険病院）でも、同様のボランティアを行った。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.34、74、81、113

<p>（2）特別の事由や事情があり、この＜教育の内容＞の評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。</p>
--

特になし

領域 教育の実施体制

【教員組織について】

(1) 現在の専任教員等の人数を下表を例にして作成して下さい。

専任教員等の人数

(平成21年度5月1日現在)

学科・専攻名 (専攻科を含む)	専任教員数					設置基準で 定める教員数		助手	(八)	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	〔イ〕	〔ロ〕			
人間文化学科	2	4	1	0	7	5	2	0	0	
幼児保育学科	5	1	3	0	9	8	1	0	0	学長を含む
(小計)	7	5	4	0	16	13	3	0	0	
(合計)	16					16		0	0	

〔注〕

1. 上表の〔イ〕とは短期大学設置基準第22条別表第1のイに定める学科の種類に応じて定める教員数(昼間または夜間において授業を行う学科が通信教育をあわせ行う場合には、短期大学通信教育設置基準第9条第2項に定める教員数を含む)をいう。ただし、通信教育学科のみを置く短期大学の場合は、短期大学通信教育設置基準第9条第1項別表第1に定める教員数をいう。
2. 上表の〔ロ〕とは短期大学設置基準第22条別表第1のロに定める短期大学全体の入学定員に応じて定める教員数をいう。なお、昼間または夜間において授業を行う学科が通信教育をあわせ行う場合には、短期大学通信教育設置基準第9条第2項に定める教員数を加算して下さい。
3. 上表の〔イ〕および〔ロ〕の欄の()には、短期大学設置基準第22条別表第1のイの備考第1号に定める教授数を記入して下さい。通信教育学科のみを置く短期大学の場合は、短期大学通信教育設置基準第9条第1項別表第1備考第2号に定める教授数を記入して下さい。
4. 上表の助手とは、助手として発令されている教職員をいう。
5. 上表の〔八〕とは、助手以外の者で短期大学全体もしくは学科等の教育研究活動に直接従事する教職員(事務職員を除く)をいう(例えば副手、補助職員、技術職員等)。

(2) 短期大学の教員にふさわしい資格と資質の有無については、訪問調査の際に、教員の個人調書(履歴書、研究業績書、担当授業科目名、その他)を提示していただきます。したがって個人調書をこの報告書に添付する必要はありません。

訪問調査の際、提示する。

(3) 教員の採用、昇任が適切に行われている状況を記述してください。その際、選考基準等を示した規定等があれば訪問調査の際にご準備をお願いいたします。

教員の採用、昇任については、星美学園短期大学教育職員選考規程に基づいて、教授会(拡大教授会ではなく教授のみを構成員とする)において慎重に審査を行って選考し、さらに教授会(拡大教授会)に諮り、そこで承認を得た上で、学校法人星美学園人事委員会へ諮る。同人事委員会を経た後、理事会で承認された者を採用としている。昇任も同規程に基づき、該当する者について厳正に審査を行った上で昇格としている。

参考資料8 星美学園短期大学教育職員選考規程

(4) 教員の年齢構成について下表を例に現状を記載して下さい。

専任教員等の年齢構成表

(平成21年4月1日現在)

教員数	年齢ごとの専任教員数(講師以上)							助手等の	
	70以上	60～69	50～59	40～49	30～39	29以下	平均年齢	平均年齢	備考
人数	0	3	7	4	2	0	52.3	該当なし	
割合%	0.0	18.8	43.8	25.0	12.5	0.0			

上表の助手等とは、助手に加えて助手以外の者で教育研究活動に直接従事する教職員(副手、補助職員、技術職員等)を含む。

(5) 専任教員は(a)授業、(b)研究、(c)学生指導、(d)その他教育研究上の業務に対して意欲的に取り組んでいるか。また上記4つの分野の業務取り組み状況にはどのような傾向があるかを学長等が記述して下さい。その際、過去3ヶ年(平成18年度～20年度)程度の教員の担当コマ数(担当コマ基準、平均担当コマ数等を含む)、教員の研究業績、教員が参画する学生指導の業務、教員が参画するその他の教育研究上の業務概要を示して下さい。

(a) 授業

本学では、申し合わせにより、専任教員の担当コマ数を週6～7コマ程度としているが、実技系の授業科目を担当する専任教員については、それを上回るコマ数を担当する場合がある。授業科目の特性によるものである。

なお、各教員の授業への意欲は概して高いとみている。

過去3ヶ年の専任教員の担当コマ数一覧 (平成18～20年度)

	人間文化学科			幼児保育学科		
	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度
小島 順子	3	3	1.5	武石 聡子	1.5	
高野 晴代	6			黒澤 洋一	7	
草野 隆	6	6	6	廣瀬 蓉子	8	8
江口 政江	10.5	9	10.5	安部 一博	8.5	8
永井 ムツ雄	8	8	8	町田 治	8.5	8
谷澤 容子	6.5	6	7.5	武田 秀美	7.5	7.5
中島 千恵子	7	8.5	8	田中 直美	9	8.5
武田 好		6.5	6.5	打越 みゆき	7.5	7.5
平均	6.7	6.7	6.9	藤原 明子	6	(産休)
				阿部 健一		2.5
				加納 智子		6
				平均	7.0	7.0

専攻科幼児保育専攻の担当授業科目数を含めたコマ数。

人間文化学科の担当コマ数には、分担して担当する一種の輪講科目であるインターネット特講(平成18年度)と総合キャリア演習(平成19～20年度)を含まない。

横線(-)は、退職あるいは赴任前。数値は、(前期コマ数+後期コマ数)÷2。

(b) 研究

各教員の過去5年間の教育・研究業績は 領域 研究に掲載した表を参照されたい。

各教員は、授業以外の業務が増加する中で、精一杯の努力をしていると評価している。

現在の本学においては、研究面の充実が課題である。本学の場合は、専任教員が学生を個別に指導を行うことが多いため、研究に費やす時間とエネルギーがそこに割かれることになる。ただし、研究日はおおむね保障されており、学生が登校しない夏期休業中および後期授業終了後の期間にまとまった研究時間が取れるような体制ができている。しかし、その教員の負う学内職務によっては、その期間においても十分な研究時間をとれない場合もある。そのような教員に対しては、研究への意欲が殺がれないように、順次「研究重点年」を設定し、研究に時間を割きやすい環境を作っていくことが必要であろうと、検討が始まっている。

(c) 学生指導

教員が参画する学生指導の業務としては、まず、クラス担任（人間文化学科ではクラス・アドバイザー）としてクラスごとの行事や連絡業務にあたる教員（正副合計8名、学長・副学長を除く教員の半数を越える）および個々の学生の相談窓口となるアシスタント（P.11参照）・ゼミ担当教員（幼児保育学科2年次生に対して定められる。学長を除く幼児保育学科全教員が担当）がある。また、4名の教員が学生部委員会委員、6名が教務部委員となり、委員会内部でさらに細かな分掌に所属し、たとえば履修登録指導を担当し、また学園祭の指導などに当たることになる。また、留学生に対しては3名の教員が国際交流委員会委員として指導監督にあたる。また、各種ワーキンググループが編成され、そこで学生指導にかかわる会議が持たれることもある。その他教育プロジェクト委員会などの委員として学生と協働する形で指導を行う教員もある。

両学科とも、卒業研究の指導を基軸としたゼミナールの態勢による少人数教育が行われている。本学の教育理念に基づき、専任教員は、「学生と共に居る」ことを常に意識し、個々の学生に対して、相当の時間を傾注している。

(d) その他教育研究上の業務

情報ネットワーク委員会の教員は、本学のみならず学園全体のLANに関与し、情報処理実習室、LL室（本学ではPC演習室としても使用する）の管理にあたり、情報学をはじめとする教育活動に支障が出ないように心がけている。日伊総合研究所は、同委員会で企画運営が行われ、春夏の講演会等の行事には教員も関与する。

また、教務運営や事務の効率化においても、コンピュータ化の企画立案など、教員が担当するものは多い。

(6) 助手、副手、補助職員、技術職員等を十分に、あるいは可能な限り配置しているか。また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているかを学長等が現状を記述してください。

演習科目や実技科目について、本学は必要に当たって非常勤助手およびティーチングアシスタント（通称TA、パート職員）を置いている。平成20年度後期は、幼児保育学科の教育実習に非常勤助手1名、情報関係の実技科目12コマに2名のTAが、各コマ1名ずつ配置されて教員の補助を行った。今後とも、必要に応じてTA等を配置して行く予定である。

【教育環境について】

(1) 校舎・校地一覧表を下の表を例に作成してください。

校舎・校地一覧

(平成21年5月1日現在)

	収容定員	校舎			校地		
		基準面積	現有面積	差異	基準面積	現有面積	差異
星美学園短期大学	300人	3,400㎡	8,387㎡	5,087㎡	3,000㎡	15,131㎡	12,131㎡
その他共用			- ㎡			- ㎡	
計			8,387㎡			15,131㎡	

[短期大学設置基準第31条の規定による当該短期大学の基準面積]

$$2,100\text{㎡} + 1,300\text{㎡} = 3,400\text{㎡} / \text{星美学園短期大学校舎面積 } 8,387\text{㎡}$$

校地、校舎の詳細な図面については、短期大学で保存している。

ほかに、併設小等学校の地下に設置された体育館、法人事務局のある学園本館に設けられた「プレイルーム（幼児保育学科の遊技演習室）」「評価事務室（自己点検評価、第三者評価関係の文書と機材を保管）」「倉庫（卒業式用ガウンを保管）」がある。

参考資料9 校地平面図、校舎配置図、校舎平面図

(2) 校地・校舎について、他の学校等との共有部分がある場合は、教育研究上の支障がないように、どのような措置をとっているかについても記述して下さい。

共有部分はない。

(3) 教育研究に使用する情報機器を設置するパソコン室、マルチメディア室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況(機種、台数等を含む)について記述して下さい。またその使用状況(使用頻度等)についても記述して下さい。

主に情報機器を用いる際に使用される教室と機器の台数について下表に示す。

情報処理・視聴覚関係の教室とパソコン、A V 機器等の設置台数

教室名	PC(Win)	PC(Mac)	VTR	DVD	OHC	プロジェクター
情報処理実習室	21		1		1	
情報処理演習室	8	2				
LL教室	25		1	1	1	1
視聴覚室	1		1	1	1	1
ML教室						

視聴覚室、LL教室およびML教室は主に授業で利用される。情報処理実習室および情報処理演習室は、学生が自由に利用できるようにしている。

なお、本学では、平成12年度に、広域ネットワークを教育・研究に利用するべく学内情報ネットワークの整備を行い、図書館閲覧室や個人研究室を含むほとんどすべての部屋でLAN接続が可能になっている。

さらに、平成17年度に、故障率の高いハードディスクを搭載しないネットワーク端末を導入し、トラブルの発生頻度が減少した。また、OS やアプリケーションソフトウェアをネットワーク上のサーバに集約させたことにより、ソフトウェアの一元管理が可能になった。これらにより、安定的なシステム運用が実現している。

また、各教員には教育・研究および各種業務に使用するノートPCが配布されている。情報処理・視聴覚系の各教室は、専門教育の他に公開講座を含む様々な分野の授業で利用されはじめており、その利用頻度は確実に増えている。LL室（20人が個別にPCを操作可能）の使用率は高く、PCの増設も検討されている。

（４）授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム（管理の状況、整備計画等を含む）についてその概要を記述して下さい。なお機器・備品の整備状況については訪問調査の際に校舎等をご案内いただく際にご説明いただきます。

一般教室の各種授業用機器の整備状況を下表に示す。

教室名	PC(Win)	PC(Mac)	TV	VTR	DVD	OHC	プロジェクター
213教室			1	1			
214教室			1	1	1		
215教室			1	1	1		
303教室				1	1	1	1
305教室			1	1			
306教室				1	1	1	1
403教室			1	1	1		
405教室			1	1	1		

可動式AV機器・・・4セット（OHC、VTR、DVD、プロジェクタなどを各1台ずつ移動用ワゴンに設置し、各階のどの教室でも使用できるようにしたもの）

上記以外では、図書館（8台）や就職資料室（2台）、ラウンジ（2台）などにもPCを合計12台設置しており、学生は自由に利用することができる。

授業用機器・ネットワーク系を含む情報処理関連設備に関しては、情報ネットワーク委員会を中心に管理し、新規導入についても検討を行っている。それ以外の機器および備品等の導入および購入については、庶務課、教務課、情報教育支援課が中心になって検討している。授業機器・備品の資産管理は庶務課で一括して行われている。

前述したとおり、情報処理・視聴覚系の各教室の利用頻度は増えており、ICT活用に対応できる教室も増加している。平成20年度に303教室、平成21年度に306教室にプロジェクターを導入した。また、これを補うために移動式機器も利用されている。

（５）校地、校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等について記述してください。訪問調査の際にご案内いただき、ご説明願います。

本学の校舎棟および図書館棟は、いずれも昭和61年に新築された新耐震基準施行後の建物で、安全性についての問題は無い。また、アスベストの使用状況について平成19年に調

査を実施し、図書館棟舞台天井の一部について対処工事を完了した。

校地への不審者の侵入を防止する立場から、学園として不審者侵入時の危機管理マニュアルを作成すると同時に、「刺す又」等の使用法訓練等も定期的実施されている。また正門受付は日中は警備員が常駐し、夜間は閉鎖される。本館受付に操作機材があり、正門、裏門、通用門をモニタリングし、必要に応じて解錠出来るシステムとなっている。

障害者への対応については、本校舎には障害者用のトイレ、エレベーター等が整備されているが、図書館棟の整備については今後の課題である。

短期大学専用の全天候テニスコートがある。専用体育館およびグラウンドは無いが、他校種との共用という形態で体育館が使用されている。また、校舎内に広いリトミック室があり、ダンス等の他、時に卓球台が10台ほど展開され利用されている。学生の休息場所については、アメニティ改善の観点から平成19年度に3階のラウンジを改修し、平成20年度中には1階の試食室・学生食堂の改修が行われた。

【図書館・学習資源センター等(以下「図書館等」という。)について】

(1) 図書館等の概要について、全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。なお図書館等には訪問調査の際にご案内いただきます。

1 図書館

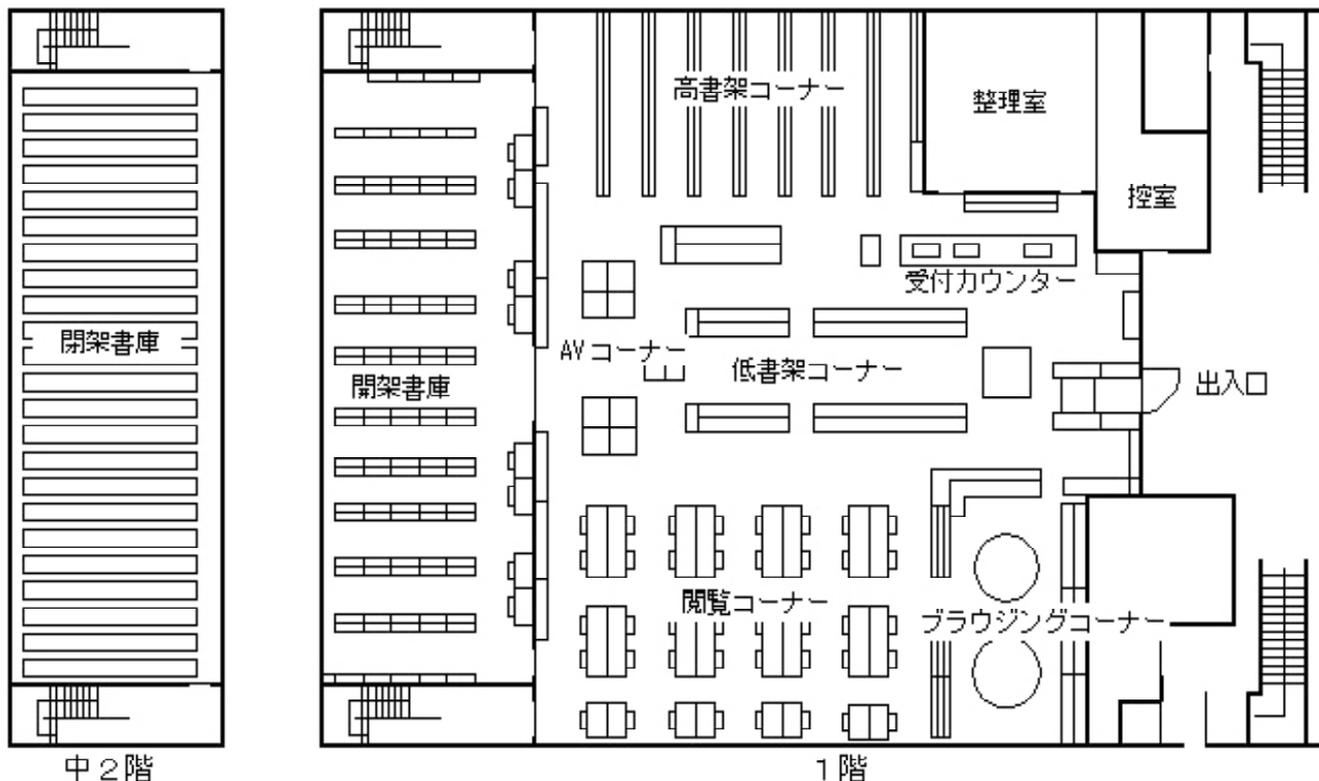
昭和61年に本学創立25周年を記念して建設された図書館棟は、上階に大講義室を併設した建物で、本校舎に隣接し1階渡り廊下で接続している。当初よりAV機器、PC端末の閲覧室内への設置が念頭に置かれた設計で、平成12年度の広域ネットワーク導入によって各閲覧席でのPC(インターネット・学内LAN)使用が可能となっている。端末は、固定のもの1台と貸し出し用のノートPC8台で運用している。他に学生用に蔵書検索用のPCが1台設置されている。なお、平成21年度には、館内ネットワークが赤外線から無線LANに更新された。

参考資料10 星美学園短期大学図書館利用案内

11 星美学園短期大学図書館規程

配置図

1階に開架式書庫と閲覧室、中2階に閉架式書庫を設置している。



館内面積・座席数について

館内面積は763.0㎡であり、座席数は68席（うち、A Vコーナー、ブラウジングコーナー等を含む）を設置している。（配置図 参照）

設備および機器について

視聴覚機器台数は以下のとおりである。

視聴覚機器台数

VTR	LD	DVD	CD	カセット
4	4	4	8	4
含国際版1		含国際版1		

他に 固定PC 1台
ノートPC 8台

2 年間図書館予算について

図書、視聴覚資料等の購入予算は、以下のとおりである。

図書館決算（平成20年度）

資料費（千円）			資料費計
図書	視聴覚資料	新聞・雑誌	
1,476	474	758	2,708

3 購入図書等選定システムについて

本学の教員と学生にとって必要な、教育・研究・学習における「基礎的・基本的資料」の整備を図る、他の図書館との相互利用のシステムに対応し運用できる「特色ある資料」

の収集と蓄積を図る、という基本方針に基づき、予算、蔵書構成、教育研究の効果および経済的な効率等を考慮して、図書選定・収集を行っている。

本図書館の運営の中心となる図書委員会は、年度初めに「図書館用図書購入計画書」を策定し、各学科等の責任者に提示し、各教員（非常勤教員も含む）は予算の枠内で、授業に必要な資料を選定する。

また、学生からの要望は随時受け付けるとともに、利用者からのレファレンスや、利用状況などを参考に選定し、さらに、学生と教員の学園生活と社会生活に関わる視点に立って、必要な図書を適宜選定している。

4 図書等廃棄システムについて

固定資産として登録した蔵書のうち、破損等で補修不能な図書、紛失した図書、経年変化により資料価値の滅失した図書、同一の複数在庫図書等は、原簿から除籍し、廃棄処分としている。独立した廃棄規程は策定していない。

5 司書数について

職員は、兼任（教員）の館長1名、司書資格を有する専任職員2名である。年間業務のスケジュール化を図り、各業務のシステム化・分担の明確化によって効率的運用を図っている。

6 情報化の進捗状況等について

1987年の開設以来、情報化に努め、平成14年、「NACISIS - CAT / ILL」（国立情報学研究所目録所在サービス）に参加、平成18年、Web版のOPAC「Jopac」を導入し、既存のWebページへのコンテンツ化を図っている。

なお、現在のシステム状況は、管理者用サーバー1台、業務用端末2台、OPAC専用端末1台、情報検索用端末9台の機器構成であり、日常の業務処理に問題はない。

Web版のOPAC導入により、自宅からの蔵書検索や他の図書館からの情報収集が可能になり、学内外の利用者にも非常に便利になった。今後、図書館情報の発信にとどまらず利用者からの要望や予約等のサービス提供等をめざし、さらなる充実を図りたい。

（2）図書館に備えられている蔵書数（和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等）を下表を例に作成して下さい。

蔵書数は、以下の通りである。

図書館蔵書数一覧

（平成21年5月1日現在）

	和書	洋書	学術雑誌	AV資料
冊（種）	56,440	3,871	847	2,419

(3) 図書館等には学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書等は整備されているか。また学生の図書館等の利用は活発かを、図書館等の責任者(図書館長等)が現状をどのように捉えているかを記述して下さい。

1 授業に関連する参考図書および一般図書の整備について

授業に係る参考図書、学生用一般図書等はおおむね整備されていて、その規模としては十分な蔵書数を備えている。また、学生の図書館の利用も活発である。さらに、教員から特別に指定された参考図書は別配置として、学生の利用の便を図っている。

なお、図書館員は毎年度早い時期にその年のシラバスに目を通し、参考文献にあるものは全て館内に揃えるようにしている。レファレンス対応の際、所蔵していないことが判明した場合などには速やかに購入することを心がけ、学生からの要望もなるべく受け入れるようにしている。

なお、2005(平成17)年度に新設した医療福祉管理の分野と、専攻科幼児保育専攻に係る参考図書については、購入予算配分を多くするなどして充実を心がけている。

2 図書館の利用状況

図書館利用率は高いと言えよう。学生の貸出冊数・視聴覚資料利用数も増加の傾向にある。

また、利用促進のために入学時に学科ごとに図書館のガイダンスを実施し、図書館利用の意義や基礎的な利用方法を伝えている。さらに、教員と連携し、図書館を利用した「演習」「ゼミ」等の授業を行うとともに、人間文化学科では「総合キャリア演習」の中で図書館に関する講義を行って、情報収集の実際や著作権等について、応用的な利用を伝えている。

なお、新刊/イタリア関係/キリスト教関係/月別特集/絵本等のテーマ別、ジャンル別コーナーを特設し、利用を促している。また、Webページにも随時掲載をしている。

年間開館日数および入館者数

	開館日数(日)	入館者数(人)	うち学外
2006(平成18)年度	212	12,677	355
2007(平成19)年度	187	10,480	158
2008(平成20)年度	186	9,875	182

図書貸出冊数

	人間文化学科	幼児保育学科	専攻科	聴講生等	教職員	その他	合計
2006(平成18)年度	1,089	794	166	65	819	103	3,036
2007(平成19)年度	881	795	154	47	683	153	2,713
2008(平成20)年度	809	817	151	101	703	148	2,729

視聴覚資料利用数

	人間文化学科	幼児保育学科	専攻科	聴講生等	教職員	その他	合計
2006(平成18)年度	143	44	10	11	169	1	378
2007(平成19)年度	64	16	1	5	160	0	246
2008(平成20)年度	96	93	0	20	140	0	349

専攻科は、専攻科幼児保育専攻

学生の要望を受け、平成18年度から、夏期休業中については、集中講義や就職ガイダンス等、学生の登校日に開館し、開館日数を増加させることができた。

(4) 図書館等からの学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について、図書館長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。

1 学内外への情報発信

学内外への情報発信として次のような事業を行っている。

図書館のWebページを公開し、所蔵目録(WebOPAC)やお知らせ、開館日カレンダー等を掲載(随時更新)している。

大学報「La Voce」に「図書館だより」のコーナーを連載し、図書館のトピックス、新着資料の紹介、統計データ等を報告している。

国立情報学研究所目録所在情報サービス(NACISIS/CAT)に参加し、所蔵目録を公開している。

2 他の図書館との連携

他の図書館との連携として、次のような事業を行っている。

他大学図書館等の利用希望者への利用依頼書を発行。

他大学図書館からの利用申請による利用の受け入れ。

国立情報学研究所ILLサービスに参加。相互貸借・文献複写を受付・依頼。

相互貸借等の状況

	文献複写		相互貸借	
	依頼(件)	受付(件)	依頼(件)	受付(件)
2006(平成18)年度	47	1	0	0
2007(平成19)年度	38	0	0	0
2008(平成20)年度	35	2	0	0

「東京都私立短期大学協会図書館コンソーシアム」に参加し、相互利用を実施。

ILLサービスのオンライン受付・申し込みは、受付体制が整っていないため実施していない。現在の文書またはFAXに替えて、オンラインによる受付・申し込みを実現したい。

3 その他の図書館活動

地域社会に対して開かれた図書館であるべく、以下の事業を行っている。

- ・卒業生、星美学園の高校生、同じく保護者、および本学公開講座受講生への閲覧提供の開放を実施。(卒業生へは資料の貸出し業務も行っている)
- ・特設コーナー等の、図書館の環境づくりに力を注ぐとともに、クリスマス時期のディスプレイ展示など、本学の特色に沿った環境デザインを行っている。

なお、学術図書だけでなく、学生が関心を持つ図書、雑誌、DVD等を揃え、親しみやすい図書館の実現をめざしてきた。その成果は、前掲の表に明らかのように、貸出冊数の増加に現れている。

【特記事項について】

(1) この< 教育の実施体制 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等、努力していることがあれば記述して下さい。

人間文化学科にはイタリア語イタリア文化を学ぶカリキュラムが設置されている。その講師としてイタリア人教員が常時複数雇用され、イタリア語会話などの授業に当たっている。

F D 活動の一環として、授業公開期間が設けられ、教員相互が授業の見学・講評を行っているが、いずれ公開対象を本学関係者・保護者などに拡げることを検討している。

領域 教育目標の達成度と教育の効果

【単位認定について】

(1) 次の「単位認定の状況表」を例に、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。なお、この表は平成20年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成して下さい。

人間文化学科 単位認定の状況表

種別	授業科目名	授業形態	履修登録人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終評価(%)					
					本試	再試等	計	A+	A	B	C	D	失格放棄
総合 教養 科目	キリスト教学(人文)	演習	60	レポート・平常点	95	0	95	45	25	25	0	0	5
	聖書学特講	講義	12	筆記試験	83	17	100	17	33	25	8	0	17
	倫理学	講義	51	レポート・筆記試験	76	0	76	25	33	14	0	2	25
	ドン・ボスコ研究	講義	22	筆記試験・レポート・平常点	95	0	95	32	45	9	9	0	5
	心理学	講義	86	筆記試験	98	2	100	9	16	15	53	3	2
	日本語日本事情 a	演習	3	筆記試験	67	33	100	0	33	0	67	0	0
	日本国憲法	講義	86	筆記試験	95	0	95	64	31	0	0	0	5
	社会福祉論(人文)	講義	41	筆記試験・平常点	95	5	100	7	34	54	0	0	5
	児童福祉論	講義	85	筆記試験	95	5	100	16	35	26	18	0	5
	高齢者福祉論	講義	32	筆記試験・平常点	100	0	100	6	38	0	56	0	0
	生命・人間	講義	52	レポート	94	6	100	10	25	44	15	0	6
	日本の生活と文化	講義	19	レポート・平常点	95	0	95	0	42	53	0	0	5
	生物学	講義	61	筆記試験	93	7	100	20	31	13	30	0	7
	ライフサイエンス(生理衛生・解剖学を含む)	講義	42	筆記試験	95	5	100	40	17	14	19	5	5
	健康と衛生	講義	41	筆記試験	80	17	98	32	12	24	27	0	5
	情報処理	講義	66	レポート	100	0	100	83	17	0	0	0	0
	基礎英語 A	演習	24	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	38	21	29	13	0	0
	基礎英語 B	演習	25	筆記試験・平常点	68	32	100	8	28	20	44	0	0
	基礎英語 C	演習	26	筆記試験	88	8	96	42	19	12	19	0	8
	イタリア語入門	演習	52	筆記試験・平常点	94	4	98	38	35	19	4	0	4
日本語日本事情 b(言語)	演習	3	レポート・平常点	100	0	100	0	67	33	0	0	0	
健康科学(人文)	講義	62	筆記試験	94	6	100	18	32	18	19	6	6	
体育実技A	実技	40	平常点・実技	100	0	100	5	55	38	3	0	0	
体育実技B	実技	37	平常点・実技	97	0	97	22	43	24	8	0	3	
総合 教養 科目	人間学・女性論(人文)	演習	61	筆記試験・レポート・平常点	97	0	97	15	54	28	0	0	3
	聖書学特講	講義	17	筆記試験・平常点	100	0	100	0	29	41	29	0	0
	倫理学	講義	26	筆記試験	69	0	69	12	15	4	38	0	31
	ドン・ボスコ研究	講義	28	筆記試験・平常点	86	4	89	32	39	4	14	0	11
	心理学	講義	60	筆記試験	27	67	93	10	7	7	52	18	7
	日本語日本事情 b	演習	1	レポート・平常点・発表	100	0	100	0	100	0	0	0	0
	日本語日本事情	演習	2	レポート・平常点	100	0	100	0	50	0	50	0	0
	日本国憲法	講義	87	筆記試験	93	0	93	37	30	10	16	0	7
	社会福祉論(人文)	講義	24	筆記試験・平常点	92	0	92	33	50	8	0	0	8
	児童福祉論	講義	80	筆記試験	61	34	95	10	15	14	51	5	5
	高齢者福祉論	講義	17	筆記試験・平常点	76	0	76	0	41	24	12	0	24
	生命・人間	講義	40	レポート	93	0	93	53	28	13	0	0	8
	ボランティア活動論・実習	演習	8	レポート	63	0	63	63	0	0	0	0	38
	生物学	講義	11	筆記試験	91	9	100	27	45	9	18	0	0
	ライフサイエンス	講義	50	レポート・平常点	94	0	94	44	36	12	2	0	6
健康と衛生	講義	34	筆記試験	91	0	91	41	24	15	12	0	9	
情報処理	演習	54	レポート・平常点・実技	89	11	100	44	24	13	15	2	2	
基礎英語	演習	11	筆記試験・レポート・平常点	82	0	82	18	27	18	18	0	18	
体育実技	実技	75	平常点・実技	96	0	96	4	76	13	3	0	4	
平成 二 〇 年 度	人間とマスコミ	講義	20	レポート	95	5	100	5	45	45	0	0	5
	ヨーロッパ文化研究	講義	26	レポート・平常点	92	0	92	42	35	15	0	0	8

専 門 教 育 科 目 平 成 一 九 年 度	食生活とエコロジー	講義	22	レポート・平常点	100	0	100	27	36	23	14	0	0
	ユニバーサル家庭料理	講義・演習	11	レポート・平常点	64	9	73	55	0	0	18	0	27
	書道a	講義・実習	17	作品	100	0	100	35	65	0	0	0	0
	書道b	講義・実習	20	平常点・作品	100	0	100	15	85	0	0	0	0
	言語表現a	演習・講義	64	筆記試験・作品・実技	94	6	100	0	19	36	36	3	6
	言語表現b	演習・講義	64	筆記試験・平常点	97	0	97	5	39	36	13	5	3
	言語表現c	演習・講義	11	レポート・平常点	91	0	91	0	18	55	18	0	9
	総合キャリア演習	演習・講義	59	平常点	100	0	100	0	78	17	0	5	0
	PC作文入門	演習・講義	63	平常点・実技	97	2	98	2	25	62	8	2	2
	編集実務b	講義	45	筆記試験・平常点	93	7	100	22	49	22	0	0	7
	日本文化研究(官位・服飾)	講義	34	筆記試験・レポート・平常点	85	15	100	24	29	21	12	0	15
	日本語教授法(日本語教育)	演習	7	筆記試験・レポート・平常点 ・実習	100	0	100	0	71	14	14	0	0
	美しい日本語(日本語日本文学研究 1)	講義	15	筆記試験	87	0	87	20	13	27	27	0	13
	『枕草子』を読む(日本語日本文学研究 2)	講義	27	筆記試験・レポート・平常点	93	4	96	19	37	30	7	4	4
	別れと哀傷の歌(日本語日本文学研究 3)	講義	20	レポート・平常点	90	0	90	10	55	10	15	0	10
	『愛』の名作を読む(日本語日本文学 研究4)	講義・演習	15	レポート・平常点	93	0	93	7	73	13	0	0	7
	心を豊かにする小説を読む(日本語 日本文学研究5)	講義	26	レポート・平常点	92	8	100	15	73	4	0	0	8
	日本と世界のファンタジー研究1(日 本語日本文学研究6)	講義・演習	15	レポート・平常点	100	0	100	13	60	27	0	0	0
	日本と世界のファンタジー研究2(日 本語日本文学研究7)	講義・演習	14	レポート・平常点	93	0	93	0	71	21	0	0	7
	日本文学史・演習	講義	16	筆記試験・レポート・平常点	94	6	100	19	38	38	0	0	6
	日本文学演習	演習	16	レポート・平常点	88	13	100	13	50	19	13	6	0
	日本文学演習	演習	15	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	27	47	20	7	0	0
	イタリア語文法a(語史を含む)	講義・演習	6	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	67	17	17	0	0	0
	イタリア語文法b	講義・演習	6	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	67	33	0	0	0	0
	イタリア語 a(聴く)	演習	6	筆記試験	100	0	100	67	33	0	0	0	0
	イタリア語 b(書く)	講義・演習	6	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	50	50	0	0	0	0
	イタリア語会話(話す)	講義	7	筆記試験・レポート	86	0	86	0	43	43	0	0	14
	イタリア文化特講c(美術)	講義	34	筆記試験・平常点	97	3	100	29	35	24	9	0	3
	イタリア文化特講d(建築)	講義	37	レポート・平常点	97	3	100	97	0	0	0	0	3
	イタリア文化研究(食文化)	講義	31	筆記試験	65	19	84	0	3	26	45	10	16
	イタリア史a(地理を含む)	講義	11	筆記試験	91	9	100	18	18	36	9	9	9
	イタリア史b	講義	17	レポート・平常点	100	0	100	12	53	29	6	0	0
	イタリア教育史とキリスト教	講義	15	筆記試験	87	0	87	20	7	33	13	13	13
	ファッションと生活	講義	18	筆記試験・平常点	89	0	89	22	50	17	0	0	11
	基礎描写	演習	19	作品	84	0	84	11	42	32	0	0	16
	造形学演習 a	演習	15	作品・平常点	100	0	100	7	47	33	13	0	0
	造形学演習 b	演習	13	平常点・作品	100	0	100	0	38	38	23	0	0
	造形学演習 c	演習	12	レポート・平常点・作品・実技 ・実習	100	0	100	33	42	17	0	0	8
	造形学演習 d	演習	13	平常点・作品	92	8	100	38	31	15	15	0	0
	造形学演習 e	講義・実技	9	平常点・作品・実習	89	11	100	0	22	56	22	0	0
	造形思考	演習	22	平常点・実習	95	0	95	23	18	55	0	0	5
	映像論	講義	29	レポート	86	0	86	10	28	21	28	0	14
	色彩論	講義	34	実習	94	6	100	3	59	18	15	0	6
コンピュータグラフィックス	演習	24	作品	92	0	92	33	58	0	0	0	8	
情報処理論	講義	33	筆記試験・レポート	85	9	94	18	39	18	21	0	3	
情報発信プロジェクト演習	演習	57	レポート・平常点・作品	98	2	100	39	25	30	5	0	2	
Webデザイン論	講義	15	筆記試験・レポート・平常点 ・作品	100	0	100	60	27	7	7	0	0	
プログラミング理論・演習	講義・演習	9	筆記試験・作品・実技	89	0	89	33	22	22	11	0	11	
Webデザイン(情報学演習)	演習	11	レポート・平常点・作品	82	0	82	18	27	27	0	9	18	
組織と経営	講義	48	筆記試験	100	0	100	15	48	35	2	0	0	
医療といのちのモラル	講義	39	筆記試験・レポート	92	8	100	13	36	28	13	3	8	

	人間のからだと薬	講義	29	レポート	97	0	97	28	28	31	10	0	3
	病院実務の実際	演習	19	平常点・実習	100	5	105	16	26	37	16	5	0
	医療管理・医療秘書学	講義	60	筆記試験	83	5	88	28	22	27	12	0	12
	医療事務総論(演習を含む)	講義・演習	36	筆記試験	75	25	100	19	33	11	25	3	8
	介護保険制度論	講義	24	筆記試験・レポート・平常点	96	0	96	8	17	50	21	0	4
	福祉住環境論	講義	35	筆記試験	89	9	97	29	23	29	11	3	6
	社会病理学	講義	34	レポート・平常点	79	18	97	3	18	35	38	3	3
	健康栄養学	講義	25	筆記試験・平常点	64	36	100	8	12	12	56	12	0
	教育情報学	演習	4	レポート・実習	100	0	100	100	0	0	0	0	0
	【公開講座】絵から読む源氏物語	講義	10	レポート・平常点	90	0	90	20	70	0	0	0	10
専 門 教 育 科 目	人間関係論(イタリアの西欧と日本)	講義	16	筆記試験	81	0	81	0	19	44	19	0	19
	人間とマスコミ	講義	27	レポート・平常点	81	0	81	15	30	30	7	0	19
	ヨーロッパ文化研究	講義	27	レポート・平常点	89	0	89	11	26	37	15	0	11
	食生活とエコロジー	講義	27	レポート・平常点	81	11	93	15	22	33	22	0	7
	食文化演習	演習	26	レポート・平常点	81	0	81	12	19	19	31	0	19
	ユニバーサル家庭料理	演習	24	レポート・平常点・実習	88	4	92	29	42	13	8	0	8
	書道a	演習	36	平常点・作品	94	0	94	22	64	8	0	0	6
	書道b	演習	19	平常点・作品・実技	95	0	95	58	37	0	0	0	5
	言語表現c	演習	9	レポート	33	0	33	0	33	0	0	0	67
	総合キャリア演習	演習	56		100	0	100	13	45	30	13	0	0
	編集実務a(就職対策)	演習	44	筆記試験	89	2	91	11	25	32	20	0	11
	日本文化研究(人生儀礼・建築物)	講義	32	筆記試験・レポート	78	3	81	6	38	31	6	0	19
	言葉の移り変わり(日本語日本文学 研究1)	講義	12	レポート・平常点	83	0	83	8	33	33	8	0	17
	王朝の歌人たち(日本語日本文学 研究2)	講義	10	レポート・平常点	90	0	90	10	30	50	0	0	10
	宇治拾遺物語(日本語日本文学 研究3)	講義	10	レポート・平常点	80	0	80	10	20	40	10	0	20
	心を豊かにする小説を読む(日本語 日本文学研究5)	演習	16	レポート・平常点	88	0	88	6	56	25	0	0	13
	日本と世界のファンタジー研究1(日 本語日本文学研究6)	演習	15	レポート・平常点・演習発表	87	0	87	13	60	13	0	0	13
	日本と世界のファンタジー研究2(日 本語日本文学研究7)	演習	13	平常点・レポート	62	0	62	0	54	8	0	0	38
	日本文学史・演習 (中世・近世・ 近代・現代)	演習	11	筆記試験・平常点	73	0	73	0	64	9	0	0	27
	日本文学演習	演習	11	レポート・平常点	82	0	82	9	18	55	0	0	18
	日本文学演習	演習	10	筆記試験・レポート	90	0	90	20	30	40	0	0	10
	イタリア語 a(聴く)	演習	5	筆記試験	100	0	100	60	0	20	20	0	0
	イタリア語 b(書く)	演習	6	筆記試験	100	0	100	0	50	17	33	0	0
	イタリア語会話 (話す)	演習	5	筆記試験	100	0	100	20	40	40	0	0	0
	応用イタリア語	演習	5	筆記試験	100	0	100	100	0	0	0	0	0
	原書イタリア語(読む)	演習	5	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	40	60	0	0	0	0
	イタリア文化特講a(文学)	講義	32	レポート・平常点	91	0	91	6	50	22	13	0	9
	イタリア文化特講b(音楽)	講義	17	レポート・平常点・実技	82	12	94	24	53	6	6	6	6
	イタリア文化研究(服飾)	演習	34	レポート・平常点・作品・実習	88	6	94	21	15	47	6	0	12
	イタリア史b	講義	19	レポート・平常点	95	0	95	37	37	11	0	5	11
	造形学演習 - 1(染・織)	演習	5	レポート・平常点・作品・実技	80	0	80	20	60	0	0	0	20
	造形学演習 - 1(ガラス工芸)	演習	8	作品	100	0	100	38	63	0	0	0	0
	造形学演習 - 1(陶芸)	演習	3	作品	100	0	100	0	0	100	0	0	0
造形学演習 - 1(服飾)	演習	3	平常点・作品・実習	100	0	100	67	33	0	0	0	0	
造形学演習 - 2(染・織)	演習	5	平常点・作品・実習	100	0	100	60	20	20	0	0	0	
造形学演習 - 2(服飾)	演習	4	平常点・作品	100	0	100	0	75	25	0	0	0	
造形学演習 - 2(ガラス工芸)	演習	8	作品	100	0	100	50	13	0	38	0	0	
造形学演習 - 2(陶芸)	演習	3	平常点・作品・実習	100	0	100	0	33	67	0	0	0	
造形思考	演習	21	平常点・実習	100	0	100	29	43	29	0	0	0	
映像論	講義	25	レポート	84	0	84	16	12	16	32	8	16	
視覚デザイン	演習	28	作品	100	0	100	21	50	25	4	0	0	
DTP演習	演習	20	作品	100	0	100	20	70	10	0	0	0	
情報処理論	講義	56	筆記試験・レポート・平常点	93	4	96	9	38	34	16	0	4	
データベース論	講義	33	筆記試験・平常点	94	0	94	33	33	9	18	0	6	

マルチメディア論・演習	演習	12	実習	100	0	100	25	67	8	0	0	0
Web開発(情報学演習)	演習	11	平常点・作品	100	0	100	73	9	18	0	0	0
インターネット英語	演習	9	レポート・平常点・実技	89	0	89	67	22	0	0	0	11
医療といのちのモラル	講義	21	筆記試験・レポート	90	5	95	71	5	14	5	0	5
医療管理・医療秘書学	講義	47	筆記試験	81	11	91	13	32	23	23	0	9
医療事務総論(演習を含む)	演習	40	筆記試験	75	18	93	28	18	20	23	5	8
医療事務演習	演習	19	筆記試験	68	32	100	11	16	11	47	16	0
介護保険制度論	講義	14	筆記試験	86	0	86	7	29	29	21	0	14
介護保険実務	演習	20	筆記試験	85	15	100	20	30	25	25	0	0
医療情報学	講義	21	レポート・平常点	95	5	100	10	43	33	14	0	0
統計学演習(医事統計を含む)	演習	24	平常点・実習	100	0	100	0	63	29	8	0	0
福祉住環境論	講義	15	筆記試験	87	7	93	53	13	20	7	0	7
社会病理学	講義	14	レポート	86	0	86	14	21	21	29	0	14
健康栄養学	講義	25	筆記試験・平常点	80	8	88	4	32	32	20	0	12
病院医療演習(病院実習を含む)	演習	19	平常点・実習	100	0	100	32	58	11	0	0	0
研究法演習(総合)	演習	1	平常点	100	0	100	0	0	100	0	0	0
研究法演習(日文)	演習	4	平常点	75	0	75	0	75	0	0	0	25
研究法演習(造形)	演習	10	平常点・作品	100	0	100	60	10	30	0	0	0
研究法演習(造形)	演習	6	レポート・平常点・実習	100	0	100	50	17	17	17	0	0
研究法演習(医療)	演習	16	作品	100	0	100	13	75	13	0	0	0
研究法演習(情報)	演習	11	レポート・平常点	100	0	100	36	36	9	18	0	0
研究法演習(イタ文)	演習	5	レポート・平常点	100	0	100	40	60	0	0	0	0
研究法演習(福祉)	演習	5	平常点	100	0	100	20	40	40	0	0	0
研究法演習	演習	3	レポート・平常点	67	0	67	0	67	0	0	0	33
教育情報学	演習	3	レポート・平常点・実習	100	0	100	100	0	0	0	0	0
[公開講座]絵から読む源氏物語	講義	9	レポート	89	0	89	33	44	11	0	0	11
[公開講座]イタリア語を楽しもう	講義	2	平常点・実習	50	0	50	50	0	0	0	0	50
[公開講座]イタリア文化	講義	7	レポート	57	0	57	29	29	0	0	0	43

幼児保育学科 単位認定の状況表

種別	授業科目名	授業形態	履修登録人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終評価(%)					
					本試	再試等	計	A+	A	B	C	D	失格放棄
総合 養 科 目	キリスト教学(幼保)	演習	65	筆記試験・出席点	97	5	102	42	43	12	3	0	0
	聖書学特講	講義	12	筆記試験	83	17	100	17	33	25	8	0	17
	倫理学	講義	51	レポート・筆記試験	76	0	76	25	33	14	0	2	25
	ドン・ボスコ研究	講義	22	筆記試験・レポート・平常点	95	0	95	32	45	9	9	0	5
	心理学	講義	86	筆記試験	98	2	100	9	16	15	53	3	2
	日本語日本事情 a	演習	3	筆記試験	67	33	100	0	33	0	67	0	0
	日本国憲法	講義	86	筆記試験	95	0	95	64	31	0	0	0	5
	社会福祉論(幼保)	講義	63	筆記試験・レポート	92	8	100	21	38	29	5	0	8
	児童福祉論	講義	85	筆記試験	95	5	100	16	35	26	18	0	5
	高齢者福祉論	講義	32	筆記試験・平常点	100	0	100	6	38	0	56	0	0
平 成 一 九 年 度	生命・人間	講義	52	レポート	94	6	100	10	25	44	15	0	6
	日本の生活と文化	講義	19	レポート・平常点	95	0	95	0	42	53	0	0	5
	生物学	講義	61	筆記試験	93	7	100	20	31	13	30	0	7
	ライフサイエンス(生理衛生・解剖学を含む)	講義	42	筆記試験	95	5	100	40	17	14	19	5	5
	健康と衛生	講義	41	筆記試験	80	17	98	32	12	24	27	0	5
	情報処理	講義	66	レポート	100	0	100	83	17	0	0	0	0
	基礎英語 A	演習	24	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	38	21	29	13	0	0
	基礎英語 B	演習	25	筆記試験・平常点	68	32	100	8	28	20	44	0	0
	基礎英語 C	演習	26	筆記試験	88	8	96	42	19	12	19	0	8
	イタリア語入門	演習	52	筆記試験・平常点	94	4	98	38	35	19	4	0	4
平 成 一 九 年 度	日本語日本事情 b(言語)	演習	3	レポート・平常点	100	0	100	0	67	33	0	0	0
	健康科学(幼保)	講義	68	筆記試験	99	1	100	18	50	21	10	0	1
	体育実技A	実技	40	平常点・実技	100	0	100	5	55	38	3	0	0
	体育実技B	実技	37	平常点・実技	97	0	97	22	43	24	8	0	3
	人間学・女性論(幼保)	演習	63	筆記試験・平常点	98	0	98	8	48	41	2	0	2
聖書学特講	講義	17	筆記試験・平常点	100	0	100	0	29	41	29	0	0	

総合 教養 科目	倫理学	講義	26	筆記試験	69	0	69	12	15	4	38	0	31		
	ドン・ボスコ研究	講義	28	筆記試験・平常点	86	4	89	32	39	4	14	0	11		
	心理学	講義	60	筆記試験	27	67	93	10	7	7	52	18	7		
	日本語日本事情 b	演習	1	レポート・平常点・発表	100	0	100	0	100	0	0	0	0		
	日本語日本事情	演習	2	レポート・平常点	100	0	100	0	50	0	50	0	0		
	日本国憲法	講義	87	筆記試験	93	0	93	37	30	10	16	0	7		
	社会福祉論(幼保)	講義	54	筆記試験・平常点	80	0	80	15	22	30	13	0	20		
	児童福祉論	講義	80	筆記試験	61	34	95	10	15	14	51	5	5		
	高齢者福祉論	講義	17	筆記試験・平常点	76	0	76	0	41	24	12	0	24		
	生命・人間	講義	40	レポート	93	0	93	53	28	13	0	0	8		
	ボランティア活動論・実習	演習	8	レポート	63	0	63	63	0	0	0	0	38		
	生物学	講義	11	筆記試験	91	9	100	27	45	9	18	0	0		
	ライフサイエンス	講義	50	レポート・平常点	94	0	94	44	36	12	2	0	6		
	健康と衛生	講義	34	筆記試験	91	0	91	41	24	15	12	0	9		
	平成 二 〇 年 度	情報処理	演習	54	レポート・平常点・実技	89	11	100	44	24	13	15	2	2	
基礎英語		演習	11	筆記試験・レポート・平常点	82	0	82	18	27	18	18	0	18		
体育実技		実技	75	平常点・実技	96	0	96	4	76	13	3	0	4		
専 門 教 育 科 目		保育原理	講義	68	筆記試験・平常点	99	1	100	12	44	22	19	1	1	
		教育心理学	講義	64	筆記試験・レポート・平常点	94	6	100	3	9	13	56	13	6	
		発達心理学	講義	63	筆記試験・平常点	84	8	92	2	22	24	41	3	8	
		幼児と人間関係	演習	68	筆記試験・レポート・平常点	97	3	100	0	15	29	51	1	3	
		児童文化	講義	47	平常点・作品	98	0	98	13	40	28	17	0	2	
		子どもの遊び	演習	49	平常点・実技	82	10	92	2	12	37	41	0	8	
		児童文学	講義	36	筆記試験・レポート・平常点	97	3	100	0	72	19	6	0	3	
		国語表現	講義	64	筆記試験・課題提出物	89	9	98	0	61	30	8	0	2	
		家族援助論	集中講義	60	筆記試験	78	5	83	0	12	57	15	0	17	
		平成 一 九 年 度	幼児と環境	演習	64	筆記試験・平常点	75	20	95	16	25	22	33	0	5
			子どもと衣生活	演習	47	筆記試験・平常点・作品	98	2	100	17	36	21	23	0	2
			子どもと住生活	講義	41	筆記試験	83	2	85	44	15	7	20	0	15
	ソルフェージュ		演習	65	筆記試験・平常点	91	6	97	23	35	22	17	0	3	
	幼児の表現1		演習	65	レポート・実技	88	12	100	6	26	37	28	3	0	
	音楽技術(花輪)		演習(実技を含む)	11	平常点・実技	100	0	100	0	27	64	9	0	0	
音楽技術(山本)	演習(実技を含む)		13	平常点・実技	92	0	92	0	15	77	0	0	8		
音楽技術(広瀬)	演習(実技を含む)		14	平常点	93	0	93	0	14	71	7	0	7		
音楽技術(武内)	演習(実技を含む)		14	平常点	93	0	93	0	36	57	0	0	7		
音楽技術(町田)	演習(実技を含む)		13	平常点・実技・実習	100	0	100	0	0	85	15	0	0		
救急処置(人文)	講義		29	筆記試験	76	21	97	3	14	52	24	3	3		
救急処置(幼保)	講義		52	筆記試験	83	15	98	17	21	23	31	6	2		
基礎デザイン	演習		68	作品・平常点	100	0	100	1	26	60	10	1	0		
教育情報学	講義・演習		66	筆記試験・レポート・平常点	100	0	100	39	23	20	18	0	0		
教育学概論	講義		68	筆記試験	96	4	100	4	29	26	35	0	4		
幼児教育課程総論(含む課程一般)	講義	64	筆記試験・平常点	91	6	97	63	20	6	5	0	6			
幼児教育指導法	講義・実習・演習・実技	68	提出物	100	0	100	3	19	53	24	1	0			
専 門 教 育 科 目	教育実習(事前事後の指導を含む)	実習	59	レポート・平常点・実技・実習	97	0	97	8	10	64	12	2	3		
	保育者論	講義	62	レポート・平常点	98	0	98	26	32	37	3	0	2		
	幼児教育学	講義	61	レポート・平常点	100	0	100	33	31	21	15	0	0		
	モンテッソーリ教育概論	講義	55	筆記試験・レポート・平常点	76	20	96	9	35	13	40	0	4		
	総合演習	演習	63	レポート	87	10	97	38	24	13	22	0	3		
	乳児保育	演習	43	筆記試験	86	0	86	23	21	28	14	0	14		
	社会福祉援助技術	演習	40	筆記試験・平常点	85	5	90	15	33	25	18	0	10		
	障害児保育	演習	40	筆記試験・レポート・平常点	80	10	90	45	28	8	10	0	10		
	教育相談基礎論	講義	62	筆記試験・レポート・平常点	84	13	97	3	24	23	47	0	3		
	精神保健	講義	52	筆記試験・平常点	87	10	96	12	25	35	25	0	4		
	幼児と言葉	演習	63	筆記試験・平常点・演習発表	100	0	100	27	22	41	10	0	0		
	名作の朗読	講義	49	筆記試験・レポート・平常点・実技	94	0	94	29	39	12	14	0	6		
	家族関係論														
	子どもと食生活	演習	49	筆記試験・平常点	94	4	98	12	41	27	16	2	2		

平成20年度	器楽合奏													
	声乐	演習	22	平常点・実技・出席	91	0	91	0	23	41	27	0	9	
	音楽技術 (広瀬)	演習	12	平常点・実技	92	0	92	25	0	58	8	0	8	
	音楽技術 (山本)	演習	12	平常点・実技	100	0	100	0	17	83	0	0	0	
	音楽技術 (山岸)	演習	12	平常点・実技	75	0	75	0	33	42	0	0	25	
	音楽技術 (花輪)	演習	11	実技	100	0	100	0	45	45	9	0	0	
	音楽技術 (武内)	演習	11	実技	91	0	91	0	0	64	27	0	9	
	幼児の表現2	演習	63	平常点・作品	84	14	98	37	21	11	27	3	2	
	造形表現学	演習	63	平常点・作品	95	0	95	0	16	54	25	0	5	
	幼児の健康	演習	63	筆記試験	76	24	100	21	16	17	40	6	0	
	幼児体育	実技	63	実技・平常点	94	2	95	13	51	21	11	0	5	
	小児保健	講義	50	筆記試験・レポート・実技	84	2	86	52	32	2	0	0	14	
	小児保健実習	実習	36	筆記試験・作品・実技	97	0	97	31	42	25	0	0	3	
	小児栄養	演習	68	筆記試験・平常点	97	0	97	19	40	13	24	1	3	
	子どもとメディア	演習	24	筆記試験・レポート・平常点・作品	96	0	96	17	13	38	29	0	4	
	卒業研究ゼミナール(阿部)	演習	6	平常点	100	0	100	17	33	50	0	0	0	
	卒業研究ゼミナール(安部)	演習	7	レポート・平常点	100	0	100	29	14	43	14	0	0	
	卒業研究ゼミナール(広瀬)	演習	6		100	0	100	0	17	83	0	0	0	
	卒業研究ゼミナール(町田)	演習	7	レポート・平常点	86	0	86	0	14	71	0	0	14	
	卒業研究ゼミナール(武田)	演習	6	レポート・平常点	100	0	100	0	100	0	0	0	0	
	卒業研究ゼミナール(田中)	演習	8	レポート・平常点	100	0	100	0	100	0	0	0	0	
卒業研究ゼミナール(打越)	演習	8	平常点	100	0	100	13	38	25	25	0	0		
卒業研究ゼミナール(藤原)	演習	7	レポート・平常点	100	0	100	43	0	57	0	0	0		
卒業研究ゼミナール(加納)	演習	8	レポート・平常点・実技	75	25	100	38	0	13	50	0	0		

専攻科 幼児保育学科 単位認定の状況表

種別	授業科目名	授業形態	履修登録人員	主な単位認定の方法	単位取得状況(%)			最終評価(%)					
					本試	再試等	計	A+	A	B	C	D	失格放棄
専攻科 幼児保育専攻 学科学目	幼児教育研究a(人格論)	演習	48	筆記試験・レポート	100	0	100	21	21	33	25	0	0
	幼児教育研究b(臨床心理学)	演習	20	筆記試験・レポート・平常点	95	5	100	25	25	25	25	0	0
	幼児教育研究c(乳幼児のあそびと健康教育)	演習	13	レポート	100	0	100	69	8	23	0	0	0
	幼児教育研究e(造形)	演習	7	平常点・作品・実技	100	0	100	0	86	14	0	0	0
	幼児教育研究f(予防教育法と幼児)	演習	5	筆記試験・平常点	100	0	100	60	40	0	0	0	0
	幼児教育研究g(ファンタジー文学研究)	演習	24	筆記試験・レポート	100	0	100	21	67	13	0	0	0
	幼児教育研究h(キリスト教保育)	演習	4	レポート・平常点・作品・実技	100	0	100	25	75	0	0	0	0
	幼児教育研究i(音楽技術)(町田)	演習	10	平常点・実技	100	0	100	10	40	40	10	0	0
	幼児教育研究j(音楽技術)(山岸)	演習	18	平常点・実技	100	0	100	0	28	56	17	0	0
	幼児教育研究(幼児の造形表現)	演習	40	作品・実技	100	0	100	3	35	43	20	0	0
	幼児教育研究k(アジアの幼児教育)	演習	9	レポート	100	0	100	0	0	78	11	11	0
	音楽療法	演習	11	レポート	82	0	82	36	27	18	0	0	18
	保育原理	講義	49	レポート・平常点	100	0	100	41	22	8	27	2	0
	保育内容総論	演習	49	レポート・平常点	100	0	100	41	20	35	4	0	0
	養護原理	講義	48	レポート・平常点	90	10	100	42	25	13	21	0	0
	養護内容	演習	48	筆記試験・レポート・平常点	98	2	100	21	29	40	10	0	0
	ベビーシッター論	講義	48	筆記試験・レポート	94	6	100	17	23	42	19	0	0
	保育実習 (事前事後の指導を含む)	実習 (演習)	47		100	0	100	0	28	66	6	0	0
	保育実習 (事前事後の指導を含む)	実習 (演習)	26	筆記試験・平常点・実習	100	0	100	0	54	42	4	0	0
保育実習 (事前事後の指導を含む)	実習 (演習)	22	筆記試験・平常点・実習	100	0	100	5	68	23	0	0	5	

備考

・人間文化学科には複数のコースがあったが、原則的に、いずれの授業科目も全てのコースの学生が履修可能としていた。また、年度中途のコース変更による学生の移動などもあったので、コース毎の統計は出していない(コースという呼称・枠組みは、平成21年度より廃止し、「分野」に変更している)。

- ・各授業科目は、1年次に履修するもの、2年次に履修するもの、1・2年次どちらで履修しても良いもの、1・2年次に重複して履修して良く、その両方が単位として加算されるものがある。このうち1年次毎に講義内容が異なるものであるので、上記の表では、別科目としている（授業科目名は同一なので、2008年度、という形とした）。
- ・再履修等により標準配当の年次に履修していない学生も、履修者数に含まれている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.49～183

（2）学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

各学科・専攻科とも、単位は各授業科目の担当者によって課せられた期末試験（レポートも含む）を主に、小試験、出欠席、受講態度、提出物等の平常点も加味して出された各教員の成績を、教授会で認定する。本学では、その授業科目の欠席が授業時数の三分の一を超えた学生に学期末試験の受験資格を与えていないので、この場合については試験を受ける前に失格となる。なお、本試験に欠席（病欠）した場合には追試験を行う。試験に不合格であった場合には、再試験を実施することが認められている。

1 人間文化学科

授業科目によってAおよびA+評価が大半を占めるものや、C・D評価の多いものなど、成績評価の様相には大きな差違が見られる。しかし個々に検討すると、そのばらつきのおおくは授業科目の特性によるものであると認められる。一部のC・D評価が多い授業科目については、近時の学生の経験してきた教育課程が原因で必要な素養が身につけていないことがその原因となっているものが多い。

単位認定の様相についての調査し、その結果の詳細な検討・評価が必要であると認識して、学科としてのポリシーの確立と、必要な到達度水準の明示によって、採点基準の標準化を図って行きたいと考えている。すでに平成20年度からその検討が始まっていて、輪講形式の「総合キャリア演習」においては、採点のマニュアル化を試みている。

2 幼児保育学科

単位の認定方法について、幼児保育学科では、学科の特性から、講義科目と演習科目に大別できる。双方とも出席状況が評価対象となっているが、演習科目は出席状況や授業態度が重視されている。講義科目でも、試験の他にレポート課題を課している科目も多く、総合的に単位を認定していると受け止めている。

単位取得率に関しては、必修科目は再試験も含めて見ると、高い単位取得率となっている。低い取得率となっているのは選択科目で、資格取得を途中放棄したことによる教育課程科目の履修放棄であると考えられる。

なお、同じ授業科目で担当者が異なる場合について、その評価に傾向の違いが見られることがある。担当者間での採点についての共通確認が必要ではないかと思われる。学科会や科目担当者間で、そのような授業科目の評価基準について検討を開始している。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

まだ成績の評価はなされていない。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科でも単位認定に至る過程は本科と同様であるが、専攻科の学生は目的意識が高いこともあって、概して取得状況は良い。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.37～43

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述してください。

単位の認定は、もっぱら授業担当教員の裁定に任されており、その基準（平常点、本試験の重み付けなど）も担当教員に任されている。このシステムでは、担当教員によって単位認定が厳しすぎる（甘すぎる）という問題が生じる可能性がある（単位認定の妥当性の問題）。そこで、できるだけ妥当な単位認定が行なえるようなシステムが必要であると考えている。たとえば、単位認定を得るために学生が到達しなければならないレベルを予めシラバスに明示し、そのレベルに到達できたか否かという点を中心にして単位認定を行なう方法である。いずれにしても、より客観的で妥当性のある単位認定システムの構築が課題と認識している。

【授業に対する学生の満足度について】

(1) 各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備下さい。

各授業の満足度についての評価は、「学科目履修アンケート（学生による授業評価アンケート）」に織り込まれている。この設問の中には「新鮮な興味深い内容の授業だと思えましたか」などという項目も含まれている。平成14年度から、ほぼすべての授業において学生による授業評価を行い、平成17年度からはマークシートリーダーおよび集計ソフトウェアを導入した。平成19年度からは、マークシートによる評価に加えて自由記述用紙を配布するようにしている。評価用紙の配布は担当教員が最後の授業に行い、自由記述用紙とともに、いったん教務課に提出する。マークシートは、職員が集計し、次の学期が始まる前に担当教員に結果を配布。自由記述用紙は、提出と同時に返却され、教員が即時に参照して授業改善に役立てている。

なお、平成20年度より、学生の自由記述事項に対して、教員が答え、それを集成して公表する試みがはじまっている。

また、平成19年度より、マークシートによる「学生満足度調査」を行っている。これは学生生活全般について年度末に実施されるアンケートで、設問数は100問を設定しており、それぞれ5段階に評価する。また、中項目ごとに自由記述欄を設けている。授業についての項目も含まれる。

上記の二つのアンケート集計結果と分析については、年度ごとに発行される「自己点検・評価報告書」に収録される。

参考資料6 「星美学園短期大学2007年度自己点検評価報告書」

12 学科目履修アンケート（用紙）

13 学生満足度調査（用紙）

（2）担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

1 人間文化学科

従来からアシステンテによる面接指導、あるいは卒業研究指導をはじめとする学生との密な接触のなかで、教員は個々の学生と信頼関係を築こうとしてきた。授業科目について、あるいはその他の種々の事項についての不満は、その過程で認識され、修正されたことも多い。教員から距離を置く傾向のある学生の意見などについては、平成19年度から実施されたアンケート「学生満足度調査」の結果等から推測することになるが、理にかなった、あるいは実現可能な事項については、各教員はしかるべく配慮していると認めている。

2 幼児保育学科

各教員とも、各アンケート結果をよく参照し、より満足度の高い授業運営を心掛けていると認める。

アンケートに関しては、担当教員が回収を行い、自由記述はそのまま持ち帰るとなると、学生の立場からすれば成績に影響があるのではないかという不安が生じ、本音を聞き取りにくいこともあると考えられる。このアンケートは成績に関係ないということを明確に言及すべきであろう。そして、担当教員は実施説明のみにとどめ、回収は学生2名くらいに依頼をするという対策が必要であると考えられる。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であり、まだ成績が出されていない。

4 専攻科幼児保育専攻

幼児保育学科と同様である。

（3）学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

担当教員が学科目履修アンケートに配慮し自発的に授業の改善を図っていくとの前提の下に、現在のところ、アンケート結果は各担当教員に直接渡されている。今後は、学長ないし運営協議会が各教科のアンケート結果を参照し、特に評価の低い授業科目については、改善依頼書を付して送付すること、翌年度に改善がみられたかのチェックを行うことを提案し検討したい。また、自由記述を除く、アンケート結果の数値データは、記入主体である学生が閲覧できるようにすることについても検討したい。

【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の退学、休学、留年等の数を、次の表を例にして学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。

人間文化学科 退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学
入学者数	59	60	41
うち退学者数	6	5 転科者1名含む	4
うち休学者数	0	0	0
休学者の内の復学者数	0	0	0
うち留年者数	1	0	-
うち除籍者数	1	0	0
うち長期履修生	2	0	0
卒業生数	52	57 転科者1名含む	-

幼児保育学科 退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学
入学者数	81	72	57
うち退学者数	5	8	3
うち休学者数	1	0	0
休学者の内の復学者数	0	0	0
うち留年者数	2	4	-
うち除籍者数	0	0	0
うち転学科した者	0	2	0
卒業生数	76	58	-

専攻科(幼児保育専攻) 退学者等一覧表

(平成21年3月31日現在)

	平成18年度入学	平成19年度入学	平成20年度入学
入学者数	35	34	49
うち退学者数	0	0	1
うち休学者数	0	0	0
休学者の内の復学者数	0	0	0
うち除籍者数	0	0	0
留年者数	0	0	1
卒業生数	35	34	47

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者(復学者を含む)及び留年者に対する指導(ケア)の現状について学科等ごとに記述してください。

1 人間文化学科

退学者数は、5%前後で横ばい傾向を続けている。退学理由としては、欠席過多による学業の継続困難が多数を占めるが、その原因は多様である。アルバイトが生活の大部分を

占めるようになったことが原因というような場合もある（留学生に多い）が、その学生の心理的傾向、たとえば対人恐怖、過度の潔癖症などがその原因となる例もあった。そうした学生はこれから増加するのではないかと推測している。学費の支払いが困難な学生も、一定の比率在籍している。

退学希望の場合、アシスタントは本人・保護者と面接を重ね、原則として学科長も面談に参加することになっている。

人間文化学科が、理念として多様な学生に開かれた学科であることをめざしている以上、退学・留年者の存在は、ある程度は避けられないことであると考えている。本学には長期履修制度があり、さまざまな事情を持つ学生が、時間をかけて卒業することを支援している。これまでも、3年間、あるいは4年間在学し、満足して卒業していった学生が存在する。アシスタント制度の定着や、学校カウンセラー制度の定着が背景となっている。

休学者は常にあり、アシスタントが状況を把握し、履修相談等に応じる態勢である。一旦退学し、復学して卒業に及んだ例も少数ながらある。その学生の場合、退学理由は、アルバイトとの時間の調整が出来なかったことであった。こうした場合も、その学生の在学時のアシスタントが、再入学の際の相談窓口となって対応する。

2 幼児保育学科

幼児保育学科は、退学者の割合は平成18年度6.1%、平成19年度11.1%、平成20年度5.3%となっている。退学理由は進路変更が多く、休学、留年者は少ない。そのほとんどが1年次在学中に退学している。

退学希望者が出た場合、アシスタント、ゼミ担当教員、クラスアドバイザーが相談に応じ、転科を希望した場合は、そのための履修指導等を行っている。留年者へは、できるだけ半期で卒業できるよう指導している。直接の指導は、留年者をよく把握している2年次に卒業研究ゼミナールを担当した教員がアシスタントとして当たり、生活面も含め指導に当たっている。ここ数年、休学者は出ていない。

退学者の多くは、入学以前に抱いていた学生生活に対する見通しと、実際の学生生活との間に認識のズレがあったと分析されている。退学の前兆としては、まず授業への出席状況が悪くなる傾向があり、この前兆を捉えて早期に対応することが必要である。アシスタントは、クラスメート、授業担当者からの情報を収集し、迅速な把握に努めている。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であるので、まだ退学者・留年者を出していない。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科が設置された平成17年度に1名、20年度に1名の、私事都合による退学者があった。基本的に退学を考える学生は少ないが、本科同様、ゼミ担当が中心となって学生の指導にあたり、退学に到らなかつた例も多い。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

1 人間文化学科

困難を抱えているにもかかわらず、本学教員、事務職員の多面的な対応によって退学に至らず踏みとどまった例がある。毎月の学科会のなかでは必ず問題を抱え欠席がちな学生についての情報の共有をはかり、対応を検討している。また、個々の教員は学生あるいは保護者との面接を重ねるなどして、相応の時間をかけている。退学にあたっては、担当アシスタントおよび学科長が学生および保護者と面談を行うのが通例であり、学科長としても学生個々の事情は把握できる態勢にある。そうした現状の中で、退学者が5%程度という比率はやむを得ないと考えている。

2 幼児保育学科

本学科は幼稚園教員免許、保育士資格取得のためのカリキュラムの密度が高く、加えて幼稚園等での教育実習など種々の課題が多く、学生は相当な努力を必要とする。欠席・学力不良等が重なると教育免許の取得が困難な状況となり、子どもと関わりたいという所期の目的を果たせなくなる学生が出てくる。学生の基礎学力の低下が現実となっている現在、退学や進路変更をする学生は一層増えていくものと考えられる。特に平成19年度入学生についてはこの傾向が顕著であった。この対策として、平成21年度より新たに「幼児保育キャリア演習」を設置し、基礎学力の向上や保育者としてのスキルアップをめざすことにした。教員免許の取得を諦めた学生でも、子ども関連企業や分野に就職し、活躍する方法を教え、それに対応する人材を育成し就職させていくことが課題である。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であるので、まだ退学、休学、留年者は出ていない。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科は設置から4年を経て、退学者は計2人と非常に少ない。専攻科進学希望者は2年次に、複数教員との面談を行って意思確認をするので、専攻科で学ぶことでのミスマッチは少ないようである。

(4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

年によってばらつきはあるが、一般に比べて退学者が多いという認識はない。退学希望者には、保護者とも連絡をとって、本人の将来を第一に考えながら、丁寧に対応していると考えている。

なるべく早く学習支援室を設置して、必要性の高い学生のニーズに対応することを検討している。

【資格取得の取組みについて】

(1) < 教育の内容 > の【教育課程について】で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況（取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等）を学科等ごとに示して下さい。

< 教育の内容 > の【教育課程について】で取得が可能な免許・資格（平成20年度）

1 人間文化学科

	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合（％）
ウェブデザイン実務士	5	5	100.0
上級情報処理士	5	5	100.0
情報処理士	44	43	97.7
社会福祉主事任用	20	20	100.0
医療管理秘書士	36	29	
医療秘書士		0	
医療事務士1級		16	
医療事務士2級		11	
介護保険事務管理士	23	20	87.0
医事管理士	19	16	84.2
病歴記録管理士	19	15	78.9
実用イタリア語検定	3	2	66.7

「医療管理秘書士」「医療秘書士」については、単位履修の上、認定試験を受験し、その取得得点により、認定される資格が決定するため、取得割合が計算できない。

「医療事務士1級」「医療事務士2級」については、「医療管理秘書士」試験の合格点数により、認定される級が振り分けられるため、取得割合が計算できない。

2 幼児保育学科

	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合（％）
幼稚園教諭2種免許状	53	53	100.0
社会福祉主事任用	18	18	100.0
ピアヘルパー	20	13	65.0
医療管理秘書士	16	11	
医療秘書士		1	
医療事務士1級		0	
医療事務士2級		6	
介護保険事務管理士	0	0	0

「医療管理秘書士」「医療秘書士」については、単位履修の上、認定試験を受験し、その取得得点により、認定される資格が決定するため、取得割合が計算できない。

「医療事務士1級」「医療事務士2級」については、「医療管理秘書士」試験の合格点数により、取得可能な級が振り分けられるため、取得割合が計算できない。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であるので、まだ実績はない。

4 専攻科幼児保育専攻

	取得をめざした学生数	取得者数	取得割合（％）
保育士資格	47	47	100.0
認定ベビーシッター	44	44	100.0

教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況（平成20年度）

1 人間文化学科

漢字能力検定（財団法人日本漢字能力検定協会）を実際に受験し、合格したことを申告した学生は、平成20年度の場合、1名のみである。

2 幼児保育学科

特に設定していない。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であるので、まだ実績はない。

4 専攻科幼児保育専攻

特に設定していない。

（2）今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

1 人間文化学科

就職の際に必要なとされる国語力の底上げのために、文章能力の検定（日本語文章能力検定 文検、日本語検定 語検 など）の導入を検討している。既存の必修科目「言語表現 a～c」と組み合わせて、学生の「目に見える目標」とする計画である。

2 幼児保育学科

漢字能力検定（財団法人 日本漢字能力検定協会）をとりあげ、授業科目「総合キャリア演習 I、II」（1、2年次）の履修内容の一部としたい。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

課程で習得する免許・資格は考えていないが、イタリア語検定の上級取得を念頭に授業科目を整備している。

4 専攻科幼児保育専攻

今後、特別支援学校教諭二種免許「知的障害・肢体不自由・病弱（旧養護学校）」について、導入を検討している。

【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

（1）学科等ごとに専門就職（当該学科等で学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

平成20年度において、人間文化学科の医療福祉管理を学んだ学生19名のうち9名が医療関係に就職した。これはこの分野で学んだ学生の47%に当たる。医療関連求人数も増えて

きているが、医療事務資格を将来のためと考え、特に医療関係にこだわらない学生もあるのでこのような比率となった。その他の分野には特に専門資格はなく、一般企業就職である。

専攻科イタリア語イタリア文化専攻からはまだ卒業生が出ていない。

幼児保育学科は本科卒業生60名のうち、幼稚園就職が5名、保育所等就職1名で、保育士資格取得のために本学専攻科に進学する学生が34名であった。ほか企業等就職14名、進学4名、留年等4名となる。

専攻科幼児保育専攻修了生からは、幼稚園就職25名、保育所就職17名で、専門職就職の割合は89%であった。

(2) 卒業生に対する就職先(専門就職に限らない)及びその他の進路先(編入先等)からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述して下さい。

1 短期大学全体

就職先のアンケートからは、本学卒業生の明るさ、素直さが長所として評価されていることが伺える。その一方、コミュニケーション能力の面での弱さが指摘されている。

就職することは自分を成長させることであるという認識をもたせ、やる気と素直さをもって、就職先での指導に応え得る人材を送り出すことを、学内の共通認識としていきたい。

2 人間文化学科

卒業生の進路は多様であり、個々の事例についても単純に概括できないことが多いものの、進学の場合については、概して編入した大学のカリキュラムに馴染んで順調に卒業する学生が多いと認識している。就職については、近時就職したものの早期に自己都合によって退職する例があり、マッチングの問題が懸念された。そこで、希薄となりがちな進路・就職についての認識をより深める目的で、授業科目「総合キャリア演習()」を導入し活用してゆくことになった。

3 幼児保育学科

キャリアセンターが行っているアンケート調査の回答は、学科会・教授会等で報告され、学生指導の参考にしている。評価は、「明るく素直」という点で多くの卒業生が評価されているが、「先輩・同僚・保護者等との人間関係がスムーズに結べない」「積極性が足りない」などの評価も共通して見られる。プラスの評価からは、本学の保育者養成への長年の努力により、本学が関係幼稚園等から信頼を得ていることが感じられる。

このアンケート結果を教員間の共通認識として、学生指導や保育者養成の反省点としているが、学生に対してもアンケート結果を公表しており、モチベーション向上の一助としている。

なお、数年前から、就職講演会・説明会に保護者の参加を呼びかけている。これによって、学生と保護者が、情報を共有して就職をめざすことができるようにした。

就職先からの評価を知るためには就職先対象のアンケート結果に頼ることが多いが、ア

アンケートの回収は100パーセントとはいかない。今後、懇談会というかたちで学生就職先の状況を直接聞くシステムの構築も考えられる。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であり、まだ卒業生を出していない。

5 専攻科幼児保育専攻

専攻科生は、幼稚園や保育所への就職率が高く評価も高いと認識している。

参考資料14 卒業生進路先アンケート（幼稚園・保育所）・回収結果（報告書）

（3）卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取り組みの概要と結果について記述して下さい。

平成17年度から、卒業生に対して就職後アンケート調査を実施している。この調査は、就職先の実情調査を目的としたものである。

また、卒業後3ヶ月後の同窓会において、キャリアセンターが情報交換会を実施している。加えて同窓生に依頼して、企業OG懇談会、幼稚園・保育園OG懇談会を実施している。

在学生の就職活動に際しては、OG訪問や電話による相談などもキャリアセンターが奨励し仲介している。これらは在学生の役に立つばかりでなく、卒業後短大で学んだことが実際にどのように効果を上げているかを、具体的に知るチャンスとなっている。

今後行う就職後アンケート調査では、大学時代に学んだことが実際にどのように活かされているか、また、どのような点が不十分であったかなどを調べ、以後の指導に具体的にフィードバックできるよう、調査内容を検討し、改善につなげたいと考えている。

幼児保育学科では、保育の現場で活躍している卒業生相互の情報交換の場として、平成21年2月から「保育を語る会」を発足させた。この会に教員が参加することにより、教育の効果と実績を確認する機会となっている。実習園での面談の中では、多くの情報交換が行われ、学生の長所のみならず問題となる点を掬いあげる場にもなっている。

参考資料15 卒業生進路先アンケート（一般）・回収結果（報告書）

（4）卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

1 短期大学全体（学長コメント）

明敏・清純・温和というモットーが反映した本学のカラーが個々の学生にあり、人物的な評価は良い。今後は、キャリア支援教育を充実し、技能面での更なるスキルアップを図り、さらに自信をもてるように学生を育成したい。

これからも本学の卒業生が、キリスト教で言うところの、周りの人たちに喜びや慰めをもたらす「地の塩、世の光」となって生きることができるよう、キリスト教的な価値観を

伝える努力をしていきたい。

2 人間文化学科

人間文化学科では、堅実な業績を持つ特定の企業複数から継続して求人がある。これは、以前より本学科学生の特質として、温和さや、堅実さが周知されている結果と考えている。進学した学生についても、その後大学院に進むような学生も複数あり、本学において養成された基礎力が、学生に四年制大学の2・3・4年次の専門課程に良く堪える力を与えているものと考えている。

3 幼児保育学科

本学科の卒業生の社会からの評価、信頼度の高さは、毎年、本学の幼稚園・保育所就職志望者数に対して約4倍強の求人票が送られてくることから推測できる。

また、教育実習や保育実習の際に教員が実習園を訪れる折、園長から直に求人を依頼される場合もあり、指名求人となるケースもある。就職した卒業生が評価され、次の求人に繋がるケースもある。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

まだ修了生を出していない。

5 専攻科幼児保育専攻

学生の意識の高さから、良い評価を受けていると受け止めている。

【特記事項について】

(1) この< 教育目標の達成度と教育の効果 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の効果について努力していることがあれば記述して下さい。

1 短期大学全体

創立者ドン・ボスコの教育観に基づき、叱責や罰などによって規律を保つのではなく、信頼と励ましによって学生自身の内に規律を育てる努力を教職員全体が実践している。また、学内に、他者に心を向ける第一歩となる「挨拶」を溢れさせようという運動があり、教職員が率先して挨拶を励行している。

2 人間文化学科

人間文化学科では、以前より「卒業研究」を必修としている。一年をかけて、学生に自分の力で新たな意見・知識あるいは造形作品を提示することを必須としている。短期大学で過ごす期間、ただ受け身であってほしくないからであり、自ら考え創造する技術を身につけることを目標としているからである。また、1年次はじめに一泊して行われる学外研修と、2年次秋の学外研修、および卒業前の卒業研究発表会において、他の学生の前で何らかのプレゼンテーションをすることを課している。自ら発表し、また他の学生の発表に触発されて各授業科目の意義を実感することをめざしている。生活造形の分野の卒業制作展の実施も、こうした目標実現のための企画である。

3 幼児保育学科

「テアトロ・SEIBI」を実施している。これは、本科2年間の集大成として、例年2月に実施する、子ども劇の上演を目的とした授業で、2年生は全員必修としている。

観客として、星美学園内の幼稚園・小学校・児童養護施設の子どもたちや近隣の幼稚園・保育所の子どもたち、卒業生就職先の園長、本学を合格した高校3年生を招待する。

この催しと、これに連動した授業の中で、学生は、原作を熟読することを学び、更に人間にとって普遍的なメッセージをテーマ設定に盛り込んだ脚本を制作する。

また、実行委員をリーダーとし、舞台制作(演出、音響照明、振付、舞台美術、衣装)をプロデュースし、広報活動や渉外活動(企画、広報、対外折衝、園児の誘導)を行うなど、社会的活動を実習する。園児を招待するため、リスクマネジメントを徹底しなければならないなど、現場の厳しさを実感する機会でもある。

このような学習プロセスを経ることで、短期大学で習得した知識や技能の総合化をはかり、子どものいのちと心を育む優れた幼児教育者となることをめざしている。

参加学生へのアンケート、幼稚園・保育園引率者へのアンケート、観客アンケートは、高い満足度と評価を示している。

なお、この取組は、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に、2006年度は「学芸発表会」として、2007年度は「テアトロ・SEIBI」として応募した。採用には到らなかったが、2年続けて応募することにより、取組を見直し・改善を重ねたことで取組の質が高まり、大きな教育効果を得られた。

また、これとは別に、毎年度後期末に卒業研究発表会が開催されている。2年生は、全員、必修として卒業研究に取り組んでおり、例年1月末に優秀な学生を研究指導担当者が選出し、卒業研究の成果をパワーポイントなどを使用して発表する。尚、次年度に卒業研究に取り組む1年生も全員参加し、この発表会が卒業研究の導入としての役割も果たしている。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

イタリア語、イタリア文化に関する授業科目の他、ファッション・ビジネスなどの学科目を設定し、実業界からイタリアと関係の深い事業を担当する教員を招聘して、学生の実社会での活躍の実践的な教養とすることをめざしている。

5 専攻科幼児保育専攻

学年末に保育実習報告会を開催している。実習での体験や問題を提示し、自分たちのものにするだけでなく、後輩へのよきアドバイスの場として機能している。

保育実習報告書は、各個人が自分の体験した3回の保育実習それぞれについて学んだことをまとめ、自分の実習について総括しているものである。次年度、次々年度の専攻科進学者にも配布され、保育実習の導入教育に使用している。また、毎年必ず実習に行く福祉施設(児童養護施設、乳児院、障害児施設)にも送付して、学生の実習成果を還元している。

保育実習報告会は、学生自身が企画・運営して例年2月に実施しているもので、自分たちが体験した実習について、施設種別ごとに分担し、発表する。寸劇やペープサート(紙人形劇)で、実習のエピソードを再現してまとめるなど、学生は発表の工夫をしている。

保育実習報告書、保育実習報告会ともに、「保育実習」の授業のまとめとして行われているため、担当教員2名が必要に応じて助言するが、なるべく学生の主体性を尊重している。なお、次年度に専攻科へ進学する学生には、小レポート・感想文を課して、保育実習に対する意識づけをし、ガイダンスとして大きな役割を果たしている。

参考資料16 テアトロ・SEIBI 関係資料

領域 学生支援

【入学に関する支援について】

(1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。

大学案内については、早い時期から内容の充実と全頁のカラー化が行われている。建学の精神、教育理念、教育目標、沿革や学長のメッセージを示し、各学科の紹介では学べる内容を説明、在学生の時間割や感想・体験、卒業生からのメッセージ、就職先、進学先も紹介している。これに加えて、カトリック・ミッションスクールとしての使命、価値観を具体的に説いていて、容易に理解できる内容を心がけている。

また、大学報「La Voce」や、本学Webページに随時情報を掲載している。Webページの更新頻度も行事やイベントごととなっていて、ほぼ毎週更新している。さらに、従来の人間文化学科の広報紙「Stella Brillante」に替えて、平成21年度より両学科の広報紙を年数回発行し、学科コンセプトの浸透をめざすことになっている。

両学科とも、養成したい人物像について、明確な文言で説明することをめざし、「5つの目標」、「各分野の到達目標」(人間文化学科)、本学科のめざす保育者像(幼児保育学科)といった、明文化された形によって上記メディア等に提示している。

オープンキャンパス、学校説明会、キャンパス見学会に際しては、必ずミッションスクールとしての本学の理念に言及するようにしている。入試の個人面接においても、本学の理念と、ここで学ぶことの可能なものについての理解を深め、自己目標を確認できる設問を用意している。

課題としては、入学志願者がより理解しやすく親しみやすい言葉を用いた提示の仕方の追求が必要ではないかと考えている。

添付資料2 「星美学園短期大学2010大学案内・入学ガイド」

参考資料17 「星美学園短期大学報 Stella Brillante」

(2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法(推薦、一般、AO入試等)をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備下さい。

入学者選抜の方針と選抜方法については、大学案内、入学試験要項、各種リーフレット、Webページ、外部業社発行入試情報誌への掲載、会場形式や高校内入試相談会等で明示している。

添付資料2 「星美学園短期大学2010大学案内・入学ガイド」、

3 「星美学園短期大学入学試験要項2010年度(平成22年度)」

参考資料17 「星美学園短期大学報 Stella Brillante」、

18 「Open Campus & キャンパス見学会」(ちらし)、

- 19 「1 day トライ入試」(ちらし)、
- 20 「プレミアム (特待生) 入試」(ちらし)

(3) 広報及び入試事務についての体制 (組織等) の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい

入試・広報の事務については、その大半を入試広報センターが受け持つ。所属する職員は6名である。非常勤教員である嘱託職員がセンター長を務める。庶務課など他課の職員が兼務として2名所属する。また、兼務の嘱託職員1名が事務の一部を担当する。他に、専ら高校などへの訪問にあたる嘱託職員が2名所属している。

入学希望者等からの問い合わせに対しては、庶務課が窓口となって対応するが、庶務課は入試広報センターと近接し、センター員が常駐する形となっているので、電話の転送などで時間を掛けることは少なく、メール等による問い合わせにも迅速に答えることができる。

本学の場合、規模の小さいこともあり、外部との窓口は庶務部の一箇所に限られていることから、混乱は少なく、各種の問い合わせに対してスムーズに対応できている。

(4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備下さい。

1 入学試験の流れ

入試の企画は、入試広報委員会および入試広報センターが担当する。入試の実施にあたっては、おもに専任教職員が担当する。いずれの入試方式においても、合否は学科ごとの仮判定会議を経て、判定教授会にて決定する。

入試の事務についてはいずれの入試方式においても同様で、おおむね以下の通りである。すなわち、出願書類 (入学願書、推薦書、調査書) および検定料を確認し、受験番号を付番し、試験終了後面接等の結果を入力し、学科による仮判定教授会の資料を作成する。判定会議での合否決定を受け、入試広報センターは合否通知を発送する。

2 入試の種類

指定校制推薦入試 (専願)

各学科が指定する高等学校の現役生徒で、評定平均値など出願条件を満たしている生徒を対象とする。個人面接等によって審査する。

公募制推薦入試 (専願)

本学が特別に指定していない高等学校の現役生徒で、各学科が定める出願条件を満たしている生徒を対象とする。個人面接、推薦書類、調査書等によって審査する。

一般入試

期と 期がある。平成20年度まで国語または英語の筆記試験によったが、平成21年度より小論文と面接によることに変更された。調査書を参照する。また平成22年度は期のみを実施する。

A O入試

面談1回で対話型の「A方式 ～ 期」、面談1回で自己アピール対話型の「B方式(12月～3月の指定土曜日)」および外国人留学生を対象とし、日本語能力試験・面接を行う「C方式 ～ 期」がある。

面接は時間をかけて行う(30分程度以上)。B方式では調査書を参照する。所定の判定用紙により段階を付けて採点する。場合によって再度の面接を設定することもある。合格の「内定通知」を経て正式な出願手続きを行い、教授会にて正式に決定し、あらためて合格通知を行う。

社会人特別入試

本学の定めた出願資格を有し、かつ入学年度の4月1日現在20歳以上、最終出身学校卒業後1年以上を経た女子を対象として実施する。 ～ 期がある。選考方法は、小論文および面接である。

外国人留学生特別入試

本学の定めた出願資格を有していて、かつ日本国の永住権を得ていない外国籍の子女を対象とする。 ～ 期がある。選考方法は日本語試験と面接である。

入試業務として、履歴書の代わりに外国人登録済証明書の提示を求め、当該年度の「日本語能力試験(1級または2級)」の受験票を所有する者は、その写しの提示を求める。

帰国子女入試

日本国籍を有し、保護者の海外在住のため、あるいはその他の理由により外国の教育課程に在籍し、国の内外を問わず通常の課程による学校教育12年以上を修了した者で、入学時において満18歳以上の女子を対象とする(加えて外国の高校に継続して2年以上在学、または、中等教育機関に5年以上在学、という条項がある。詳細については入学試験要項参照のこと)。選考方法は日本語(作文)と面接である。

卒業生子女特別入試

本学の卒業生の子女を対象とする。調査書および面接によって審査する。

平成22年度入試からは、自己推薦入試を廃止し、以下の選抜方式を導入する。

プレミアム(特待生)入試

公募制推薦入試の形式で、一定の成績を修め、学費の免除特典を希望する現役の生徒を対象とする。調査書、推薦書、筆記試験(現代文)および個人面接によって選考する。特典内容は、入学初年度の納付金のうち、入学金の全額免除および授業料の半額免除とする。

1 dayトライ入試

A O入試の一種で、1日のうちに体験学習と入学試験の受験を希望する人を対象とする。午前中は、本学の様子を詳しく知るオープンキャンパスの体験学習に参加し、午後はA O入試を受験するという形式で行う。午前の企画への参加状況と感想文および午後の個人面談で選考する。

3 選抜の公正かつ正確な実施

いずれの入試においても、複数の教員が面接にあたり、規定された評価シートに基づい

て評価する。作文および試験問題に関しては、必ず複数の教員が採点にあたる。これらの資料を基に学科会で仮判定を行った上で、教授会において合否判定を厳正に行っている。

入試の機会が増加し、時期の早期化も進んでいるため、各入試機会に対応する事務は、はなはだ煩瑣となっている。事務処理については、万一の疎漏がないよう、コンピュータ入力等にあたっては、入力者以外の者が確認をするなど、正確を期している。

よって、責任者としては選抜を公正かつ正確に実施していると受け止めている。

添付資料3 「星美学園短期大学入学試験要項2010年度（平成22年度）」

参考資料21 面接評価シート

(5)合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。

1 人間文化学科

人間文化学科では入学手続き終了者に対し、下記について情報を提供している。

入学前課題

全入学者向けとして高校在学中の学業の充実を促す課題を出し、各履修分野ごとに入学後の授業への取り組みの円滑化を念頭に置いた課題を呈示し、入学前に必要な知識を身につけておくよう薦めている。課題については入学後ごく早い時点（最初の授業）に提出することを求めている。

星美祭（学園祭）

10月の星美祭においても、生活造形の制作物の展示があるほか、日本語日本文学の書道展、イタリア語イタリア文化のイタリア留学報告展示等、医療福祉管理の病院実習報告など、情報文化のPC体験コーナーなどの企画があり、入学予定者・志望者の来訪があって1・2年次生との交流の場となっている。

卒業研究発表会

学年末に実施される卒業研究発表会（創立者聖ドン・ボスコの祝日である1月末日に行われる）に招待し、卒業を間近にした2年次生の姿を、次年度入学生に見せることによって、モチベーションを刺激している。

卒業制作展

生活造形の分野は、毎年2月初旬に銀座のギャラリーで卒業制作展を実施する。ここへ入学予定者を招待し、入学後の制作物のイメージなどを与えるなど情報提供をしている。

入学前ガイダンス

総合の分野を履修する学生には、他の学生に先だって個別に履修ガイダンスを実施している。また、留学生についても、履修ガイダンスと日本での日常生活全般についての特別ガイダンスを実施している。長期履修生についても、個別のガイダンスを実施している。これにより、入学後の履修登録が比較的スムーズに行われている。

2 幼児保育学科

合格の時期は入試の種類によって異なるが、以下の機会を捉えて、合格内定者、合格者もしくは入学手続き者に情報提供を行っている。

入学前課題

課題の図書を合格者全員に送付し、期限を設けてレポート課題を課している。その目的は、入学後の授業の大切な足がかりとして、授業内容、実習・就職活動まで保育者として事前に必要な知識を得ることにある。近年の課題は、『保育者になりたいあなたへ』（小学館刊）を読み、レポートし、指定された期日までに送付するというものである。

また平成20年度からは、基礎学力の向上を目指した課題を課している。論理的思考を鍛えるクイズ課題や、課題図書リストを郵送し、読書感想文を提出させるといったものである。

星美祭（学園祭）

例年10月に実施している。新入学生にとっては、本学の様子を知ることができ、また各種展示において授業で作成した作品を見ることができる機会となっている。来訪者は星美学園幼稚園の園児が幼児保育学科の体験型展示に遊びに来ている様子や、園児を在学生が誘導している様子を見ることができる。

テアトロ・SEIBI（本科2年次生による子ども劇の上演）

前項の特記事項に記載した2年生全員必修の子ども劇の公開公演「テアトロ・SEIBI」に幼児保育学科合格者を招待している（例年2月に実施）。仲間と苦労して作りあげた劇を演じて、子どもたちと感動をわかち合い、将来の保育者として大きな学びとなる様子を客席からも感じ取ることができ、合格者の入学前の意識づけ、導入として活用されている。平成19年度入試の合格者は26名（入学者の36%）、平成20年度入試の合格者は37名（入学者の71%）が参加している。

参考資料22 人間文化学科入学予定者のための課題シート（平成20年度）、

23 幼児保育学科入学前課題（平成20年度）

24 幼児保育学科課題図書リスト（平成20年度）

25 卒業制作展パンフレット（平成20年度）

26 星美祭パンフレット（平成20年度）

16 テアトロ・SEIBI 関係資料

（6）入学後（入学直前を含む）、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示して下さい。

入学式後、4月第1週（ガイダンスウィーク）を各種ガイダンスにあてている。学生全体に対する概括的なガイダンスの他、教務部の担当する履修ガイダンス（履修システムや履修登録の方法、取得可能な各種免許・資格などについての説明を含む）、学生部の担当する学生生活ガイダンスなどが行われる。それぞれ「学生要覧」を参照しながら、パワーポイントなどを交えて行われる。

その後、学外での宿泊研修（近年は河口湖または山中湖付近に一泊する）において自校の沿革や理念について、関係施設などを参観しながら理解を深める。あわせて両学科とも

2年間のキャリア教育の準備を行い、人間文化学科にあっては就職・進学とその後の人生設計について、幼児保育学科においては特に保育者となることの意味・意義について理解を深めることをめざしている。

ガイダンスおよび履修登録期間の新入学生は、不慣れな環境と初めての登録作業によって緊張度が高い。長時間のガイダンスは新しい環境に不安を抱く学生にとって負荷が高く、かえってモチベーションが下がる場合もある。その一方で、留学生や心身の健康に不安のある者などはこの期間欠席が多くなりがちで、指導が困難である。この期間の欠席はその後のキャンパスライフの質に大きくかわるので、学生の負担軽減と、その中でより確実な理解を求めることの両立が必要となる。

そのために、すでに学外研修の時期と内容については見直しが行われているが、全体的なガイダンススケジュールについても、毎年慎重な検討が行われている。

なお、前述の通り、人間文化学科においては、留学生や履修方式が複雑な総合の学生について、ガイダンスウィーク直前に個別の指導を行っている。

【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示して下さい。

1年次生に対しては、入学式後、教務・学科オリエンテーションとして、卒業や免許、資格、進学、学習内容、履修登録の方法、時間割、などについて解説し、学生生活についてのガイダンスも行った。

2年次生と専攻科生に対しては、授業回数の確保のため、新年度の教務・学科オリエンテーションを前年度末の3月下旬から行っている。スケジュールは次のとおりである。

「履修届」および「登録票」提出の日程（平成21年度）

日 程	時 間	主 な 内 容
3月27日(金)		・専攻科生 履修登録についてのガイダンス、「学科履修届」提出開始
3月30日(月)		・2年時生 履修登録についてのガイダンス、「学科履修届」提出開始
4月2日(木)		・1年次生 履修登録ガイダンス、「学科履修届」提出開始
4月3日(金)	15:00まで	・2年次生・専攻科生 「学科履修届」提出締切
4月6日(月)	11:00まで	・1年次生 「学科履修届」提出締切
4月7日(火)	8:50～ 13:00	・登録確認期間・登録ミス訂正等の変更受付開始 ・人数調整科目の抽選結果および閉講科目を掲示により発表、変更の受付 開始 ・人数調整科目の変更の締切
4月9日(木)	16:20～	・学科別登録確認（月曜の振替講義日 5限 アッセンブリー）
4月17日(金)	17:00まで	・登録確認期間・登録ミス訂正等の変更締切
9月9日(水)	13:00	・後期履修登録確認期間開始
9月10日(木)	15:00	・後期履修登録確認期間締切

ガイダンスは「学生要覧」を参照しながら行われる。1年次生は全学生に対して、教務課員が資格取得のための方法についてガイダンスを行う。その後各学科の教務委員が時間をかけて履修ガイダンスを行っている。2年次生および専攻科生については各学科の教務

委員が担当している。ただし、資格取得については履修方法が複雑であるため、その部分の説明を重点的に行う必要があり、時間的にもそれで精一杯となっている。学習の動機づけを高めるようなガイダンスになっているかどうかについては、改良の必要が認識されていて、各学科会等でも論議されている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.30

(2) 学習や科目選択のための印刷物(学生便覧等を除く)があれば参考資料としてご準備下さい。

平成20年度より、履修登録はバーコードシールによるものになった。

オリエンテーション時の配布資料は、「学科目履修届」「学科目履修届記入上の注意」「履修登録用科目シール」「履修登録用資格シール」「テキスト一覧」「時間割」などである。

他学科の科目を履修する者や、公開講座、必修科目の履修者のためには別に「特別履修届」を準備している。このほか人間文化学科2年次生には「医療管理秘書士」「介護保険事務管理士」「医事管理士」「病歴記録管理士」「情報処理士」関係、幼児保育学科2年次生には「医療管理秘書士」「介護保険事務管理士」の資格に関わる修得単位見込票を配布し、取得希望の資格についての単位取得状況がわかるようにしている。

参考資料27 学習や科目選択のための印刷物・履修届など書類一式

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っている場合は、その概要を記述して下さい。

1 人間文化学科

人間文化学科の場合、基礎学力不足の学生に対しては個別指導で対応するのが基本であり、いまのところ補習授業は設定していない。分野ごとに履修内容が多様であるために、各授業科目とも履修者が20名程度以下であることが多く、各分野の担当またはアシスタントの目が届きやすいこともあって、この態勢となっている。

ただし、就職試験対策という目的で、国語(語彙、漢字)、小論文、算数、一般常識などについて、授業科目「総合キャリア演習」において各数時間の授業を設定している。

2 幼児保育学科

幼児保育学科においては、近年基礎学力の低下が目立つようになった。個々の学生のレベルやペースに合わせてさまざまな工夫をしながら、レポート等について個別に添削を重ね、必要に応じて課題を出したり、担当教員が時間を決めて補習を行っている。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

入学時の選考を厳密にして、基礎学力が不足する学生が入学しないよう配慮している。

4 専攻科幼児保育専攻

専攻科幼児保育専攻においても、本科同様の基礎学力向上のための取り組みが行われている。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取り組みや体制があれば記述して下さい。

1 人間文化学科・専攻科イタリア語イタリア文化専攻

人間文化学科の場合、前述のようにアシスタントという名の制度がある(P.11参照)。これは、学習・生活の両面にわたって問題が生じた場合の学生の最初の相談窓口となるものである。アシスタントは基本的に学生の主な履修分野の担当と重なり、その学生の履修する授業の担当も多いので、欠席過多などの情報も集まりやすい。2年次においては卒業研究のために設定された授業科目である研究法演習が、いわゆるゼミとして機能するが、その場を利用して個別指導を行う折も、必要に応じて、学業のみならず生活についての指導が行われることがある。

小規模校であるメリットもあり、折に触れて学生の問題行動についての情報交換が密に行われており、学科会においても、必ず議題の内に「学生指導」と名付けた時間を設定して学生の動向についての情報の共有を図り、また個々の問題について討議している。

2 幼児保育学科・専攻科幼児保育専攻

幼児保育学科の場合、個々の学生に対する指導と助言の体制としては、クラスアドバイザー、サブ・アドバイザー、アシスタント、ゼミ担当がある。それぞれの役割分担は以下の通りである。

- ・ **クラスアドバイザー(全学年)**...本科入学時から専攻科修了まで基本的に持ち上がりで、学年を担当し、学生の様々な情報を収集し集約、対応している。
- ・ **アシスタント(1年次)**...入学時に、幼児保育学科教員8名の専門分野に対し、学生が興味のある分野を選択した10名前後のグループとなる。教員はその年の11月にゼミに所属するまでの間、学外研修でのグループ活動の指導をしたり、定期的あるいは随時個別に面談を行い、学生の状況や悩みに対応している。
- ・ **ゼミ担当(2年次・専攻科)**...学生自らが取り組みたいと考えている卒業研究のテーマに従い、1年次の10月に希望を出し、11月中に配属されるゼミが決定する。学生10名弱に対して教員1名が配置される。週に1コマが、卒業研究に向けてのゼミ授業として確保されている。ゼミ担当教員は卒業研究を指導するほか、就職・進学への指導、学生生活全般の相談も随時行っている。

1年次のゼミ所属まではアシスタント、ゼミ所属以降、専攻科修了まではゼミ担当が主に学生の指導や相談を行っている。小規模短大であるため、学生はサークル顧問や授業担当教員など、他に相談しやすい教員に助言を求めることもできる。学生の相談を受けた教員は、アシスタントやゼミ担当に報告する。問題が大きい場合(進路変更や問題行動など)は、各教員は協調して問題解決にあたり、必要に応じて、学科会において情報共有や解決に向けての審議が行われる。

3 学習支援室構想について

学習上の問題、悩み等に対し指導助言をする学習支援室の設置の必要性について、検討が始まっている。

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行ってれば、記述して下さい。

1 人間文化学科

人間文化学科では全ての学生に卒業研究を課し、研究法演習という授業科目を設定して必修とし、この授業で個々の学生の卒業研究のサポートを行っている。この時間を生かして個別指導が行われるが、その授業科目・分野において優秀な成果をあげる学生については、その際に難度の高い課題を与えるなどして、短期大学の範囲を超えた指導が行われることがある。こうした指導を経て四年制大学に編入する学生も多い。

また、造形系の授業科目で卒業研究を行う学生については、このほかに制作の個別指導を行う時間(「造形思考」と名付けている)も設定されていて、学生の技術水準に応じて、より進んだ指導も行われている。

2 幼児保育学科

進度の早い学生に対して、学科としての授業等における取り組みは、特に行ってはいないが、優秀な学生に対しては更なるスキルアップをめざして、個々にアドバイスをしている。

3 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

少人数の専攻科なので、個々に柔軟な対応が可能である。

4 専攻科幼児保育専攻

おなじく進度の早い学生に対する取り組みは、特に行ってはいないが、優秀学生に、本科の情報処理科目のティーチングアシスタントを担当させて、総合的な能力の育成が図られるようにしている。

【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制(教員組織、事務組織のいずれも)の現状を示して下さい。

学生生活を支援するシステム作りや企画を担当する組織として「学生部委員会」が設置されている。委員会は学生部長、各学科専任教員、および学生課長、キャリアセンター長で構成されている。毎月1回の会議を開催し、学生の福利厚生や保健・安全管理、課外活動、就職・進路指導、奨学支援など、学生生活に必要な事項を審議し、決定している。

実際に学生に接する支援体制としては、事務組織では学生課職員、教員組織では学生部委員が主となっているが、必要に応じて各学科のアドバイザー、また他の専任教員の協力を得て総合的な支援を行っている。

両学科とも、アドバイザー、アシステンテ、ゼミ教員が、学生生活全般にわたって指導・助言を行っているが、学生個々の家庭環境の多様化、自己管理能力の未成熟な学生の増加に伴い、さらにきめ細かい支援体制を模索する必要が認識されている。

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事(学園祭、短大祭等)の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

1 クラブ活動

本学では伝統的にクラブ活動をサークル活動と呼んでいるので、以下サークルの呼称を用いる。

平成21年度は、14のサークル(文化系:10, スポーツ系:2, ボランティア系:2)が学生部により認可され、活動している。各サークルは、学生部に部員・部長等を届け出る。部長・副部長により、サークル部長会が組織されている。申請のあった場合は短期大学より活動補助費が支給される。細則については学生要覧に記載されている。

サークルの構成員がすべて同学科同学年である例が多くあり、サークル本来の、学年や学科の壁を超えた交流にはつながりにくい状況がある。活発に活動しているサークルが複数あるが、活発に活動する学生の実数は少ない。また、リーダーシップをとることのできる学生に限られるという問題もある。部員が極端に少ないサークルもある。

サークル活動のために使用できる施設についても、必ずしも充分であるとは言えない。

また、サークル活動が活性化しない要因の一つに、活動時間の確保が難しいことが挙げられるが、リーダーとなる学生の養成を図るなど、さらなる活発化を図りたい。

2 学友会

本学には、いわゆる「学友会」はない。しかし、各クラスから年度初めに種々のクラス運営委員が選出される。具体的には、クラスリーダー、宗教委員、音響照明委員、星美祭実行委員、謝恩会委員、教育プロジェクト委員である。

そのほか各サークルの部長・副部長からなるサークル部長会も、学生の代表者会的役割を果たし、学校行事、特に学園祭では各サークル部員への連絡や調整、協力の推進の役割を担っている。

3 学園行事

本学の学校行事は、学生がカトリック精神に触れ、キリスト教への理解を深める機会として企画される場合が多い。このことは「学生要覧」の「大学生活に関すること」の項で周知されている。主な大学行事としては、入学式、聖母祭、星美祭、追悼ミサ、クリスマス・セレモニー、卒業感謝ミサ、卒業式、各学科の行事、学外研修(富士の聖母巡礼/両学科1年次生)、学外研修(卒業研究中間発表 人間文化学科2年次生)、卒業研究発表会(両学科)、テアトロ・SEIBI(幼児保育学科)などがある。その他、人間文化学科の生活造形分野では、作品の素材収集(籐細工のためのアケビの蔓など)のための合宿や、銀座のギャラリーを会場とする卒業制作展などが行われている。また、参加希望者による行事として、両学科の学生による10日間前後のイタリア研修旅行が行われている。

例年10月に行われる学園祭「星美祭」は重要な行事とされていて、学生の学習・研究成果の発表、サークル活動の発表、教員と学生間の親睦、同窓生との交流、ボランティア援助などの目的をもって実施される。

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。

1 学生ラウンジ、食堂

本校舎3階にラウラルームと称する学生ラウンジがある。学生の憩いの場であり、インターネット閲覧用のパソコンが設置されている。平成19年度に改装された。

本校舎1階の食堂は、本学創立50周年記念行事の一環として、平成20年夏に改装されて面目を一新し、その名称もステラホールとなった。開放的なあたたかい空間が確保され、学生の動線を重視したスペースとなった。現在は定期的にパンの販売や、ボランティアサークルによる昼食等の販売も行われており、自動販売機類以外の軽食購入の機会が増えるよう努力されている。学生の要望に応え、職員が適宜「スペシャル・ランチ」を提供している。

2 売店

ステラホールに併設されるかたちで、昼休みに、教材や文具、食品や生活雑貨を販売する小コーナーが設けられている。

3 保健室

1階に保健室が設置されている。ただし、医師、看護師の常駐はない。保健室から近い場所にある学生課の職員が保健室の担当であり、検温や簡単な傷の処置などが行われている。保健室には、3台のベッドと1台の簡易ベッドが準備されており、その他、車椅子やAEDも常備されている。女性職員は、全員AEDの操作方法の講習を受講済みである。なお、保健室の管理は、保健担当の教員と学生課員が行っている。

4 学生相談室(カウンセリングルーム)

学生相談室は、校舎内の比較的人目に付きにくい一角に設置されている。定まった曜日に専門のカウンセラーがカウンセリングに応じる態勢である。

学生相談室については、年度初めのガイダンス時にカウンセラーを紹介し、周知するように努力している。心身に問題を抱えた学生については、キャリアセンター、保健室、各学科の担当教員の連携が必須で、円滑な情報の共有を図る必要がある。

5 トイレ、パウダールーム

本校舎1階の改装により、新たにパウダールームが設置された。トイレについても、温水便座、消音装置の設置など、アメニティへの配慮がなされた。平成21年8月に、全館のトイレの改装を行う予定である。

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舍の斡旋の体制、通学のための便宜(通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等)の概要を示して下さい。

本学は学生寮を持たず、原則として自宅、親戚宅、または本学で斡旋する指定の一般女

子学生寮のいずれかより通学することを奨励している。経済的理由等、やむを得ずその他の場所から通学する場合には、保護者の同意書を学生課に提出して許可を得る。留学生については、特例として、別棟の学内居住施設での生活を認めることがある。近親者の家以外からの通学は、生活全般にリスクがあるため、学生の観察・指導に留意している。

本学は JR 赤羽駅・地下鉄赤羽岩淵駅から徒歩で約10分の環境にあるため、通学バスの運行はない。一般のバス路線として赤羽駅始発の路線があり、本学園正門前に停留所がある。なお、本学は同一敷地内に幼稚園から短大までを持つ総合学園であるため、登下校時の安全性を考慮して、自転車、バイク、自動車での通学は認めていない。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.212

(5) 平成20年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。

本学では、奨学金を希望するほとんどの学生が日本学生支援機構の奨学金を利用している。平成20年度の取得状況は、下表に示したように、第一種奨学金の本学採用枠6名に対し、採用決定6名、第二種奨学金の本学採用枠6名に対し採用決定6名という状況である。また、緊急・応急採用1名、臨時採用2名を途中採用した。ひとりでも多くの学生が奨学金制度を利用できるように配慮した。

また、経済的理由により学業の継続が困難であり、外部・内部ともに奨学金制度を受けられない学生に対しては、支払い計画書を提出の上、分納払いまたは、延納払いを許可している。どちらの場合も、学期末試験までに全額(半期分)を支払うことになっている。

本学独自の奨学金としては、教育後援会奨学金、ウニオーネ同窓会留学生奨学金がある。

教育後援会奨学金は経済的理由により学業の継続が困難であるという学生に対する、授業料のみの給付制度である。平成20年度は、応募者全員が採用決定を受けている。

ウニオーネ同窓会留学生奨学金は、人物・学業に優れた留学生への給付制度である。平成20年度は、欠席が少なく成績が優秀な留学生1名が採用決定を受けている。

外部奨学金の採用枠には限りがあり、採用枠が増えることに期待ができないことから、本学独自の奨学金の充実を図ることが課題である。

平成20年度奨学金申込採用状況

奨学金	奨学金応募者数	奨学金採用者数	備考
予約日本学生支援機構第一種	-	3	
予約日本学生支援機構第二種	-	7	
日本学生支援機構第一種	15	7	採用枠6名+緊急・応急採用1名
日本学生支援機構第二種		8	採用枠6名+臨時採用2名
教育後援会	2	2	
ウニオーネ短大同窓会	2	1	
合計	19	28	

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。

1 健康管理

学校保健法の指定の通り、定められた項目について校医による健康診断を4月入学式直後に行っている。健康診断の結果を受け、再検査終了まで学生課で状況を把握・管理し、要指導の学生については保健担当教員および業務委託した保健師によって個別に指導を行っている。平成19年度より、健康への意識を促すため、異常のない学生に対しても、女性教員の手から健康診断票のコピーを返却する形としている。また、必修科目「健康科学」において健康診断の結果の受けとめ方と考え方を講義している。さらに、健康診断の結果、教育実習や就職に関わるような重大な疾患や障害があると判明した場合は、実習担当者やキャリアセンターに報告し、早期の治療を勧めたり、進路の変更等について相談を受けて慎重にバックアップできるよう努めている。なお、プライバシーを守るため、情報については担当者のみが扱うよう配慮している。

日常の健康管理については、常駐の医師・看護師がいないことが懸案となっている。現在は、学生課に保健室の利用を願い出てきた体調不良者・傷病者について、職員が検温や休養や消毒などの対応を行っており、急病や症状が悪化している者に関しては、隣接する東京北社会保険病院(総合病院。本学から徒歩5分)へ受診させることにしている。

2 メンタルケアとカウンセリング

精神面について担当教員の対応が難しいケースの学生には、学内の学生相談室で行われるカウンセリングを受けることを勧めている。非常勤のスクールカウンセラーによって定まった曜日に相談が受け付けられるのであるが、このカウンセリングシステム利用希望の学生は、学生課よりカウンセラーの電話を教わり、個人的に予約・相談するシステムである。相談事項については、それが非常にデリケートな問題であるため、あくまでもカウンセラーと利用学生のみが知ることとしていて、個人のプライバシーが厳重に守られるよう細心の注意を払っている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.213

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。

学生生活支援のため記録された個人情報には以下の から があり、情報の保管・保護については以下のように管理されている。

「身上書」「健康診断票」

入学時に提出する「身上書」および「健康診断票」は、学科、学年、専攻科毎にファイルし、卒業まで学生課の鍵のかかるロッカーにて保管する。学生課の担当職員が管理して、閲覧は同職員の許可を得て教職員のみ可能である。卒業後は鍵のかかる別のロッカーに保管し、個人情報の保護に努めている。

「教職員・学生名簿」

年度毎に「教職員・学生名簿」が印刷され、教職員および各部署に配布される。各冊は

ナンバーリングされて事務部長が配布先を記録し、各教職員は責任をもって保管する。

「新入生の顔写真と名前の一覧」

学生課職員が管理しており、閲覧は教職員にのみ、担当職員の許可を得て可能である。卒業後は鍵のかかる別のロッカーに保管する。

「進路(就職・進学)登録・決定届」

1年次の終わりに提出し、キャリアセンターの個人面談に使用する。同センターの鍵のかかるロッカーに保管され、担当者以外は閲覧できない。卒業後は鍵のかかる別のロッカーに保管する。

「面談記録カード」「未来日記」

人間文化学科の就職・進学支援科目「総合キャリア演習」にて、教員が記録する「面談記録カード」、これを補完するものとして学生に書かせる「未来日記」(平成20年度)は、学生の進路(就職・進学)指導の資料として他の教職員も閲覧でき、キャリアセンターで保管する。卒業後は鍵のかかる別のロッカーに保管する。

から のいずれも個人情報として、「学校法人星美学園個人情報保護規程」に準じて管理されている。保存期間を経過したものおよび不要になったものの処分についても規定された通り、確実かつ迅速に破棄または消去している。

参考資料28 学生支援のための学生の個人情報を記録する様式(各種)

29 学校法人星美学園個人情報保護規程

【進路支援について】

(1) 下の進路状況表を例に、過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の就職状況等を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備下さい。

就職率の推移(平成18年度～平成20年度)

		平成18年度		平成19年度		平成20年度		
		実数	比率	実数	比率	実数	比率	
人間 文 化 学 科	a 卒業生数	52		53		60		
	b 就職希望者数	b/a	27	51.9	33	62.3	38	63.3
	c うち学校で斡旋 した就職者数	c/b	17	63.0	20	60.6	12	31.6
	d うち自己開拓分の 就職者数	d/b	10	37.0	13	39.4	21	55.3
	e 就職未内定者	e/b	0	0.0	0	0.0	5	13.1
	f 進学・留学希望者数	f/a	12	23.1	11	33.3	11	18.3
	g その他	g/a	13	25.0	9	27.3	11	18.3
	幼 児 保 育 学 科	a 卒業生数	81		75		60	
b 就職希望者数		b/a	32	39.5	17	22.7	20	33.3
c うち学校で斡旋した 就職者数		c/b	28	87.5	15	88.2	8	40.0
d うち自己開拓分の 就職者数		d/b	4	12.5	2	11.8	12	60.0
e 就職未内定者		e/b	0	0.0	0	0.0	0	0.0
f 進学・留学希望者数		f/a	41	50.6	51	68.0	39	65.0
g その他		g/a	8	9.9	7	9.3	0	0.0
専 攻 科 幼 児 保 育 専 攻		a 卒業生数	35		34		47	
	b 就職希望者数	b/a	35	100.0	34	100.0	43	91.5
	c うち学校で斡旋した 就職者数	c/b	34	97.1	31	91.2	39	90.7
	d うち自己開拓分の 就職者数	d/b	1	2.9	3	8.8	4	9.3
	e 就職未内定者	e/b	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	f 進学・留学希望者数	f/a	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	g その他	g/a	0	0.0	0	0.0	4	8.5
	合 計	a 卒業生数	168		162		167	
b 就職希望者数		b/a	94	56.0	84	51.8	101	60.5
c うち学校で斡旋した 就職者数		c/b	79	84.0	66	78.6	59	58.4
d うち自己開拓分の 就職者数		d/b	15	16.0	18	21.4	37	36.6
e 就職未内定者		e/b	0	0.0	0	0.0	5	5.0
f 進学・留学希望者数		f/a	53	31.5	62	38.3	50	29.9
g その他		g/a	21	12.5	16	9.9	16	9.6

平成18年度、19年度においては、人間文化学科・幼児保育学科・専攻科とも就職希望者のすべてが就職できた。平成20年度においては、前年度後半の経済状況急変を反映して、一般企業就職は厳しい結果となった。幼稚園・保育園に関しては前年以上に求人も多く、就職率は良好であった。人間文化学科卒業者数に対する就職希望者数の比率は上昇しつつあるが、職業意識をさらに高めるために、キャリア教育を推進するべく、種々の検討を行っている。

参考資料30 進路一覧表（平成18～20年度）

（2）学生の就職を支援する組織や体制（教員組織、事務組織のいずれも）の現状を記述して下さい。

学生の就職活動を推進するのは主としてキャリアセンターである。キャリアセンターは事務組織に属し、キャリアセンター長1名と主任1名、計2名で運営している。

教員組織としては、人間文化学科はアシスタント、幼児保育学科はアシスタント（1年次）およびゼミ担当教員（2年次）が、各小人数のグループの担当者として、キャリアセンターと綿密な連絡の下に各学生をサポートする態勢を取っている。平成19年度から人間文化学科には授業科目「総合キャリア演習」と同「総合キャリア演習」が、必修科目として開設された。これにより、教員とキャリアセンターとの連携が強化され、学生の就職意識が高まっている。

人間文化学科については、個々の学生の指導過程を、アシスタントとキャリアセンターで共有できるように、個別カルテとしてキャリアセンターに保管しているが、幼児保育学科・専攻科幼児保育専攻については未整備であるので、早急に整備していく予定である。

（3）就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報を提供しているかを記述してください。

キャリアセンターは、事務室の他に、就職資料室、就職相談室(カウンセラー室と兼用)および求人票用掲示板を管理し、使用している。

キャリアセンター事務室では、事務の他に、カウンターを訪れた学生に対しての相談や情報提供が行われ、また卒業生の就職記録、受験報告、あるいは各種情報誌・参考図書などがロッカー等に收藏されている。対面できるテーブルセットがあり、多少込み入った対話や指導はここでも行われる。就職資料室は本館2階で、求人票、パンフレット、各種就職情報誌、日経新聞、加えて学生が自由に使えるパソコンが2台とプリンター1台が設置されている。平成20年度後半より、パソコンによって求人検索とプリントアウトができるようになった。

就職相談室は資料室に近接していて、ここを利用して全学生に対して順に個別面談を行い、就職面接の練習も行う。

（4）過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

1 学長コメント

就職率に関しては、良好に推移してきたと認識している。ただし、平成20年度については、不況の影響を受け一般企業への就職で苦戦を強いられた。就職希望の学生に対しては、キャリアセンターが、学生の卒業後も個々の学生と連絡を取りながら就職支援を継続する態勢を取っている。

幼稚園に関しては求人も多く、良い状況であると考えますが、一般企業、保育園に関しては、さらに就職先を開拓していくことが必要と思われる。この点については、自らの成長のためにも学生が自身の努力によって積極的な就職活動を行うよう支援していくことも必要ではないかと考える。

2 人間文化学科

本学科の場合、学生の志向・能力とも幅広く多様であるので、個々の学生に対するきめこまかな対応が基本である。現在のところ、学生はそれぞれの能力に従って、相応の企業等に進むことができていると認識している。ただし個々の学生の基本的教養・社会的基礎力の涵養や、情報処理など資格の獲得については、なお努力が必要と感じており、資質の向上によって、就職企業についての選択の幅が広がるよう、カリキュラム等の整備を目指している。

3 幼児保育学科

進路に関しては、就職希望者も進学・留学希望者も100%希望通りであった。この状況を維持したい。

4 専攻科イタリア語イタリア文化専攻

新設の課程であるので、まだ卒業生を出していない。

5 専攻科幼児保育専攻

学生全員が希望通りの進路に進むことが出来ている。

(5) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の進学(4年制大学、専門学校等)及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったかを記述してください。

過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の四年制大学進学者数は以下のとおりである。進学希望者については100%の進学実績を有している。

進学者	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人間文化学科	4	6	5
幼児保育学科	4	1	1

主な四年制大学進学先(平成18～20年年度)

【平成18年度】

和洋女子大学 人文学部 日本文学科	中央大学 経済学部 公共経済学科
東洋英和女学院大学 人間科学部 人間科学科	
東京女子大学 現代文化学部 地域文化学科	和洋女子大学 人文学部 国際社会学科
東京成徳大学 子ども学部 子ども学科	埼玉学園大学 人間学部 幼児発達学科
学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科	

【平成19年度】

中央大学 経済学部 公共経済学科	跡見学園女子大学 文学部 人文学科
和洋女子大学 人文学部 日本文学科	清泉女子大学 文学部 日本語日本文学科
十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科	
学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科	
中央学院大学 商学部 商学科	

【平成20年度】

中央大学 経済学部 公共環境経済学科	清泉女子大学 文学部 日本語日本文学科
女子美術大学 芸術学部 芸術学科	聖学院大学 人文学部 日本文学科
埼玉学園大学 人間学部 人間文化学科	東京成徳大学 子ども学部 子ども学科

主な留学先（平成18～20年度 各1名）

平成18年度	平成19年度	平成20年度
アメリカ イタリア オーストラリア	カナダ イタリア	

各学科とも、四年制大学進学担当の専任教員を1名ずつ配置しており、進学に対する支援として、情報提供、個別相談、書類作成、面接練習などのサポートをしている。なお、小論文の指導については日本文学専門教員、それ以外はアシステンテやクラスアドバイザーの教員と連携をとっている。

人間文化学科においては、平成19年度に授業科目「総合キャリア演習」が開講され、現在はさらに体系的なサポート体制の構築をめざしているところである。四年制大学進学のサポートについては、前述したとおり、各学科の専任教員を中心とした態勢をとっている。しかし、個々の学生に対する対応には相当の時間を要しているため、今後はキャリアセンターをはじめとする事務部との連携をはかり、サポート体制を整備していく必要が認識されていて、態勢の整備を急いでいる。

【多様な学生に対する支援について】

（1）過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。なお、学生数はいずれの年度も5月1日時点とします。

多様な学生の受け入れ状況（平成18年度～20年度）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
留学生	15名	5名	2名
社会人	0名	5名	8名
帰国子女	0名	0名	0名
長期履修生	2名	1名	1名
科目等履修生	2名	2名	2名

社会人・帰国子女・留学生の定義の詳細については、「星美学園短期大学入学試験要項2010年度（平成22年度）」P.13～15を参照

1 留学生

学習支援

総合教養科目に留学生支援授業科目として、「日本語日本事情 a」「日本語日本事情 b」「日本語日本事情 c」および「日本の生活と文化」を設置している。

「他大学において履修した単位認定に関する内規」に基づいて、既履修科目又は本学の授業科目と同じ内容と認められる科目について、本学の履修単位として認め、留学生、社会人の負担軽減に繋げている。

生活支援

経済的な支援として、留学生には本学の教育後援会より学外研修（1年次年度当初に実施）費用として1万円の援助がある。平成19年度より、ウニオーネ同窓会より、人物学業共に優れている留学生に対して一人10万円の援助が行われている。日本人学生と同様に、経済的に苦しい学生に対しては、授業料の分納についての相談を受け付けている。

奨学金として、日本学生支援機構の学習奨励費給付制度があり、留学生も受けることが出来る。

2 社会人

他大学を卒業して入学した社会人学生には、留学生と同様に不必要な負担なく学習を進められるよう、「他大学において履修した単位認定に関する内規」が設けられている。

3 帰国子女

本学の「入学試験要項」に指定された「要件」を満たし、通常の講義および試験を受けるために必要な日本語能力を有していれば、若干名の枠をもって受け入れる制度を設けている。帰国学生の学歴によって「他大学において履修した単位認定に関する内規」が適応できる。なお、近年は希望者がいない状態が続いている。

4 障害者への支援

本館一階の改装により、トイレ等のバリアフリー化が実現した。なお、エレベータは本館完成当初より設置されている。

過去3ヶ年（平成18～20年度）において、人間文化学科に聴覚障害を持つ学生を1名受け入れている。本学では、学科の専任教員（アシスタント）を特別相談員として配置し、学生生活全般に関して相談を受けている。受け入れに際して、担当教員は、日本学生支援機構などの研修を受けた。授業については、聴覚障害学生が出席する全授業の担当教員に対して、配慮すべき点を周知させ、対応した。ノートテイカーのボランティア学生を募る計画もあったが、本人が辞退した。その後、ノートテイカーは授業を行う教員の負担を軽減することが分かり、経験の蓄積となっていて、今後同様な場合に生かしたいと考えている。

また、障害者の自立支援のために、情報処理関係の資格を取得できるカリキュラムを有している。授業内で理解できなかった場合は、担当教員が時間外に個人授業を実施した。

なお平成21年度、幼児保育学科では、入学生に特別支援学校出身者の入学があった。この受け入れにあたっては、数回にわたって面接を行い、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワークから資料を取り寄せ、学科の専任教員全員に配布し、その研修会等にも参加し、

事前準備を進めた。

現在本学学生からノートテイカーのボランティアを募り、数名で担当している。しかし、負担が重く、プロのノートテイカーの必要性を感じている。現在の保育現場では、健常者と障害者が同じ援助や協力を受ける機会が増えており、担当する者はそれに対しての知識や経験が必要となる。その際、ノートテイカーの経験はおおいに役立つと考えている。

キャリアセンターでは、就職に対する支援として、情報提供、個人相談、書類作成などのサポートを実施している。

5 長期履修学生

定められた修業年限内に卒業することが難しい学生のために「星美学園短期大学長期履修学生規程」を設けている。長期履修を希望する者は、志望学科の担当教員と相談し、3年以上6年以内の年限で卒業までの計画を立てる。現在も、人間文化学科にこの制度を利用している学生がいる。

6 科目等履修生

「科目等履修生規程」を定め、学習することを希望する社会人、または何らかの目的で本学の授業科目の履修希望者に、その機会を提供している。

添付資料3 「星美学園短期大学入学試験要項2010年度（平成22年度）」

参考資料31 星美学園短期大学長期履修学生規程

32 星美学園短期大学準学士入学に関する規程・

星美学園短期大学他大学において履修した単位認定に関する内規

33 星美学園短期大学科目等履修生規程

【特記事項について】

（1）この＜ 学生支援＞の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。

1 成績不良者、長期欠席者について

クラスアドバイザー、アシステンテ、ゼミ担当が、問題の内容・事情によって適宜相談や連絡に当たる態勢が確立している。

また、保護者との緊密な連絡も心がけている。三者面談も必要に応じて行われている。

心身の不調によって毎日の登校がむずかしい学生に対しては、長期履修制度を活用して、週1～2日の登校によって少しずつ単位を重ねて行く方法を用意している。

2 キャリアサポートにあたっての保護者との連携

保護者対象講演会や説明会を開催し、保護者との密度の濃い情報交換を行っている。

3 表彰制度

本学として制定している賞は、サレジアン賞である。星美学園短期大学および本学の姉妹校に幼稚園又は小学校より一貫して在籍した学生に授与している。

その他に、本学の建学の精神を学生に分かりやすく伝えるために、「教育プロジェクト」と名付けられた行事があるが、その中で、優秀な達成に対して賞を設けている。

また、(財)全国大学実務教育協会や、(財)日本病院管理教育協会が、その協会の発行する資格の取得者あるいは試験の合格者のうち、成績優秀者に対して賞状を発行するが、本学は、卒業式においてそれを紹介して表彰している。

参考資料34 保護者対象就職講演会のお知らせ

領域 研究

【教員の研究活動全般について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」を例にして過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

平成18年度～20年度 専任教員の研究業績表

学科	氏名	職名	研究業績				国際的活動の有無	社会的活動の有無	備考
			著作数	論文数	学会等発表数	その他			
人間文化学科	草野隆	教授	0	3	1	0	無	有	副学長
	小島順子	教授	0	0	0	1	無	有	
	江口政江	准教授	0	1	0	3	無	有	注1
	武田秀美	准教授	0	3	2	6	無	有	
	永井ムツ雄	准教授	0	1	0	7	無	無	注2
	谷澤容子	准教授	単1共2	0	1	0	無	有	
	中島千恵子	准教授	0	3	4	1	無	有	注3
	武田好	講師	9	3	1	82	有	有	
幼児保育学科	阿部健一	教授	0	0	0	9	無	無	学長、注4
	安部一博	教授	0	1	1	0	有	有	
	廣瀬蓉子	教授	共1	0	0	4	有	有	注5
	町田治	教授	4	1	0	0	無	有	
	藤野信行	教授	1	0	2	0	無	有	
	田中直美	准教授	0	1	1	2	無	無	
	打越みゆき	講師	0	2	3	0	無	無	
	藤原明子	講師	0	2	3	1	無	有	
	加納智子	講師	1	2	3	2	有	有	

注1 平成20年度まで幼児保育学科。平成21年度より人間文化学科。

注2 平成20年度末退任。

注3 その他は、主に講座・講演など。

注4 その他は、主に講座・講演など。

注5 平成21年度より。

参考資料35 研究業績書(平成18～20年度)

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物を訪問調査の際にご準備下さい。

研究状況の公開方法としては、紀要と大学報「La Voce」がある。

紀要「星美学園短期大学研究論叢」巻末に「研究・教育活動の記録」としてその年度の研究・教育活動の一覧を掲載している。この紀要に掲載した論文の題目は本学Webページからも閲覧可能である。

年に2度発行している大学報「La Voce」の年度末号に「研究動向」として研究活動の状況を掲載するほか、「研究ノートから」という名のコーナーを設けて、教員の研究内容の一端が分かるようにしている。

また、両学科とも、短期大学Webページ上に各教員のプロフィールと共に研究業績・

動向の概要を公開するようになった。

参考資料36 紀要「星美学園短期大学研究論叢」(平成18～20年度)

3 大学報「La Voce」(平成18～20年度)

37 日伊総合研究所報「Bolletino dell'Istituto di Ricerca Italo-giapponese」

(3) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の科学研究費補助金(以下「科研費」という)の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況を一覧表にして下さい。

該当事例はない。科研費に応募するような、費用を要する研究の計画が立案されていないことは問題であると感じている。

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

人間文化学科の授業科目「総合キャリア演習」は、学科会およびその他打ち合わせ会において相当の時間を掛けて内容や評価方法について検討し、試行している授業科目である。現在はまだ2年目が完了した段階であり、評価はこれからであるが、いずれ「学科等の教育に係る研究」として成果・反省を提示したいと考えている。幼児保育学科の総合演習も同様の経過を経ていて、成果を評価する時期に来ている。

また、幼児保育学科の教員2名(藤原明子、打越みゆき)が、共同で、日本保育学会第59回大会において、保育実習に関する研究発表を行っている(下記参考文献38参照)。これも、学科の教育とその向上に寄与する共同研究といえよう。

参考文献38 「保育士養成コースにおける実習を通しての学習の分析

実習評価票・実習日誌の分析を通して」2006.05.21 北海道・浅井学園大学

【研究のための条件について】

(1) 研究費(研究旅費を含む)についての支給規程等(年間の支出限度額等が記載されているもの)を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の決算書から研究に係る経費を項目(研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等)ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備して下さい。

平成9年3月29日理事会において、専任の教育職員一人当たり年額150,000円の限度額を承認している。用途として、研究用図書、機器備品等の物品、消耗品、学会の会費、参加旅費が想定されている。支出手続きは、「星美学園短期大学教員研究費使用内規」「学校法人星美学園旅費規程」「星美学園短期大学学会等への参加内規」による。

研究費使用実績

(単位円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
研究費	1,018,900	1,098,032	1,123,586
研究旅費	198,180	225,760	251,380
研究に係る施設	0	0	0
機器・備品等の整備費	173,250	59,800	175,187
研究に係る図書費等	263,113	191,491	219,170
合計	1,653,443	1,575,083	1,769,323

参考資料39 星美学園短期大学教員研究費使用内規

40 学校法人星美学園旅費規程

41 星美学園短期大学学会等への参加内規

(2) 教員の研究成果を発表する機会(学内発表、研究紀要・論文集の発行等)の確保について、その概要を説明してください。なお過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見しますので、ご準備下さい。

紀要として「星美学園短期大学研究論叢」が毎年発行される。さらに、口頭発表の機会として、本学の日伊総合研究所が毎年行う研究会が設定されている。発表内容は日伊総合研究所所報「Bolletino dell'Istituto di Ricerca Italo-giapponese」に掲載でき、投稿も可能である。

また、人間文化学科の生活造形の分野では毎年卒業制作展を実施しているが、そこには教員の作品も出展される。

参考資料36 紀要「星美学園短期大学研究論叢」(平成18～20年度)

37 日伊総合研究所報「Bolletino dell'Istituto di Ricerca Italo-giapponese」

(3) 教員研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成20年度の決算よりその支出状況を記述してください。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。

平成20年度の決算により支出状況をみると、個人研究費支出総額のうち、機器備品175,187円、図書219,170円となり、各10%、12%の支出となっている。

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

教員の個人研究室は、2階の南側に配置されている。およそ各20㎡の部屋を2名で使用し、机、書類棚、ロッカーが設置される。冷暖房、学内LAN端子が備わり、各デスクにノートパソコンが配布されている。

本学の特色である少人数教育・アシステンテ制度をより充実するためのゼミ室が、研究室に隣接して設置されている。

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

教員の研究日は、土曜日を除いて原則として1週に1日を確保している。研究日に出勤する義務は無いが、入学試験等の本学重要行事等には、本務を優先し出勤することになる。研究日に他大学や他教育機関に非常勤として勤務することができるが、学園の就業規則に基づき、予め理事長の許可を得る必要がある。

研究時間の確保については、どの教員も苦慮している状況がある。平成16年刊行の星美学園短期大学自己点検・評価報告書の調査結果を参照すると、研究時間を確保するために負担となっているのは、学生の個別指導(教員17名中14名)、学校行事(同じく11名)となっていて、各種校務の負担が大きい。

同調査によると、各教員は、研究テーマの選択の工夫(限定)、研究方法の効率化の追求など、さまざまな方法で研究水準の維持にあたっている。

参考資料42 学校法人星美学園就業規則25条

6 「星美学園短期大学自己点検評価報告書」(2007年度)

【特記事項について】

(1) この< 研究 > の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

日本カトリック短期大学連盟の「学術研究奨励賞」の応募を督励しており、これまでに受賞者も複数出ている。

前述したように、本学には日伊総合研究所が設置されていて、研究費を提供し、また研究発表の機会を設けている。この研究所は、本学教員の研究環境の向上に寄与することを目的の一つとして設置されたものである。

領域 社会的活動

【社会的活動(国際的活動は別項で記述)への取組みについて】

(1) 社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取組む予定かを記述して下さい。

本学が地域社会に開かれた知の拠点になることは、創立者の精神、建学の精神に一致している。また本学の教育的使命を地域において遂行していくことは社会的な使命に他ならないと自覚している。

地域文化の向上および生涯学習に資することを目的として、平成5年から公開講座委員会を設置し、公開講座を開いている(学則第56条に規定)。本学ならではのイタリア的特色を生かすことを念頭に、教育、教養、および語学講座を実施してきた。近年は北区教育委員会の要請を受け、共催という形で講座を開くことも多く、学生もボランティアなどの形でこれに参加し、教育効果をあげている。

また、社会人特別入試や聴講制度、科目等履修生の制度を整備し、正規の授業を開放することによって生涯教育活動に寄与することをめざしている。

加えて、平成16年に発足した日伊総合研究所は、その成果をひろく社会に還元することを目的とし、定期的に公開講演会などを開催している。

公開講座等については、本学の規模と比較して充実した活動となっていると考えている。

将来的には、講座の会場を本学の教室だけでなく、駅前の公的施設などに拡げ、受講者のアクセスを容易にすることなども検討されている。ボランティア活動については、全学的な支援態勢を整備することが必要であると考えている。

地域ボランティア活動については、隣接する東京北社会保険病院等と連携して継続的に学生が活動できる環境を整備しているが、これは学生の教育環境と社会貢献の両面の充実をめざした取り組みである。

参考資料43 公開講座パンフレット

(2) 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

社会人特別入試の実施や、科目等履修生・聴講生の制度がある。長期履修制度を利用して在籍している社会人学生も複数いる。

社会人学生も、短期大学士の学位や各種単位の取得を希望する者から、語学等の実力を身に付けたい人、カルチャーセンター的な講義を期待する人など、ニーズは多様である。本学が応えられる範囲に限界はあるが、ニーズに対応するべく柔軟な態勢を作り、希望者を積極的に受け入れていきたいと考えている。

添付資料3 「星美学園短期大学入学試験要項2010年度(平成22年度)」

(3) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

公開講座は、公開講座委員会(3名の教員及び2名の事務職員で組織される)によって年度ごとにプログラム等が企画され、公開講座センターによって運営される。公開講座パンフレットは本学受付の他、北区の公共機関等にも置かれている。また、短期大学Webページからも閲覧が可能である。

平成14年度から20年度には、北区教育委員会と連携し「中学生・高校生のための公開講座」や「家庭教育学級～入園準備グッズを作っちゃおう!～」 「家庭教育学級 親子で楽しむミシンソーイング～親子エプロンを作っちゃおう!～」等を実施した。両講座とも、造形コースの学生ボランティアが活躍しているが、さらに「入園準備グッズを作っちゃおう!」では、幼児保育学科専攻科の学生ボランティアも参加し、講座中、北区の保育士とともに0歳児～4歳児の保育を行い、4月に子どもの入園を迎える地域の母親からたいへん好評を得ている。講師は、主として本学の専任教員が担当している。また、学園内の聖堂等を使用し、ミッションスクールならではのクリスマス関係講座を開催している。

公開講座の実施状況 (平成18年度～20年度)

	短大主催講座		北区連携講座		出張講座	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
平成18年度	27	482	実施せず		1	51
平成19年度	25	456	6	71	1	40
平成20年度	31	478	2	94	0	0

本学が公開講座を設置してからすでに約15年を経ているが、本学の特色であるイタリア関連の講座を中心に、各講座への受講参加者数も定着しつつある。

平成20年度には、講座の分野を健康にも広げ、心理学講座(日常ストレスを減らすコミュニケーション法)を企画した。

今後はさらに地域社会へ向けて、幅広い層の受講生のために、本学の専任教員の専門分野を生かした講座を拡大していくことが要請されよう。カトリック・ミッションスクールとしての特性を生かした新しい分野の企画と、その効果的な広報の方法を、公開講座センターとの連携によって工夫し、検討する予定である。

参考資料43 公開講座パンフレット、

37 日伊総合研究所報「Bolletino dell'Istituto di Ricerca Italo-giapponese」

(4) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動について記述して下さい。

上記の北区教育委員会との連携事業のほか、5月に行われる聖母祭の行事を通して、日頃から関わりの深い近隣の自治会関係者、病院、保育所等を訪問して花束を贈呈し、交流を図っている。この行事は年中行事となっていて、訪問先では楽しみに待たれているようである。

10月の学園祭においても、バザーやキッズコーナーに近隣の方々が多く来訪し、また近隣の商店などから協賛品として商品の提供も受けている。販売益の一部や寄付金を、修道会を通して毎年援助を必要とする国々へ送金している。

平成20年度は、隣接する区立赤羽北保育園の耐震改良工事実施に伴い、授業のない時間帯の教室（リトミック室・プレイルーム等）を遊び場所として提供した。

また、全天候型テニスコート（2面）を、休日に低価格で地域住民に貸し出している。

平成19年度より、東京都短期大学協会のコンソーシアム事業に参加し、近隣の短期大学と単位の交換を行っている。

平成18年度から20年度前期にかけ、近隣の桐ヶ丘児童館にてNPO法人生活福祉ファクトリーが行っていた子育て支援活動「みどりのへや」に、専攻科幼児保育専攻の学生が、ボランティアとして参加した。平成20年9月より、NPO法人生活福祉ファクトリーの桐ヶ丘児童館における活動の終了に伴い、星美学園短期大学主催の子育て支援活動「ピアッツア～子育て広場～」がスタートした。開催は毎月第3土曜日（8月を除く）、対象は乳幼児とその親、活動者は幼児保育学科教員（藤原明子）と、幼児保育学科および専攻科幼児保育専攻の学生である。内容は、ボランティア学生による簡単な工作指導、おもちゃを用いた親子のあそび活動の見守り、教員による子育て相談である。

【学生の社会的活動について】

（1）過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動の状況を記述して下さい。

学生が過去3ヶ年に学内外で携わった地域活動、地域貢献、ボランティア活動は、下表の通りである。

地域活動、地域貢献、ボランティア活動

	内容	備考
人間文化学科 （医療福祉管理の分野） 幼児保育学科 （本科・専攻科）	・東京北社会保険病院でのボランティア活動 ・幼稚園、保育所、児童館、東京北社会保険病院、ピアッツア～子育て広場～（星美短大主催）でのボランティア活動	授業の一環として行っている
サークル活動	・マリア救援隊、A.G.Mなど、サークル活動を通してのボランティア活動（援助金送金）。また、音楽演奏や人形劇などの単発のボランティア活動も行われている。	病院、高齢者介護施設等
個人として参加	・フレンドシップ（本学と同じ敷地内にある児童養護施設の子どもたちとのボランティア活動） ・障害児施設でのボランティア活動	

人間文化学科では、授業科目である病院医療演習の一環としてボランティア活動（病院ボランティア）を必修としている。

（2）短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

本学は、理念として人間的な触れ合いを通して人格の向上を図ることをめざしている。社会的活動は重要な人間育成の場と考えている。しかし、短期大学の2年間における密度の高い授業（実習を含む）編成の中で、地域活動、ボランティア活動等に参加する時間を捻出することは学生たちにとって難しいようで、敬遠してしまうことが多いようである。

現在、授業単位として取得できるのは、まず「ボランティア活動論・実習」がある。

人間文化学科ではボランティアをはじめとする社会的経験を定量化して(ポイント制による)「総合キャリア演習」の単位の一部に組み込み、活動を促進する試行を行った。(平成20年度)

幼児保育学科では、幼稚園、保育所、児童館、学童保育、障害児施設などでのボランティア活動を強く勧めている。また、2月・3月には、本学で開催されている北区主催の公開講座と連携し、専攻科幼児保育専攻の学生による臨時「託児所」を設置して、学生の保育ボランティア活動の機会を設けている。

学生は、自主的に種々のボランティア活動に参加し、地域社会への貢献の一端を担っているが、特にこの保育ボランティアは、専攻科修了直前に行われるため、企画・運営について終始学生が行うことにしている、就職直前の最良の経験となっている。

学生にも好評であり、今後は、さらにこのような場を増やしていきたい。また、こうしたボランティア活動がより活発に行われていくためにも、学生に対する確実な情報提供のシステム化、活動の安定した継続を図る仕組みを考えていきたい。

【国際交流・協力への取組みについて】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の学生の海外教育機関等への派遣(留学 長期・短期を含む)の状況を記述して下さい。

人間文化学科イタリア語イタリア文化コースでは、1年次の夏に3週間から4週間の語学研修のためにイタリアの大学又は語学学校へ、また、南イタリアの国立大学と交換留学の協定を結び、学生を派遣している。平成18年度から20年度までの実績は、以下の通りである。

平成18年度 1年次語学研修(4週間)イタリア・マルケ州「ダンテアリギエリ校」8名参加

2年次交換留学(前期4ヶ月)イタリア「サレント大学」2名派遣

平成19年度 1年次語学研修(3週間)イタリア・マルケ州「ダンテアリギエリ校」4名参加

2年次交換留学(前期6ヶ月)イタリア「サレント大学」2名派遣

平成20年度 1年次語学研修(3週間)イタリア・フィレンツェ「チェントロフィオレンツァ校」7名参加

平成20年度は、交換留学については、希望者がなかったため、実施していない。

(2) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

平成12年度(2000年度)に改組が行われ、人間文化学科にイタリア語イタリア文化コースが開かれた。その後、特にこのコースの学生のためにイタリアの大学や語学学校との交流が定着している。平成20年度は以下の機関と提携し交流している。

Universtà degli Sdudi di Salento サレント大学（交換留学協定）

ただし、日伊の経済状況の悪化等により、イタリアから本学への交換留学生は、初年度の1名にとどまっている。

Scuola di Italiano Dante Alighieri di Castelraimondo

ダンテ・アリギエリ・カステルライモンド校（語学研修先として）

Firenze Centro Fiorenza

フィレンツェ・チェントロフィオレンツァ校（語学研修先として）

Università degli Studi per gli Stranieri di Siena

シエナ外国人大学（卒業後の留学受け入れ先として）

Università degli Studi per gli Stranieri di Perugia

ペルージャ外国人大学（卒業後の留学受け入れ先として）

平成13年度（2001年度）に、第1回タイ研修を行っている。翌年から、専攻科幼児保育専攻に幼児教育研究j（平成20年度より幼児教育研究kに変更）としてアジアの幼児教育についての授業科目を開講し、平成15年（2003年）1月に、タイ国立チェンマイ大学教育学部でのタイ研修を実施した。

平成20年度は、バンコクを中心にタイ国立ラチャパット・スアンドウシット大学教育学部、タイ私立ランシット大学教育学部、サレジアン・シスターズ・タイの幼稚園で研修を行った。将来は、同母体のサレジアン・シスターズの諸教育機関との連帯を構築していきたい。

（3）過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

武田 好

開催国 : イタリア

会議名称 : Incontro annuale dell'Associazione Italiana della Lingua Giapponese (A.I.L.G.)

開催地 : ローマ（日本文化会館）

学会日程 : 2006年3月23日（木）、24日（金）（本学教員となる前）

発表 : 無

加納 智子

開催国 : オーストラリア

会議名称 : Interspeech 2008

開催地 : ブリスベン

学会日程 : 2008年9月22日（月）～9月26日（金）

学会参加 : 2008年9月23日（火）～9月25日（木）

発表 : 有、ポスター発表

発表タイトル : Multidimensional Features of Emotional Speech

備考 : ポスター発表は査読者3名の審査があり、その審査を通過したものが発表を許される。この年の採択率は59.9%。

また、幼児保育学科長安部一博は、1992年タイ国立シルパコーン大学でのリトグラフのワークショップを行い、2000年タイ国立チェンマイ大学美術学部客員講師、2001年・2002年タイ国立ラチャパット・スアン・ドウシット大学客員講師、2005年タイ国立タクシン大学客員講師、2008・2009年ランシット大学講師を務め、タイとの交流を頻繁に行っている。

なお、本学の教員でサレジアンシスターズの会員は、その任務としてサレジアンの教育事業に関する会議や研修のためにローマ等に派遣されることが多いことを付記したい。

また、教職員は交代で本学の設置母体のあるイタリアへ研修のために派遣される。創立以来の教育理念について理解を深めることが目的である。その実績は次の通りである。

年 度	海外留学・海外派遣・国際会議等の内容		派遣教職員名
平成18年度	実施無し		
平成19年度	イタリア	星美学園のルーツを求めて二人の創立者ゆかりの地を訪問	阿部健一 小島順子 安部一博 武田秀美 吉海研二 大原恒光
平成20年度	実施無し		

【特記事項について】

(1) この< 社会的活動 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

1 コンソーシアムについて

人間文化学科では、東京都私立短期大学協会コンソーシアムの単位互換制度に参加している。この制度により、単位互換制度を利用し、他の短期大学の授業科目を履修し、単位を取得することが出来る。人間文化学科では、卒業単位としてこの単位のうち4単位を含めることが認められている。本学に籍を置きつつ、より多様な学習が可能になるよう配慮している。

2 提携校

人間文化学科では、都立一橋高校を提携校としている。現在は情報の交換が主であるが、出張講義や体験授業の実現を念頭に置いての提携である。

3 ブラジリアカトリック大学の支援

本学は、ブラジルのブラジリアカトリック大学の実施している遠隔教育の支援をしている。施設と技術の両面でのサポートである。具体的には、毎月1回、本学の休日に情報処理系の教室を提供している。そこに、日本に滞在する同大学学生が来訪し、インターネットを利用して単位取得のための試験を受験する。その間本学教員は、ネット回線、LAN回線、端末、その他機材の故障にそなえて待機し、不測の事態に備えている。

4 星美学園小学校との国際交流会について

星美学園小学校の依頼により、毎年学年末の1月末頃に本学留学生と星美学園小学校4年生との国際交流会が実施されている。小学生は日本の生活文化を紹介し、留学生は自国の文化について話をするなどして、異文化交流の機会を提供している。

5 イタリアの幼稚園児との交流について

イタリア研修旅行(近時は春季に隔年で実施されている。希望者が参加する形式である)において、本学のローマ本部に併設されている幼稚園を見学訪問している。限られた時間の内ではあるが、そこで「折り紙」を教えるなどしてイタリアの幼稚園児と交流し、観光だけでは見ることのできない西欧文化の一面に触れ、また素朴な心の交流を実現している。

6 タイの幼稚園児との交流について

先に述べた、専攻科の幼児教育研究(アジアの幼児教育)におけるタイの幼稚園研修において、手遊び・詩の交換・工作制作提供を行い、園児の反応を感じながら交歓を深めている。学生にとってこの経験の場は、現場に接する外国人等の父兄への理解へと繋がっている。

参考資料44 イタリア研修旅行しおり

45 タイ研修旅行行程表

領域 管理運営

【法人組織の管理運営体制について】

(1) 短期大学を設置する法人のトップである理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているかを、できれば理事長自身が率直に現状を記述して下さい。

短期大学の運営に係わる重要事項は、教授会の審議を経て理事長が主催する理事会で決定される。

また、学園長は随時短期大学の教授会へ同席しており、学園長からは理事長に対して定期的に報告がある。必要に応じて、随時、理事長・学長・副学長による非公式な会談を開催し、短期大学の適切な運営のために報告・相談があり、理事長は、これに対する指導・助言を行っている。

添付資料4 寄附行為 第4章

(2) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の理事会の開催状況(主な議案、理事の出席状況等を含む)を下表を例に開催日順に記述して下さい。加えて理事会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。平成20年5月1日現在の理事・監事・評議員名簿等を準備し、理事の構成に著しい偏りがないことをお示し下さい。また理事会議録は必要に応じて閲覧いたします。

過去3ヶ年の理事会開催状況は次の通りである。(議案は星美学園および短期大学に関するもののみ掲載した)

平成18年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事 出席	定数
				出席者数	意思表示		
平成18	5	27	・平成17年度収支決算 ・平成17年度事業報告	8	1		8-11
平成18	10	28	・短期大学教育職員選考規程の一部改正 ・短期大学学長の任期満了に伴う学長選考	11	0		8-11
平成18	12	2	・短期大学学則の一部改正 ・兄弟等入学者の入学金減免に関する規程の制定	11	0		8-11
平成19	1	20	・短期大学非常勤助手の手当について	10	1		8-11
平成19	3	17	・平成19年度事業計画及び平成19年度予算 ・役員、評議員の改選	9	2		8-11

上記開催日における 理事定員・・・8～11名 / 理事現員・・・11名

平成19年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事 出席	定数
				出席者数	意思表示		
平成19	5	26	・平成18年度収支決算 ・平成18年度事業報告	10	1		8-11
平成19	10	20	・給与規程の一部改正 ・非常勤講師給与規程の一部改正	10	1		8-11
平成19	12	1	・短期大学学則の一部改正	10	1		8-11
平成20	1	19	・短期大学図書館規程の一部改正 ・短期大学諸規程の制定 ・星美学園兄弟等入学者の入学金減免に関する規程の一部改正 ・平成20年度予算について	10	1		8-11
平成20	3	22	・平成20年度事業計画及び平成20年度予算	11	0		8-11

上記開催日における 理事定員・・・8～11名 / 理事現員・・・11名

平成20年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事 出席	定数
				出席者数	意思表示		
平成20	5	24	・平成19年度収支決算 ・平成19年度事業報告 ・短期大学学則の一部改正 ・短期大学指定保育士養成施設規程の一部改正	11	0		8-11
平成20	10	25	・短期大学学則の一部改正（イタリア語イタリア文化専攻の設置） ・星美学園就業規則の一部改正 ・星美学園非常勤職員就業規程の一部改正 ・星美学園車両運行規程の一部改正	8	1		8-11
平成20	12	6	・短期大学学則別表の一部改正 ・短期大学指定保育士養成施設規程別表の一部改正 ・星美学園公益通報等取扱規程の制定 ・星美学園授業料等免除に関する規程の一部改正 ・星美学園兄弟等入学者の入学金減免に関する規程の一部改正	11	1		8-11
平成21	1	17	・短期大学学則の一部改正(完成版) ・短期大学学則の一部改正(人間文化学科の収容定員の減員変更) ・星美学園給与規程の一部改正 ・平成20年決算に伴う徴収不能額について	11	0		8-11
平成21	3	21	・平成21年度予算、平成21年度事業計画 ・平成21年度予算の付帯決議 ・役員及び評議員の一部変更 ・星美学園授業料等免除に関する規程の一部改正 及び星美学園授業料等免除に関する細則	11	0		8-11

上記開催日における 理事定員・・・8～11名 / 理事現員・・・11名

理事および理事会については寄附行為第4章(役員及び理事会)で定めている。以下に引用する。

(理事会)

第7条 この法人に、理事をもって組織する理事会を置く。

- 2 理事会は、この法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。
- 3 理事会は、理事長が招集する。
- 4 理事長は、理事総数の3分の2以上の理事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から10日以内に、これを招集しなければならない。
- 5 理事会を招集するには、各理事に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。
- 7 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。
- 8 理事長が第4項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した理事全員が連名で理事会を招集することができる。この場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。
- 9 理事会は、理事の過半数の出席がなければ、会議を開き、議決をすることができない。ただし、第12項の規定による除斥のため過半数に達しないときは、この限りでない。
- 10 前項の場合において、理事会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 11 理事会の議事は、法令及びこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 12 理事会の決議について、直接の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(理事の代表権の制限)

第11条 理事長たる理事以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない。

理事会は、学園長、星美学園短期大学学長、同高等学校兼中学校校長、同小学校校長、評議員代表者等定数11名により構成される。

本法人の理事会の特徴としては、次の3点があげられる。

- 1 「理事長たる理事以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない」と定め、理事の代表権を制限していること。(寄附行為第4章第11条)
- 2 「学園長、学長、校長、園長又は評議員の職を退いたときは、理事の職を失うものとする」と明記し、短期大学学長を「在任中理事とする」ことにより、短期大学と法人の教学管理と運営管理の総合的な調整が図られていること。(寄附行為第4章第13条第2項)
- 3 「理事のうちには、その選任の際現にこの法人の役員又は職員でない者を一人以上選任するものとする」と明記し、外部理事を選任し、外部からの理事長の補佐体制を明確にしていること。(寄附行為第4章第13条第3項)

現在、外部の理事が2名在籍している。

添付資料4 寄附行為 第4章

参考資料46 理事名簿

47 平成20年度理事会議事録

(3) 理事会の下に理事会の業務を一部委任する常任理事会、幹部会等を置いている場合は、その名称と根拠規程、理事会との関係、構成メンバー等を記述して下さい。

本法人には、理事会のもとに理事会の業務を一部委任する機関はない。しかし、常任理事で構成されている「所属長会議」が、年間6回を原則として、機に応じる形で開催されている。この根拠は明文化されていないが、就業規則第2条第2項により、所属長の定義・任務を明文化しており、その任務の一環として行われるものである。

所属長会議は理事長参加のもとに実施されており、会議内容は、各種規程・学則等の一部改正、各校種に関係する人事異動資料等であり、基本的には、理事会の審議・報告事案について事前に確認し、意思疎通を図るために実施されているものである。なお所属長会議は、原則として理事会・評議員会の開催前に設定されている。

参考資料4 就業規則 第2条第2項

(4) 監事の業務についての寄附行為上の規定、平成20年度における監事の業務執行状況について、できれば監事自身が率直に現状を記述して下さい。

監事の選任および職務については、寄附行為第4章第6条(役員)、第14条(監事の選任及び職務)、第15条(役員の任期)、第16条(役員の補充)に規定されており、平成19年5月1日現在において監事を2名選任している。

2名の監事は、公認会計士が行う会計監査との連携を図りながら、財産目録、貸借対照表及び資金収支計算書並びに消費収支計算書の監査を行うとともに、年度内に開催されるすべての理事会へ出席し、理事会資料を精査する。財産に関わる部分のみならず、理事の業務執行状況に関することをはじめ、短期大学の教育状況、学生の募集計画等の教育的な面に至るまで監査を行う。

また、理事会及び評議員会が監事の監査状況について確認できるよう監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に対し監査報告書を提出して、監事による監査をより実効あるものにしていく。

監事は、平成21年5月27日に、平成20年度の決算について、各校種の長から説明を受け、必要な質問を実施する等、監事としての業務を遂行した。なお、報告書については、公開規程にもとづいて、財務諸表とともに教職員に対して閲覧に供している。

参考資料48 監事名簿

49 平成20年度監査報告書

(5) 平成20年度の評議員会の開催状況(主な議案、評議員の出席状況等を含む)を開催日順に記述し、評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。

議案は星美学園および短期大学に関するもののみ掲載した。

平成18年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事出席	定数
				出席者数	委任状		
平成18	5	27	・平成17年度収支決算 ・平成17年度事業報告 ・理事・評議員の一部改選 ・平成17年度「監事の監査報告」	19	1		18-23
平成19	3	17	・平成19年度事業計画 ・平成19年度予算 ・役員・評議員の改選 ・平成18年度予算の執行状況	20	2		18-23

上記開催日における 評議員定員・・・23名 / 評議員現員・・・23名

平成19年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事出席	定数
				出席者数	委任状		
平成19	5	26	・平成18年度収支決算 ・平成18年度事業報告 ・平成18年度「監事の監査報告」	20	3		18-23
平成20	3	22	・平成20年度事業計画 ・平成20年度予算 ・平成20年度予算の付帯決議	22	1		18-23

上記開催日における 評議員定員・・・23名 / 評議員現員・・・23名

平成20年度

年	月	日	主な議案	出席者数等		監事出席	定数
				出席者数	委任状		
平成20	5	24	・平成19年度収支決算 ・平成19年度事業報告 ・平成19年度「監事の監査報告」	19	4		18-23
平成21	3	21	・平成21年度予算、平成21年度事業計画について ・平成21年度予算の付帯決議 ・役員及び評議員の一部変更	19	4		18-23

上記開催日における 評議員定員・・・23名 / 評議員現員・・・ 23名

評議員および評議員会については、寄附行為第5章(評議員会及び評議員)第18条から第24条で定められ、学内外で選任された23名の評議員をもって組織されている。以下に寄附行為の関係箇所を引用する。

第5章 評議員会及び評議員

(評議員会)

第18条 この法人に、評議員会を置く。

2 評議員会は、18名以上23名以内の評議員をもって組織する。

3 評議員会は、理事長が招集する。

4 理事長は、評議員総数の三分の一以上の評議員から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に、これを招集しなければならない。

5 評議員会を招集するには、各評議員に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に

付議すべき事項を通知しなければならない。

- 6 前項の通知は、会議の7日前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。
- 7 評議員会に議長を置き、会議の都度、評議員の互選によって定める。
- 8 評議員会は、評議員総数の過半数の評議員が出席しなければ、会議を開き議決をすることができない。
- 9 前項の場合において、評議員会に付議される事項につき書面をもって、あらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- 10 評議員会の議事は、出席した評議員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 11 議長は、評議員として議決に加わることができない。

(諮問事項)

第20条 理事長は、次に掲げる事項について、あらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。

- (1) 予算、借入金(当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。)及び基本財産の処分並びに運用財産中の不動産及び積立金の処分
- (2) 事業計画
- (3) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (4) 寄附行為の変更
- (5) 合併
- (6) 目的たる事業の成功の不能による解散
- (7) 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産の帰属者の選定
- (8) 学債、寄附金の募集に関する事項
- (9) その他この法人の業務に関する重要事項で理事長において必要と認めた事項

(評議員会の意見具申等)

第21条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の仕事執行の状況について、役員に対して意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができる。

現在の評議員は、参考資料とする評議員会評議員名簿のとおりである。

参考資料50 評議員会評議員名簿

(6)法人の管理運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。
また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で、記述して下さい。

先般の私学法改正に伴い、理事・監事の役割と責任が強化されたことに鑑み、理事・監事に対する支援体制を整備・充実する必要があると認識している。そのために、各理事の役割と責任を明確にし、教学面だけではなく法人経営の面からも理事長を支える体制の整備が必要であると考えている。

本学園は、幼稚園から短期大学まで、多校種を持つ総合学園であることから、理事会、評議員会は多種多様な問題に対する即応能力を求められている。校種間の連絡の緊密化と機動性の発揮が必要であると考えている。

また、本法人は、法人の設立母体である宗教法人カトリック扶助者聖母会、および設立

母体が同一で敷地を隣接する社会福祉法人扶助者聖母会（星美ホーム）と密接な関係にある。たとえば校舎増改築のような場合、他法人との密な連絡が必要となるので、適切な対応を心がけたい。

なお、法人事務局の名称はもと法人事務室であった。各種報告、事務手続き等の業務量の増大に対応するため、学校法人星美学園事務組織規程を改正し、平成18年4月1日から、法人事務局に改組した。これまでの法人事務室内の担当業務を明確に区分して、法人事務局を総務課・経理課・施設課の3課制とし、各担当者間で輻輳していた業務を整理区分して、組織的な業務が実施できる体制を作り、同時に、相互牽制機能が働くようにした。

また、近年、FD・SDの充実が強く求められていることから、特に、事務職員の後継者養成に対する中期・長期的な視点での取り組みの必要性を痛感しており、SD教育の一環として「事務部長等勉強会」を平成19年度および平成20年度の夏季休暇期間に実施し、取り組んでいるところである。

参考資料51 学校法人星美学園事務組織規程

【教授会等の運営体制について】

（1）短期大学の教育・研究上のトップである学長は短期大学の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているかを、できれば学長自身が率直に現状を記述して下さい。なお学長選考規程等があれば訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

平成19年度、外部から招聘されての学長就任であるが、当初からリーダーシップを発揮しやすい雰囲気があった。教育・研究上の事項の決定のプロセスは、典型的には、各委員会 教授会であるが、委員会・教授会等の議題は事前に学長によってチェックされ、諸委員会の議事録も学長によってチェックされるシステムになっている。また、学長は定期的あるいは臨時に運営協議会を召集し、幹部教職員との意見交換をするが、その中で学長の意思の浸透が可能である。

率直に言って、短期大学の意思決定において、学長の意思が最大限に尊重されているという印象を持っている。なお、学長選考規程は制定されている。

参考資料52 星美学園短期大学学長選考規程

（2）教授会についての学則上の規定（教授会で議すべき事を含む）平成20年度における開催状況（主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む）を年月日の順に記述して下さい。なお、学則を添付して下さい。

1 教授会の組織

本学の教授会は、星美学園短期大学学則第10章に規定されている。

第10章 教授会

（教授会）

第44条 本学に、必要な事項を審議するため教授会を置く。

(教授会の構成)

第 4 5 条 教授会は、学長、副学長及び専任の教授をもって構成する。

- 2 前項の定めにかかわらず、学長が必要としたときは、学長は、教授会に准教授その他の職員の出席を認めることができる。

(教授会の招集)

第 4 6 条 教授会は、学長が招集し、その議長となる。学長に事故があるときは、副学長又は学長があらかじめ指定した教授が、議長となる。

(審議事項)

第 4 7 条 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育課程及び教育研究に関する事項
- (2) 授業科目及びその編成に関する事項
- (3) 学則及び規則に関する事項
- (4) 学生の入学、卒業、休学、復学、退学、再入学、転入学、転学、留学及び除籍に関する事項
- (5) 学生の試験及び単位認定に関する事項
- (6) 学生の厚生補導に関する事項
- (7) 学生の賞罰に関する事項
- (8) 教育職員の資格審査に関する事項
- (9) 学務運営に関する事項
- (10) その他学長が必要と認める重要事項

(その他)

第 4 8 条 本章に定めるもののほか、教授会についての必要な事項は、別に定める。

なお、教授会は、学長、副学長および専任の教授をもって構成することが「星美学園短期大学学則」第10章第45条第1項に規定されているが、この教授会を正教授会と呼称しており、この構成員が議決権を持つ。現在、毎月行われる定例の教授会には、同2項により、准教授および講師が出席し、学園長、事務部長、キャリアセンター長、入試広報センター長が同席している。これを拡大教授会と呼称している。

2 教授会の招集者および審議事項

学長は毎月1回(定例日)および学長が必要と認めたときに教授会を招集し、議長となることが「星美学園短期大学学則」第46条に規定されており、現在は原則として毎月の第4水曜日に教授会を開催している。

審議事項については、「星美学園短期大学学則」第47条に規定している。

3 教授会開催の状況

構成メンバー(平成20年度)

学長、副学長、教授5名、准教授5名、講師4名の計16名に加え、学園長、事務部長、キャリアセンター長、入試広報センター長が出席し、計20名で構成した。なお、学園長、事務部長、キャリアセンター長、入試広報センター長は陪席者という位置付けであるため、出席者数には計上しない。

教授会の開催日(定例および定例外)、主な議案等

開催日	主 な 審 議 議 題	出席者数	定数
4月28日(月)	専攻科幼児保育専攻「社会福祉論」担当者変更 学則変更 幼保関係専門教育科目の一部変更 他大学履修単位認定 平成20年度科目等履修生・聴講生	16名	16名
5月 7日(水)	学則別表の一部変更 学生食堂の活用 学則第31条(納入金の返付)に関する変更	6名	6名
5月26日(月)	学則の一部変更 学納金に関する学則変更 平成21年度学事暦案 平成21年度会議日	16名	16名
6月30日(月)	A0入試 期結果判定 教育後援会奨学生推薦 50周年記念式典について 広報用キャラクターについて	16名	16名
7月28日(月)	A0入試 期結果判定 学籍の異動 2009年度専攻科イタリア語イタリア文化専攻設置 平成20年度学事暦一部変更 平成21年度学事暦一部変更	15名	16名
9月10日(水)	平成20年度前期成績認定 平成21年度A0入試 ~ 期内定認定 学籍の異動 学則の一部変更 平成20年度聴講生承認	15名	16名
10月25日(土)	平成21年度指定校推薦入試判定 平成21年度公募推薦 期入試判定 専攻科イタリア語イタリア文化専攻設置に係る学則変更	16名	16名
10月27日(月)	A0入試 ~ 期内定認定 学籍の異動 特別支援学校生徒受入 専攻科イタリア語イタリア文化専攻募集要領 平成22年度学生募集・入試日程	16名	16名
11月22日(土)	指定校推薦 期判定 A0入試 ~ 期合格者認定並びにA0B(11/8) 合格者認定 学則の一部変更 「指定保育士養成施設規程」の変更 プレミアム(特待生)入試	16名	16名
12月15日(月)	公募推薦 期入試合否判定追認 A0入試B方式合否判定追認 人間文化学科の定員変更について 指定保育士養成施設関係科目の担当教員承認 学生の不祥事に関する件	16名	16名
12月17日(水)	学生の不祥事に関する件	15名	16名
12月22日(水)	平成21年度人事(異動)	6名	6名
1月26日(月)	平成21年度人事異動並びに平成21年度保育士 養成科目担当者の承認	6名	6名
1月26日(月)	A0入試B方式(1/24)判定追認 平成21年度保育士養成関係科目担当者の承認 教員連絡会・感謝の集い 資格取得料の変更 平成21年度の入学式について	16名	16名
2月 2日(月)	一般入試 期判定 専攻科イタリア語イタリア文化専攻選考判定 保育士養成施設関係科目担当者の承認	16名	16名
2月23日(月)	平成20年度2年次生卒業認定		

	平成20年度専攻科生修了認定 平成20年度1年次生単位成績認定 A0入試B方式(2/7,2/21)合否追認 「総合演習」の再試者とその卒業の扱い 平成20年度追加人事	16名	16名
3月 2日(月)	A0入試B方式(2/28)合否追認 学習支援室の設置について	15名	16名
3月16日(月)	A0入試B方式(3/7)合否追認 平成21年度入学者認定 「総合演習」特別措置再試験単位認定・卒業認定 学籍の異動 元カンボジア留学生の卒業について	16名	16名
3月27日(金)	A0入試B方式(3/21)合否追認 平成21年度入学者追認 星美学園短期大学事務規程 星美学園短期大学入試広報委員会規程 学籍の異動 「教職実践演習」について	6名	6名
3月31日(火)	学籍の異動	5名	6名

平成20年度、教授会は、20回開催された。なお、審議事項は、事前に学科会および各委員会等で協議・調整されている。教授会の運営は比較的スムーズに運営されている。また、学園長をはじめとしたその他の出席者の参加は、相互の共通理解を深める意味からも有効であると考えている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」 P.4～21(学則)

参考資料53 星美学園短期大学教授会議事録

(3) 学長もしくは教授会の下に教育・研究上の各種の委員会等を設置している場合は、その名称と根拠規定、主な業務、構成メンバー、平成20年度の開催状況等を記述して下さい。

各種委員会の開催状況は以下の通りである。

委員会名	根拠規程	主な業務	構成メンバー	平成20年度の開催状況
教務部委員会	教務部委員会規程	教務に関する重要な事項の調査、審議及び処理	教務部長 専任教員4名 教務課長 (副学長)	原則として、休業中でない月の、教授会の前週に1回
学生部委員会	学生部委員会規程	学生の福利・厚生並びに学生生活に関する重要な事項の調査、審議及び処理	学生部長 専任教員3名 学生課長 キャリアセンター長 (副学長)	原則として、休業中でない月の、教授会の前週に1回
入試委員会	入試広報委員会規程 (平成21年4月1日より施行) 平成21年度より、両委員会を合体し、	入試に関する立案	副学長 学科長 入試広報センター	単独では、前後期1回ずつ。 広報委員会との合同では前後期1回ずつであった。
広報委員会	入試広報委員会となった。役割は、両委員会を合わせたものである。構成メンバーは、学長、学科長、入試広報センター長他である。	学生募集に関する広報活動の立案	入試広報センター 専任教員4名	年間6回実施された。 入試委員会との合同委員会が2回であった。
国際交流委員会	検討中	留学生の福利・厚生並びに学生生活指導と現状把握入管手続、留学生奨学金授与者選定、国際交流会の実施	委員長 学生課長 学長 事務長 専任教員2名	原則として、3ヶ月に1回
図書委員会	図書委員会規程	年間事業計画の策定、図書購入計画の策定、図書館の運用・展示企画等の策定	図書館長 専任教員3名 (図書館長含む) 司書	前後期に1回、必要時に随時 (平成20年度は2回開催)
公開講座委員会	公開講座委員会規程	社会人の生涯学習に関する事業計画の策定	委員長 専任教員2名 公開講座センター 2名	原則として、休業中でない月の、各1回
情報ネットワーク委員会	情報ネットワーク委員会規程	学内の情報ネットワーク並びに情報教育センターの運営	情報ネットワーク 委員長 情報教育支援課長	必要時に随時 (平成20年度は7回開催)
将来計画・自己点検委員会	星美学園短期大学自己評価規程	中長期の将来計画について 自己点検報告書の作成 FDの企画と実行	委員長 専任教員3名 事務職員1名	原則として、休業中でない月の、教授会の前週に1回
管理運営委員会	星美学園短期大学自己評価規程	管理運営についての自己点検 総合評価委員会への報告	学長 副学長 学科長(2名) 事務部長 法人本部経理担当者	必要時に随時

学長、副学長は、適宜各委員会に出席する。

また、臨時の委員会として以下の委員会が設置されている。

カリキュラム検討委員会（平成20年度より）

創設50周年記念実行委員会（平成20年度より）

第三者評価委員会（平成21年度より）

本学附設の研究所に以下の委員会が設置されている。

日伊総合研究所委員会（平成16年度より）

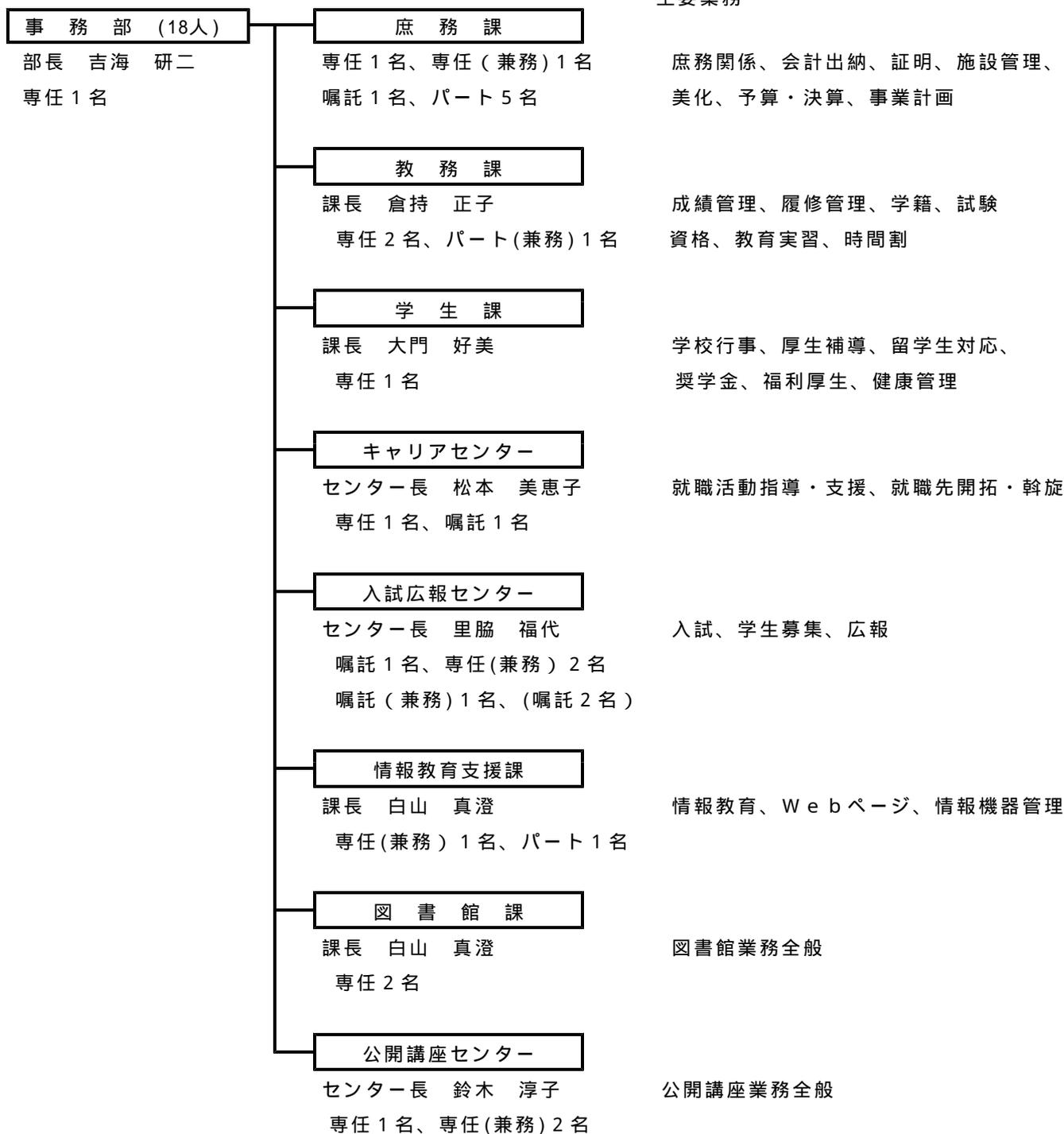
参考資料54 諸委員会規程

（４）短期大学の運営全般について抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。

基本的に、委員会が関わる業務を委員会メンバーのみで処理する態勢になっているので、業務遂行上委員会メンバーが膨らむ傾向がある。今後は、委員会の業務を専ら企画立案に限ることによって、委員会メンバーを減らすことができないか検討していきたい。

事務組織

短期大学事務部の内訳は、下記の通りである。



課長をおいていない課の業務は、事務部長が統括する。

(2) 事務職員の任用(役職者の任免を含む)について現状を訪問調査時にご説明下さい。

訪問調査の際に説明する。

(3) 事務組織について整備している諸規程名を列記して下さい。なお諸規程等は訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

参考資料51 学校法人星美学園事務組織規程

55 学校法人星美学園文書規程

56 星美学園短期大学事務組織規程

(4) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類(学籍簿等)の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状を記述して下さい。

1 決裁処理の概要と流れ

重要事項については、「学校法人星美学園文書規程」に基づき、稟議書により決済を受けることとなっている。起案部署(課、学科等)で稟議書を作成し、合議が必要な場合、合議先に稟議書を回付する。その後、副学長を経由して、学長の決裁を受ける。必要に応じて、法人事務局長、学園長に回覧し、理事長の決裁を受ける。

2 公印や重要書類(学籍簿等)の管理

文書は、「学校法人星美学園文書規程」並びに「星美学園短期大学文書保管および破棄に関する規程」に基づいて、決済、保管等を行っている。公印管理は、同上の学校法人星美学園文書規程の中に規定されている。経営管理の観点から、各部室毎に管理されている重要書類の一覧表を作成し、保管場所を把握できる体制作りが必要であると考え。なお、公印については、厳正に管理使用されている。

3 防災の状況

消防法上の設備および点検は、資格を保有する業者に依頼して遺漏なく行っている。また校内各所に避難経路の表示を行い、消火栓および消火器を設置している。更に年に2回(5月・10月)諸状況を想定した防災訓練を実施している。今後は、学園全体での、大地震・大規模災害の発生を想定したような総合避難訓練等も検討する必要がある。

4 情報システムの安全対策

本学では、情報資産の機密性、完全性、可用性を維持するために、情報ネットワークシステムの仕様について設計の段階から十分に検討し、高度なセキュリティを持つべく構築している。詳しくは 領域 に述べる。

情報システムの管理は、平成19年度から、学園全体の運用について短期大学情報教育センターから法人事務局施設課に移管した。今後は、学内において情報セキュリティポリシーをさらに強化していくことが重要であると認識している。

参考資料55 学校法人星美学園文書規程

57 星美学園短期大学文書保管および破棄に関する規程

(5) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか、できれば事務組織の責任者(事務局長等) が現状を率直に記述して下さい。

ここ数年来の少子化に伴う入学者減少により、学生の在籍者数も減少しているが、一方で入学試験および学校見学会等の種類、回数は、増加の一途を辿っている。教員・事務職員ともに限られた人数で運営する本学にとっては、個々の職員が対応する業務の多様化が進んでいる状況である。こうしたなかで職員は種々の創意工夫を行っていて、ここ2カ年の学生満足度調査では、事務窓口の対応について高い評価を得ている(平成19、20年度同調査)。

参考資料 6 「星美学園短期大学自己点検評価報告書」(2006～2008年度)

(6) 事務組織のスタッフ・ディベロップメント(S D) 活動(業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等) の現状を記述して下さい。

S D 会議を月1回程度開催し、業務の効率化等について議論を重ねている。S D については、現在方向性が定まってきたところで、今後は規程の制定についても検討していきたい。また、事務部長等の校種間連絡会や事務部長等研修が定期的に行われていて、事務処理の改善をめざしている。

学内の研修としては、教員と合同で「建学の精神、教育理念・目的」を再確認する目的の研修を年数回実施している。

外部研修については、日本私立短期大学協会や日本学生支援機構等が主催するものに参加し、各部署の業務に直結する研修を受けている。また、必要に応じて資格取得などの研修にも参加している。

(7) 短期大学の事務組織が抱えている問題あるいは課題について差し支えがなければ記述して下さい。

各方面から指摘されているのは、職員のP C を用いた業務処理能力の不足である。また、事務職員の年齢分布に偏りがあり、高齢化と次代への引き継ぎに懸念がある。少人数の態勢もあって人事の流動性が乏しく、その業務に習熟した者に急な退職・長期休暇等の事態が生じたときなどに、支障が生じる心配があり、ゼネラリストの養成が急務である。

コンピュータ化については、各種証明書の電子化・システム化、履修登録のインターネット化、シラバスのインターネットでの公開について要望が出ている。また、各種学生情報管理の一元化が望まれている。

【人事管理について】

(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。なお教職員の就業についての規程(就業規則、給与規程等) を訪問調査の際にご準備下さい。

特に問題は生じていない。

(2) 法人(理事長及び理事会等)と短期大学教職員の関係について、できれば理事長及び学長がそれぞれ記述して下さい。

法人事務局には短期大学所属の事務職員が常駐し、補助金業務を始め諸官庁等に対する各種届けについて業務を遂行している。短期大学所属の事務職員は、短期大学の事務室および関係部署と密に連絡を取り、それぞれの立場を尊重して業務を行っている。

また、法人(理事長および理事会)は、短期大学の教職員の立場を常に尊重し、協力していく姿勢を持っており、援助を惜しまず協力している。また、法人事務局主催の事務部長等による校種間連絡会も定期的に持たれている。理事長としては、法人、短大にまたがる業務は円滑に実施されていると考えている。

学長から見て、理事長、法人事務局長、各校種の長による所属長会議が定期的に持たれ、その内容が理事会に反映されるなど、法人との関係は円滑であると認識している。

(3) 教員と事務職員との関係について、できれば学科長等及び事務局長がそれぞれ記述して下さい。

1 人間文化学科・専攻科イタリア語イタリア文化専攻

本学は規模が小さいこともあり、教員と事務職員の接触は密である。職制上、各委員会に対してしかるべき事務セクションが対応していて、種々の業務は責任担当の教員と事務職員が協調して実行することが多く、関係は良好である。

平成20年度より、学内インターンシップが開始されたが、事務職員の協力を得て円滑に実施されている。加えて、広報活動準備会が教員・職員合同で組織され、広報活動についても協調して行われるようになった。

なお、平成19年度より、数名からなるワーキンググループの組織化が行われ、これに事務職員も参加して種々の業務に当たっている。これらを通じて事務職員からの種々の企画やシステムの提案がなされることも、次第に多くなってきている。

2 幼児保育学科・専攻科幼児保育専攻

人間文化学科と同様に良好である。資格取得や実習関係の業務遂行においても円滑である。

3 事務職員

教員との関係については良好である。ただし、学生募集の状況変化、個人情報保護をめぐり厳格な処理の要請など、社会ニーズの変化に対応して各種業務が拡大し、そのために教員に対する支援は必ずしも充分に出来ているとは言えない。事務職員各自の更なるスキルアップをめざしたい。

(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状を率直に記述して下さい。

教員および事務職員（用務・パート職員を含む）の健康診断は、学園全体で、年度初めに1日を使って行う。診断は、学校医、産業医として学園が契約している区内の病院（北部セントラル病院）に委嘱し、医師が来訪している。個々の健康診断結果は、本人に通知されるとともに、取りまとめて学長に報告される。学長は必要に応じて教職員に対する指導を行う。

学内の環境は、研究室、事務室、各教室とも冷暖房を完備している。研究室、事務室等、職員が常駐する部屋は、すべて温暖な南側に設置している（図書館課は除く）。また、事務職員に対しては、和室の一部を休憩室とするなどのアメニティに対する配慮もある。

職員の出退勤管理について、事務部長の監督の下に自己管理・自己申告を原則としている。職員の勤務時間に関しては、学園と職員を代表する者との間で1年単位の变形労働時間制に関する協定を締結している。

参考資料58 学校法人星美学園就業規則 第28条第4項

【特記事項について】

(1) この< 管理運営 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。

学校法人星美学園では、これまで各校種が独立して活動をしていて、横の連携が不足していた。その反省に立ち、平成17年3月1日から、「校種間連絡会」および「募集広報担当者会」を設立し、各校種の事務部長等および各校種の募集・広報担当者による会議を設けている。

会議設立のねらいは、前述した「所属長会議」への適時適切な諮問および各校種間における意思疎通・職員の協力体制の確保をめざしたものである。設立から約3年を経過し、ようやく会議が全教職員に認識されだしてきたところである。

今後は、「校種間連絡会」および「募集広報担当者会」の責任と権限を明確にし、更に各校種間の意思疎通および協力体制が強化されるように努力したい。

また、平成21年4月1日より「星美学園ホームページ委員会」が発足し、インターネットの活用において、統合した情報発信に着手している。

近年問題とされているコンプライアンス体制の維持および健全な発展を目的として、平成21年4月1日より「学校法人星美学園公益通報等取扱規程」が制定された。公益通報等に対応し、法令等違反行為の早期発見と是正を図るため、コンプライアンス委員会が設置されている。

参考資料60 学校法人星美学園公益通報等取扱規程

領域 財務

【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

学校法人において「中・長期の財務計画」は、各年度の事業計画の内容に含め、「中・長期事業計画」として策定している。計画の名称は、「平成 年度事業計画」である。

平成16年5月12日に私立学校法が一部改正されるとともに、平成17年3月31日に学校法人会計基準も改正され、平成17年4月1日以降適用されることとなった。また、情報公開の必要性から、事業報告書を作成することが義務づけられたため、事業計画については平成17年度から、事業報告書については、平成16年度から策定することとなった。

現在、毎年「中・長期事業計画」を策定しているが、各事業項目の経費算定が困難なため、「中・長期の財務計画」は、策定していない。

参考資料61 学校法人星美学園中・長期事業計画（平成18～21年度）

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続を簡潔に記述して下さい。

法人事務局は、毎年度の予算編成のため当該年度前年の10月初旬に各校種に対して文書により、事業計画案の作成に関する文書を発簡し、12月初旬までに提出するよう依頼している。各校種から集まった事業計画案を集成し、1月の所属長会議で審議する。各所属長はそれを持ち帰り、2月の所属長会議で再度審議する。

所属長会議で事業計画案了承後、学校法人星美学園としての予算書案を作成している。作成は、法人事務局の経理課長が行なっている。

この予算書は、3月の評議員会に諮問し、さらに理事会で承認されて、新年度の予算として伝達される。

各校種とも事業計画案作成に先立って教育現場の必要性等を検討・確認し、話し合いなどによって、早めに事業計画を作成することが出来るようになった。

(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記して下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

1 伝達方法

学長は、理事会で承認された事業計画書と予算書を教授会に報告し、経理・会計担当者

は理事会で承認された事業計画を執行する。

2 予算執行に係る経理、出納の業務の流れ

会計担当者は予算書に基づいて執行し、法人事務局は毎月「資金収支累計表(予算対比)」を作成し、所属長と事務部長に配布している。

3 財務規程

参考資料62 学校法人星美学園経理規程

63 学校法人星美学園経理規程細則

64 学校法人星美学園固定資産及び物品管理規程

(4) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

公認会計士の監査実施状況 (平成18年度～20年度)

年度	年	月	日	概要	備考
18年度	18	4	7	平成18年3月31日現在の現金・預金の実査 平成18年4月6日現在の現金の実査	
	18	4	24～25	平成17年度決算についての監査	
	18	5	18～19	平成17年度決算についての監査	
	18	6	14	独立監査人の監査報告書、学校法人星美学園の理事者確認書及び監事の監査報告書を添付した決算書作成	
	18	10	10～11	平成18年度財務全般についての監査	
	18	12	11～12	平成18年度財務全般についての監査	
	19	2	22～23	平成18年度財務全般についての監査	

年度	年	月	日	概要	備考
19年度	19	4	6	平成19年3月31日現在の現金・預金の実査 平成19年4月5日現在の現金の実査	
	19	4	23～24	平成18年度決算についての監査	
	19	5	17～18	平成18年度決算についての監査	
	19	6	11	独立監査人の監査報告書、学校法人星美学園の理事者確認書及び監事の監査報告書を添付した決算書作成	
	19	10	10～11	平成19年度財務全般についての監査	
	19	12	13～14	平成19年度財務全般についての監査	
	20	2	21～22	平成19年度財務全般についての監査	

年度	年	月	日	概要	備考
20年度	20	4	4	平成20年3月31日現在の現金・預金の実査 平成20年4月3日現在の現金の実査	
	20	4	23～24	平成19年度決算についての監査	
	20	5	17・19	平成19年度決算についての監査	
	20	6	10	独立監査人の監査報告書、学校法人星美学園の理事者確認書及び監事の監査報告書を添付した決算書作成	
	20	10	16・20	平成20年度財務全般についての監査	
	20	12	11～22	平成20年度財務全般についての監査	
	21	2	19～20	平成20年度財務全般についての監査	

監事は、毎年5月公認会計士とともに決算を監査する。
公認会計士からの指摘事項はない。

(5) 財務情報の公開は今までどのように行ってきたか、また私立学校法第47条第2項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。

本学園は平成16年5月12日の私学法の一部改正に伴い私立学校法第47条第2項に基づいて学校法人星美学園財務書類閲覧規程を作成し、平成17年4月1日から施行している。従って、平成16年度から、規程に基づいて、「財務書類等」(財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監事作成の監査報告書)を、法人事務局の事務室に備えて閲覧できるようにしている。

参考資料65 学校法人星美学園財務書類閲覧規程

(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

平成17年3月19日の理事会において「ペイオフ全面解禁による学校法人星美学園としての今後の対応」が、また、平成18年3月18日の理事会において「学校法人星美学園の国債保有の目的」が審議され可決された。

これらに基づいて、学校法人星美学園の資金等の保有と運用の基本方針はリスクを避け安全な金融機関に国債または定期預金として預託することとしている。なお、資金等の保有と運用に関する規程はない。

参考資料66 理事会議事録(平成16年度、平成17年度)

(7) 寄附金・学校債の募集を行っていただければその概要を記述して下さい。なお寄附金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

寄付金の受け入れ機関として「星美学園短期大学発展協力会」がある。この機関は、星美学園短期大学の学術的水準の向上のために、星美学園短期大学日伊総合研究所の維持運営をはじめとする諸事業の推進を目的として、財政的に協力することを目的とする。

学校債については、現在は募集していない。

参考資料67 星美学園短期大学発展協力会会則

【財務体質の健全性と教育研究経費について】

(1) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

添付資料5 別紙様式1 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の資金収支計算書の概要

(2) 平成21年3月31日現在の貸借対照表の概要を、別紙様式2にしたがって作成し、添付して下さい。

添付資料 6 別紙様式 2 平成20年度末の貸借対照表の概要

(3) 財産目録及び計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表)について、過去3ヶ年(平成18年度～20年度)分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

参考資料68 財産目録

69 計算書類

(資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細表・借入金明細表・基本金明細表)

(4) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の短期大学における教育研究経費比率(消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率)を、小数点以下2位を四捨五入し1位まで求め記述して下さい。

教育研究経費比率(平成18年度～20年度)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
教育研究経支出 (a)	146,386千円	143,452千円	140,466千円
帰属収入 (b)	463,277千円	419,149千円	390,961千円
教育研究経費率 (a)/(b)	31.6%	34.2%	35.9%

【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程を含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際参考資料としてご準備下さい。

参考書類62 学校法人星美学園経理規程

63 学校法人星美学園経理規程細則

64 学校法人星美学園固定資産及び物品管理規程

(2) 火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

1 火災等の災害対策

火災報知設備、屋内消火栓、消火器については、消防法に則って設備し、資格を保有した専門業者に依頼して定期的に点検している。防災訓練も定期的に行っている。

また、大地震等の災害に対して、レスキューツールキット(一人用の非常食、水、ブランケット等が一式箱詰めになったもの)を学生数相当分備蓄している。教員用については各研究室に配布してある。

なお、近時実用化された気象庁の緊急地震警報(数秒前に大地震を知らせるシステム)に対する対応はこれからの検討課題である。

2 感染症対策について

平成20年3月「感染症発生時の対応マニュアル」を教授会で承認した。

なお、平成21年5月の新型インフルエンザ対策については、法人事務局が、文部科学省の行動計画に従って、緊急連絡網の整備、職員および学生の渡航実態調査、学校医との事前確認、各種情報収集を行った。また、所属長会議は、星美学園の対応方針を決定し各校種へ通知した。

参考資料70 感染症発生時の対応マニュアル（内規）

3 防犯対策

本学は、総合学園として、幼稚園および星美ホーム（児童養護施設）から小中高校とともに一つの敷地の中にあることもあり、十分な注意が払われている。正門の守衛所には複数の警備員が常駐する。テレビカメラ、自動施錠・解錠の可能な門扉システムなどが設置され、夜間は遠隔操作により監視される。必要のない時間については、通用口を施錠するなどの対策も立てられている。平成20年より、本学にも「刺す又」が設置された。

参考資料71 不審者侵入時の危機管理マニュアル

4 学生、教職員の避難訓練

星美学園短期大学消防計画に基づき、春秋の二度定期的に行われている。それぞれ避難経路を確認し、完了までの時間を計測し、点呼の手順を確認する。秋の訓練では起震車体験や煙幕体験を行い、消火器による消火訓練なども企画されている。

参考資料72 星美学園短期大学消防計画

5 コンピュータのセキュリティ対策

現在以下のような対策が立てられている。学外から学内サーバへのアクセスは、教育研究系システムではファイアウォールで遮断し、ソフトウェア的に許可していない。また、事務系システムについては、広域ネットワークに接続せずに独自のネットワークシステムを構築している。以上により学外からの影響は極めて低いと判断している。

また、学内で使用するパソコンや私有パソコンの持ち込みについては、「情報セキュリティ対策のお願い」（平成18年5月1日）において注意を喚起している。

参考資料73 情報セキュリティ対策のお願い

6 省エネおよび地球環境保全対策

本校舎の冷暖房に、効率の高いガスシステムを採用している。また各教室で電源の操作ができるようにし、かつ夏季の設定温度についてガイドラインを設けている（28度を推奨）。本校舎は必ずしも断熱性が高い設計ではないので、夏期・冬期における温度設定を適切にし、こまめな温度調節と機器の電源OFFの励行を徹底して、無駄なエネルギーの消費を抑制している。

7 ハラスメント対策について

セクシュアル・ハラスメント

本学園の法人事務局が主体となり、「学校法人星美学園セクシュアル・ハラスメント防止規程」に則って設置された「セクハラ防止委員会」が組織されている。本学に

においても学生対応担当1名(学生部教員)、教員対応担当1名(教員)、職員対応担当1名(職員)の計3名が理事長により委員に委嘱されている。任期は1年である。

年度始めと年度終わりに学園の全校種、法人事務局の職員担当者によるセクハラ防止委員会が行われ、セクシュアル・ハラスメントの対応等の意見交換が行われており、必要に応じて委員会が招集されることになっている。本学学生に対しては年度始めの学生ガイダンスでセクシュアル・ハラスメントの窓口について周知している。幸いなことに、平成20年度に至るまで、学生・教職員とも相談事例はない。

その他のハラスメント

現在は、パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント等についても上記「学校法人星美学園セクシュアル・ハラスメント防止規程」により対応している。さらに相談体制の整備、関係規程の策定が必要と考えられる。

「学校法人星美学園セクシュアル・ハラスメント防止規程」をもとに、短期大学の特性に添った本学独自の「ハラスメント防止規程」の策定や、配付資料の作成が必要と考えている。

参考資料74 学校法人星美学園セクシュアル・ハラスメント防止規程

8 個人情報の保護に関して

領域V 学生支援【学生生活支援体制について】(7)に詳述した。

【特記事項について】

(1) この< 財務 >の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。

学校法人星美学園の財務の健全化のためには、経営の観点からみれば、園児・児童・生徒・学生の納付金の値上げが有効である。しかし、星美学園の建学の精神に則り、各校種の入学金・授業料・施設設備費等の値上げについては極力抑制するよう努めている。

また、寄付金については、これまでも保護者に要請はしていない。近年の各家庭における経済状況を考慮し、これからも保護者に対する寄付金の要請はしないようにしている。

一方、支出面では、物品の愛護を徹底し、教育機器備品および管理備品等について可能な限り修理する等延命対策を施し、無駄な支出を抑制するよう努力している。

また、光熱水費についても削減を図り、支出の抑制を図っている。夏期・冬期における温度設定を適切にし、省エネルギー対策にも積極的に取り組み、漏電・漏水を未然に防止するとともに、園児・児童・生徒・学生に対しても節電・節水の習慣を徹底するよう指導している。

平成20年度の事業計画から、学園内の各校種における光熱水費の使用額を対前年比1%削減することを明記している。また、平成20年8月からディマンド計を設置し、最大契約電力量を超える恐れのある場合に、「省エネ警報」を、法人事務局から各校種に一斉指令し、省エネを図っている。

領域 改革・改善

【自己点検・評価について】

(1) 短期大学では自己点検・評価を、短期大学の運営のなかでどのように位置づけているか、また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

学則第49条に、本学の教育研究活動および管理運営等を自ら点検・評価し、将来計画に資するものとして、自己点検・評価を、短期大学運営の中核として位置づけている。組織としては、教育研究活動については「将来計画・自己点検委員会」が、管理運営については「管理運営評価委員会」があり、この二つの委員会から報告を受けて総括する任を「総合評価委員会」に課している。

「将来計画・自己点検委員会」は、「自己評価規程」(平成14年4月制定)に基づき、月1回の定例委員会を開催し、学内外の種々の評価活動の企画・推進・実施・報告の役割を果たしている。

また、評価のための種々のアンケートも、平成17年度に導入されたOMR機器とソフトウェアにより、データの処理や結果の還元が加速された。これにより、平成19年度から、学生生活全般にわたった「学生満足度アンケート」も実施できるようになった。

学生による学科履修アンケート、教員相互の授業公開などFD活動については、その実施やデータ処理のノウハウも徐々に蓄積されている。今後も継続していく方向で考えており、その評価結果を日々の教育活動に還元する方策が検討されている。

添付資料1 「学生要覧・講義要項2009」P.10

参考資料54 諸委員会規程(星美学園短期大学自己評価規程)

(2) 過去3ヶ年(平成18年度～20年度)の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配付先の概要を記述して下さい。なお過去3ヶ年(平成18年度～20年度)にまとめられた自己点検・評価報告書を訪問調査の際にご準備下さい。

平成17年度より、毎年度、「自己点検・評価報告書」を発行している。

平成18年度においては、4月付けで、前年平成17年度の自己点検・評価報告書を発行した。点検内容は、学生生活・学科履修アンケート集計結果を中心としている。以下、平成19年12月(平成18年度のFD・SD活動、学科履修アンケート集計結果)、平成20年12月(平成19年度の学科履修アンケート集計結果、学生満足度調査結果)に、同報告書を発行している。

報告書の配布先は、学内の専任教職員、法人事務局、姉妹校、カトリック関連校、その他、本学研究論叢を送付している短期大学・大学等の機関である。

参考資料6 「星美学園短期大学自己点検評価報告書」(2006～2008年度)

【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

(1) 平成20年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲を記述して下さい。また今後、どのような教職員の関わり方が望ましいと考えているかを記述して下さい。

「将来計画・自己点検委員会」は、専任教職員5名により構成されている。メンバーは学長が選任し委嘱する。任期は1年である(再任を妨げない)。

自己点検評価報告書作成に際しての調査分析や執筆は、この委員に限らず、それぞれ最も実情を把握していると思われる委員会や部署に依頼している。その部署において執筆担当者を決めて執筆し、内容を検討した上で将来計画・自己点検委員会に提出するという形式をとっている。したがって、ある程度独断や偏りを避けられていると考えていて、この意味からすると全員が何らかのかたちでこの自己点検・評価報告書の作成に関わってきたと言える。

SDに関する調査・評価に関しては、ようやく事務部門の研究意欲が高まる機運にあり、さらなる向上をめざしている。

課題としては、自己点検・評価にあたる3つの組織、「総合評価委員会」、「将来計画・自己点検委員会」、そして「管理運営評価委員会」の間の連絡や確認・報告などを密に行うと共に、それぞれの委員会の役割をはっきりとさせていく必要が認識され、討議されている。

(2) 平成20年度までに行った自己点検・評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているかについても記述して下さい。

平成19年度から、将来計画・自己点検委員会では年次報告書を刊行し、教員および関係部署に配布している。また、自己点検活動の一環として実施する学科履修アンケートについては、実施の都度に各教員にその結果を表・グラフ化して渡し、自己点検の資とするよう要請している。

今後は、全学的な改善目標を導き出し達成するシステムを検討したい。一例として、平成20年3月に初めて実施された教員連絡会を利用し、各種アンケートのみならず、自己点検・評価結果を活用する場としていきたい。

【相互評価や外部評価について】

(1) 平成20年度までに行った相互評価及び外部評価の概要を示し、評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。

平成15年度(平成14年度対象)と、平成19年度(平成18年度対象)の二度にわたって、神奈川県聖セシリア女子短期大学と相互評価を実施し報告書を刊行している。初回は教育理念、第2回は学生生活が対象であった。報告書は教員に配布する一方、教授会などの機会に、その要点について討議した。

- 参考資料75 聖セシリア女子短期大学と星美学園短期大学の相互評価報告書
(2003年 平成15年3月)
- 76 星美学園短期大学と聖セシリア女子短期大学の相互評価報告書
(2007年 平成19年12月)

(2) 相互評価や外部評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、相互評価や外部評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

将来計画・自己点検委員会は、現在毎年度報告書を刊行していて、この報告書に基づき、相互点検が行われている。その年次・頻度、あるいは相互点検の対象となる短期大学等については、そのつど検討されている。

将来計画・自己点検委員会において、今後は、3ないし4年ごとに相互評価を行うことが予定されていて、短期大学基準協会の関係データベースにも登録を申請した。また、外部評価・相互点検を生かす制度を作ることについても検討されている。

【第三者評価(認証評価)について】

(1) 第三者評価を実施するための学内組織の概要を記述して下さい。

報告書の作成に関しては、ALLOを中心に、全教員が関与する態勢である。また、学長を中心に第三者評価準備会が設けられ、法人事務局を含めてほぼ全教職員が参画して、数次にわたって、点検項目について分科会方式で検討を行った。

平成21年度からは第三者評価委員会が設けられ、ALLOを含む教員3名と事務職員が所属し、評価に関する各種業務にあたっている。

(2) 第三者評価に当たって短期大学の決意を述べて下さい。理事長、学長、各部門の長及びALLO(第三者評価連絡調整責任者)がそれぞれ記述されても結構です。

(理事長)

短期大学が存続の危機にさらされている昨今、日本の社会における短期大学の存在の意義を問わずにはいられない。

18歳から20歳という時期の若い女性の教育に短期大学が果たす役割は非常に大きい。学生一人ひとりが、キリスト教の価値観をもとに自分の考えと心をしっかりと育て、自分に与えられている使命の実現のために、短期大学で教養と専門分野を修得して社会に出ていくなれば、個々の学生は誠実なよい社会人として、またリーダーとして社会に貢献することができるだろう。特に幼児保育の分野での人材は、日本の教育を支える力となり、人間文化の分野ではイタリア語や日本文学を通して異文化間の交流に貢献する人材を育てることができると思う。

今日の日本の社会情勢は大きく変わってきている。政治・経済の先行きについての見通しが利かない今、短期大学に求められているのは、人を育てるという点だろう。この点について、これからの日本の社会の発展のために応えていく事が、私たちに課せられた課題

であろう。ここで重要なことは、この日本の社会の将来に対して、私たちは何をしなければならぬのか、絶えず考えることである。そうすれば、女性教育にあたって私たちが何を持って貢献しなければならぬのかが見えてくると思う。

決して小手先の改善策を実施することではなく、根源に立ち戻り、創立者のように考え、そこからやるべきこと、やりたいこと、やれることを、全て、創立者のような情熱と獨創性を持って実践していくという決意を持つことであり、それを心して、全職員が一丸となって、学校を運営していくことが急務であると確信している。

世の中には、日本の社会に大いに貢献している大学が多々ある。その中で、本短期大学も大きく貢献できる宝を持っているのであるから、これを若い女性たちに大切な財産として受け継がせたいと祈念している。

(学長)

第三者評価を受ける準備作業の中で、すでにさまざまな改善が行われた。また、教職員の意識も変化してきたように感じられる。その意味で、すでに一定の成果を得たと言える。実際に第三者から評価をいただくことで、さらなる改善を期したい。

【特記事項について】

(1) この< 改革・改善 > の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば評価に関する教職員への研修の実施等、当該短期大学が改革・改善について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし。

< ** 将来計画の策定(自由記述欄) >

(学長コメント)

未来に向けて星美学園短期大学が果たすべき使命は何であるかを考えるとき、私たちは、創立者ドン・ボスコに立ち返る必要があるだろう。すなわち、ドン・ボスコが、今の日本の青少年の姿を見たら、何を考えるだろうか。このような視点に立って、改めて本学の果たすべき使命を識別する必要があると思われる。

ドン・ボスコの母、マルゲリータは、教育はなかったが、ドン・ボスコの心の教育を行い、ドン・ボスコの信仰、人間観、教育観に大きな影響を与えた。またマルゲリータは、夫を早く亡くし、女手一つで3人の子どもたちを育て上げるだけでなく、ドン・ボスコの事業を献身的に支えた。しっかりとした生活能力を持つ女性であった。

現在、日本においては、家庭における子育て機能の低下が指摘されている。それは、虐待の連鎖のように、未来に向けてますます悪化していくことが予想される。母親の学歴は高くても、子どもの心を育てる力、生活する能力は乏しくなっていると言えよう。

もし、ドン・ボスコが今の子どもたちを見たとしたらこう言うのではないだろうか。

「星美学園短期大学の先生方、母親を育てて下さい。私の母のような・・・」

2年間のスパンではなく、卒業後の支援を含めて、マルゲリータのような、人間力を持った母親を育成すること、これが、未来に向けて、星美学園短期大学が果たすべき使命であるように思われる。

このような視点に立って、本学の社会的に果たすべき責務について、改めて全学的に考えていきたい。

平成20年度（2008年度）

星美学園短期大学 自己点検・評価報告書

平成21年6月25日

星美学園短期大学

〒115 - 0053 東京都北区赤羽台4丁目2番14号

TEL 03 - 3906 - 0056

FAX 03 - 5993 - 1600

URL <http://www.seibi.ac.jp/college/>
